



平成26年度市民意識調査

報告書



平成27年1月

多治見市

目 次

調査概要

1 調査目的	- 1 -
2 調査方法等.....	- 1 -
3 回収結果	- 1 -
4 報告書の見方	- 1 -

第1章 回答者のプロフィール

1－1 性別	- 2 -
1－2 年齢	- 2 -
1－3 小学校区	- 3 -
1－4 職業	- 3 -

第2章 住みやすさと居留意向

2－1 住みやすさ	- 4 -
2－2 今後の居留意向	- 8 -

第3章 市政全般について

3－1 市政への満足度	- 11 -
3－2 市の重点施策	- 28 -

第4章 生活実態及び市民意識

4 生活実態及び市民意識	- 32 -
--------------------	--------

第5章 情報提供について

5－1 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか.....	- 36 -
5－2 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容.....	- 38 -
5－3 市のホームページ	- 41 -
5－4 FMたじみ（エフエムピピ）	- 43 -
5－5 市の広報手段.....	- 45 -

第6章 市政への参加について

6－1 市政（市の政治のこと）の関心.....	- 48 -
6－2 市政参加の内容	- 50 -
6－3 今後の市政参加手段	- 53 -

参 考 資 料

依頼文書及び調査票.....	- 55 -
----------------	--------

調査概要

1 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査方法等

- ・調査地域 多治見市全域
- ・調査対象 (1) 市内在住の16歳以上の男女2,000人
(2) 広報たじみ読者
- ・調査方法 (1) 郵送配布・回収
(2) 広報紙による綴じ込み配布・郵送回収
- ・抽出方法 無作為抽出法（郵送配布分）
- ・調査時期 平成26年8月

3 回収結果

	回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配布・回収	807	40.3%	803	4
広報紙綴じ込み・郵送回収	193	—	193	0
合計	1,000	—	996	4

※有効回収票数とは、回収票数のうち、無効票である白票や記入不備等を除いたもの。

4 報告書の見方

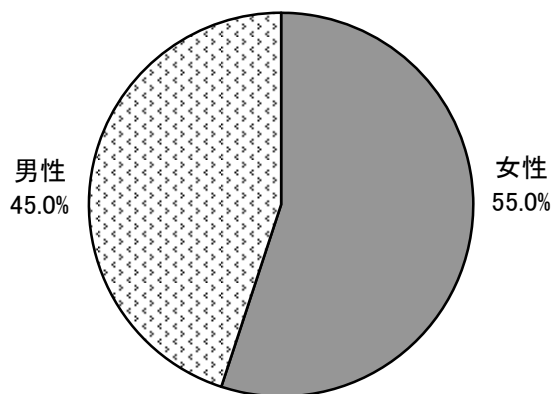
- ・グラフにおける比率は全て％（パーセント）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
したがって、各項目の構成比の合計は必ずしも100％にならない。
- ・複数回答が可能な設問では、構成比算出の母数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○を付けた人が全体から見て何％なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計すると100％以上になる。
- ・グラフにおける選択肢や凡例の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。

第1章 回答者のプロフィール

1-1 性別

回答者の性別は、女性が 55.0%、男性が 45.0%となっている。

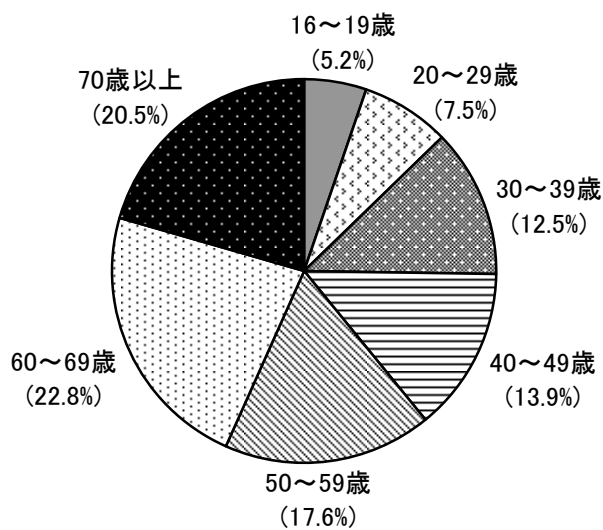
図 1-1-1 「性別」



1-2 年齢

回答者の年齢は、「60～69 歳」(22.8%) が最も多く、以下「70 歳以上」(20.5%)、「50～59 歳」(17.6%)、「40～49 歳」(13.9%)、「30～39 歳」(12.5%)、「20～29 歳」(7.5%)、「16～19 歳」(5.2%) となっており、若年層の割合が少ない。

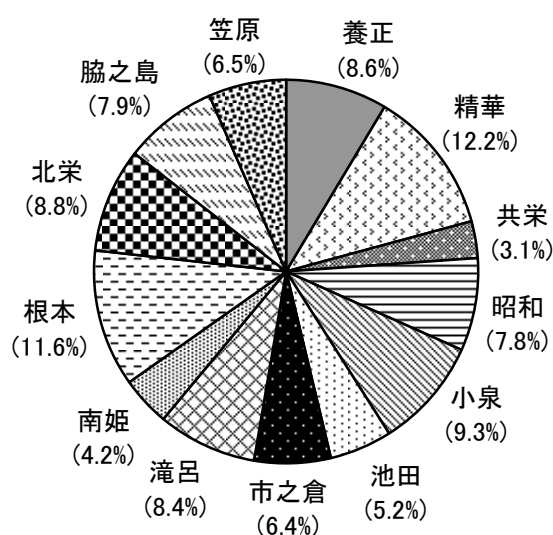
図 1-2-1 「年齢」



1-3 小学校区

回答者の小学校区は、「精華」(12.2%) が最も多く、以下「根本」(11.6%)、「小泉」(9.3%)、「北栄」(8.8%)、「養正」(8.6%)、「滝呂」(8.4%)、「脇之島」(7.9%)、「昭和」(7.8%)、「笠原」(6.5%)、「市之倉」(6.4%)、「池田」(5.2%)、「南姫」(4.2%)、「共栄」(3.1%) となっている。

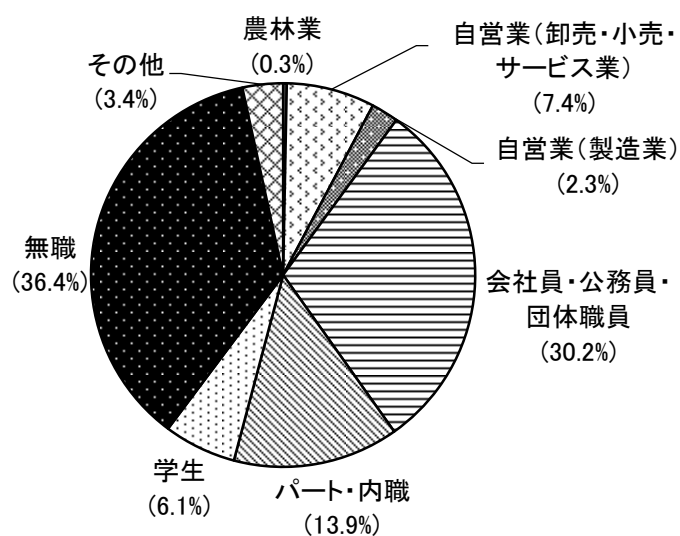
図 1-3-1 「小学校区」



1-4 職業

回答者の職業は、「無職」(36.4%) が最も多くなっている。職に就いている人の中では、「会社員・公務員・団体職員」(30.2%) が最も多く、以下「パート・内職」(13.9%)、「自営業(卸売・小売・サービス業)」(7.4%)、「自営業(製造業)」(2.3%)、「学生」(6.1%)、「自営業(製造業)」(2.3%)、「農林業」(0.3%) となっている。

図 1-4-1 「職業」



第2章 住みやすさと居住意向

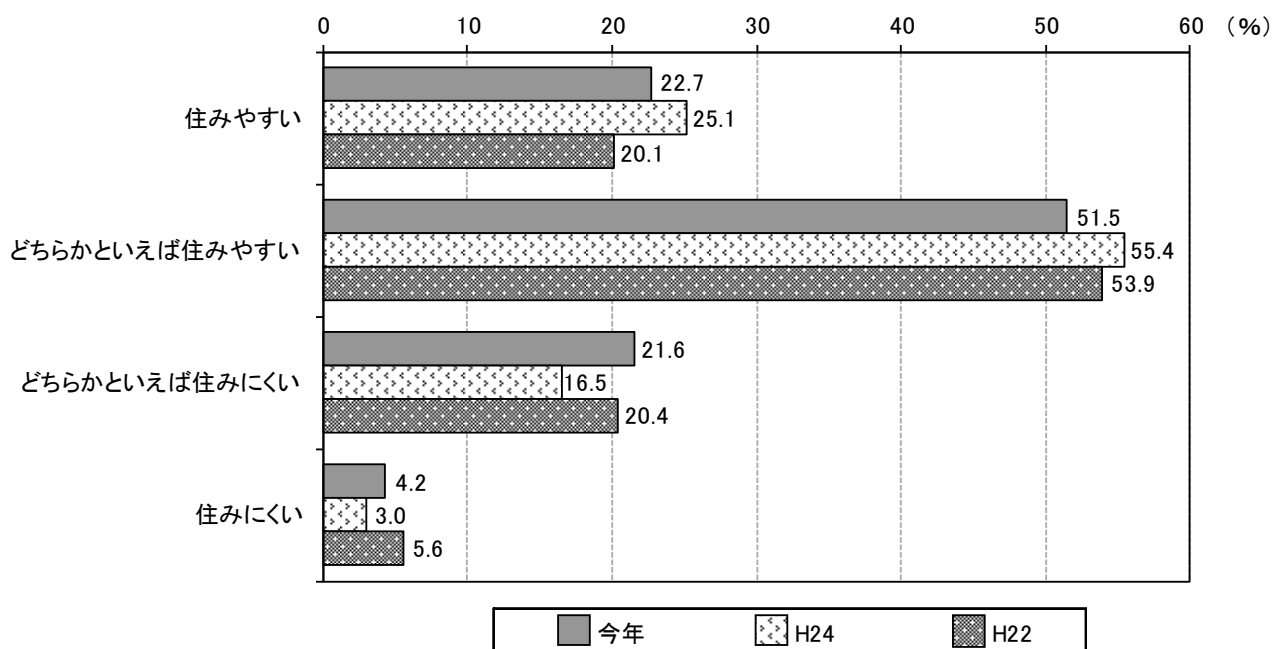
2-1 住みやすさ

「住みやすさ」については、「どちらかといえば住みやすい」(51.5%)が最も高く、これに「住みやすい」(22.7%)を合わせた“住みやすいと感じている人”は74.2%と高くなっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」(21.6%)と「住みにくい」(4.2%)を合わせた“住みにくいと感じている人”は25.8%となっている。

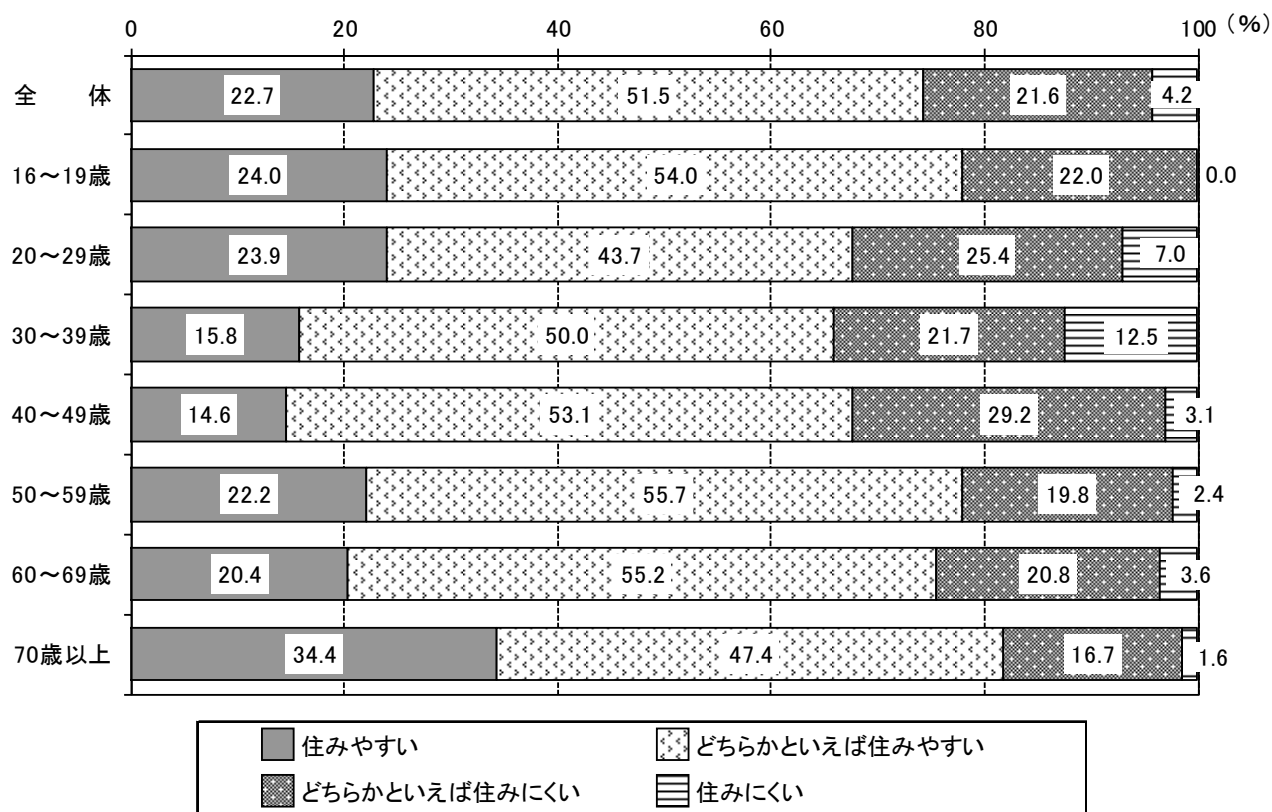
前回調査(H24)と比較すると、“住みにくいと感じている人”は増加しており、“住みやすいと感じている人”は減少している。

図2-1-1 「住みやすさ」(過去調査比較)



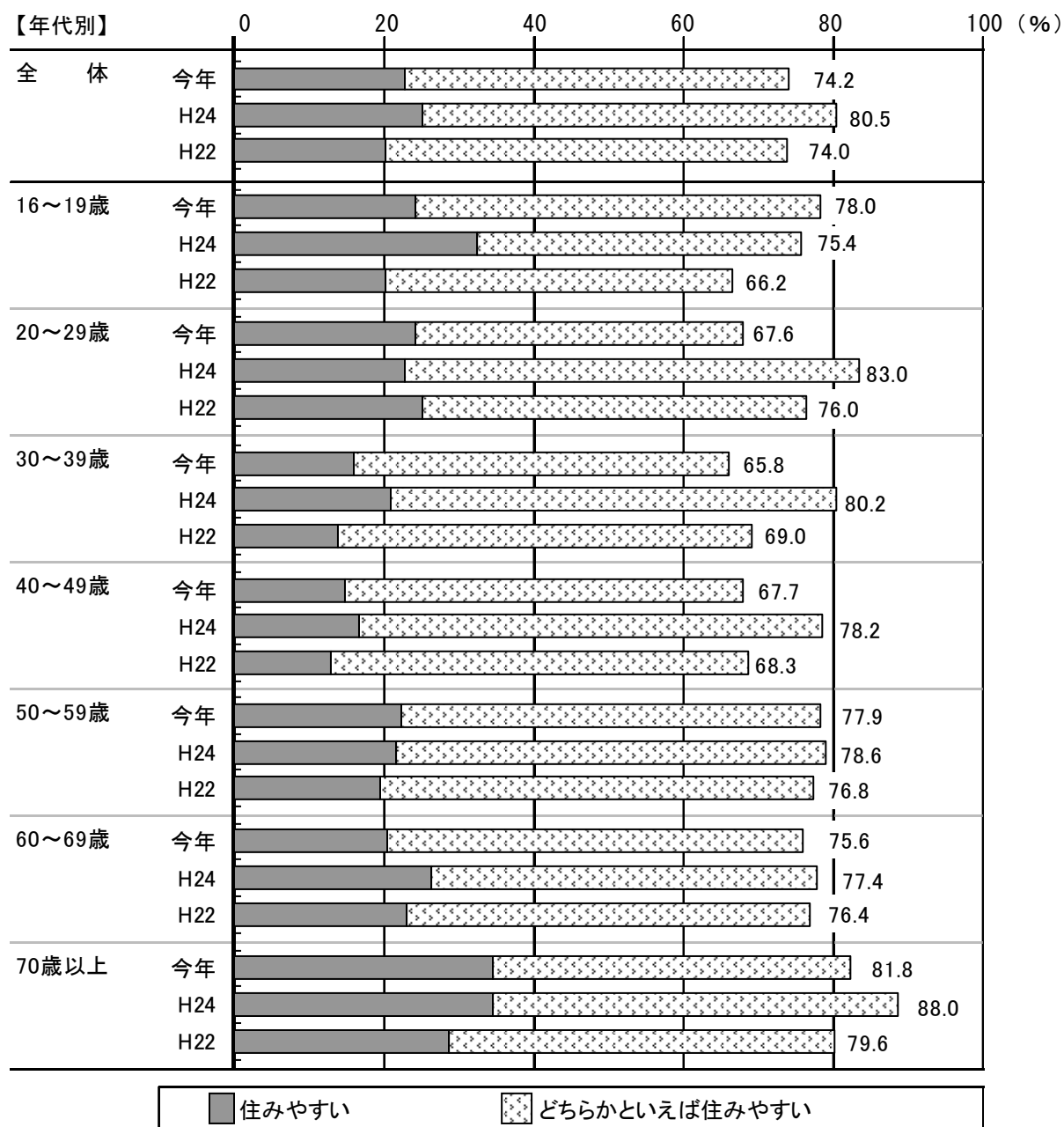
「住みやすさ」について年代別にみると、「住みやすい」では「70歳以上」（34.4％）が最も高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”が最も高い「70歳以上」（81.8％）と、最も低い「30～39歳」（65.8％）では16.0％の差がみられる。

図2-1-2 年代別「住みやすさ」



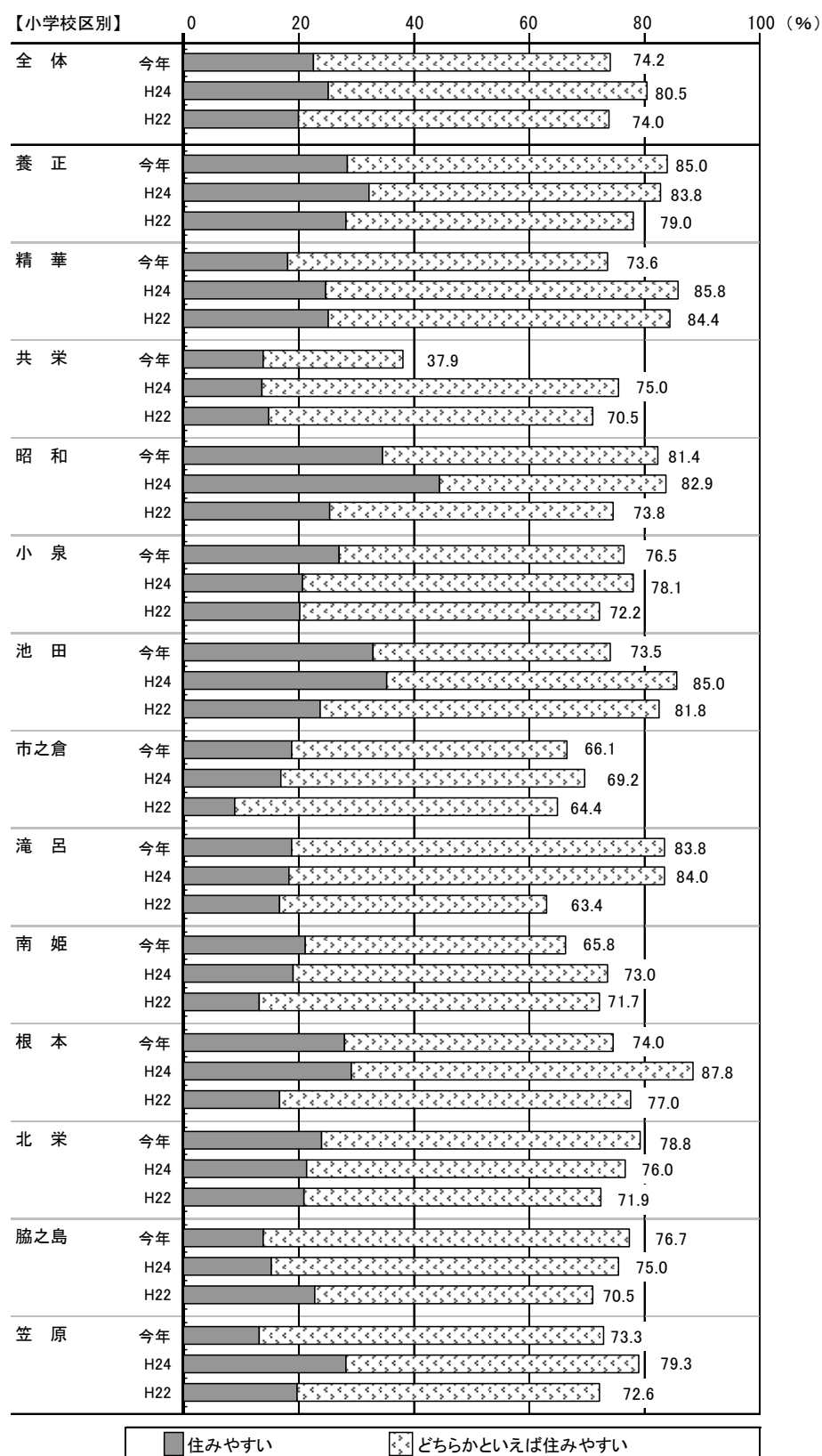
「住みやすさ」を年代別に過去調査と比較すると、「住みやすいと感じている人」が「16～19 歳」で前回（H24）に比べ 2.6%増加したが、その他の年代においては減少傾向にある。中でも「20～29 歳」は前回（H24）に比べ 15.3%減少している。

図 2－1－3 年代別「住みやすさ」（過去調査比較）



「住みやすさ」を小学校区別に過去調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”が「養正小学校区」「北栄小学校区」「脇之島小学校区」においては増加しているが、その他の小学校区では減少している。中でも「共栄小学校区」は前回（H24）に比べ 37.1%、「根本小学校区」は 13.8%減少している。

図 2－1－4 小学校区別「住みやすさ」（過去調査比較）

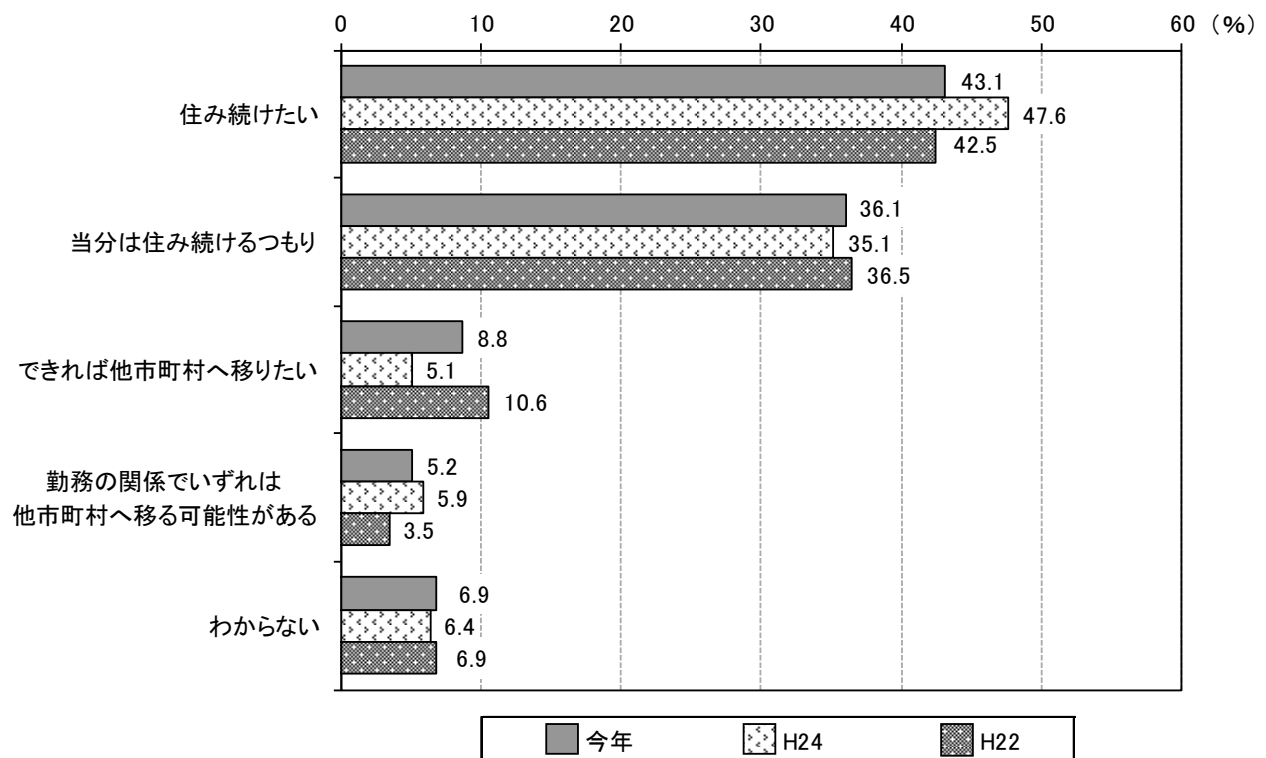


2-2 今後の居住意向

「今後の居住意向」については、「住みたい」(43.1%)が最も高く、これに「当分は住み続けるつもり」(36.1%)を合わせた“住みたいと思っている人”は79.2%と高くなっている。

過去調査と比較すると、「当分は住み続けるつもり」と回答した割合は前回(H24)より1.0%増加し、「住みたい」は前回(H24)より4.5%減少している。「できれば他市町村へ移りたい」では前回(H24)より3.7%増加している。

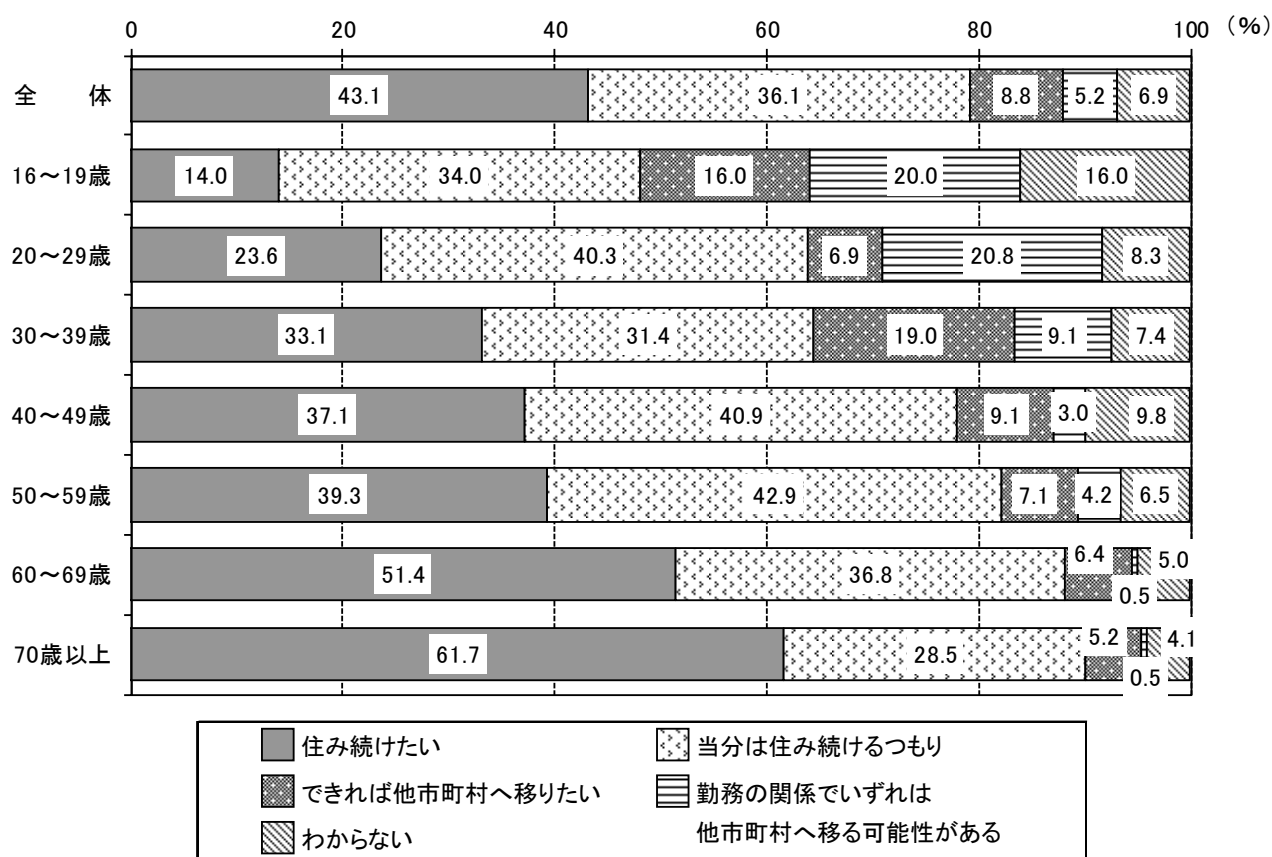
図2-2-1 「今後の居住意向」(過去調査比較)



「今後の居留意向」について年代別にみると、「住み続けたい」は年代が上がるにつれて高くなっており、「16～19 歳」(14.0%)と「70 歳以上」(61.7%)とでは 47.7%の差がある。

「できれば他市町村へ移りたい」では「30～39 歳」(19.0%)、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では「20～29 歳」(20.8%)が高くなっている。

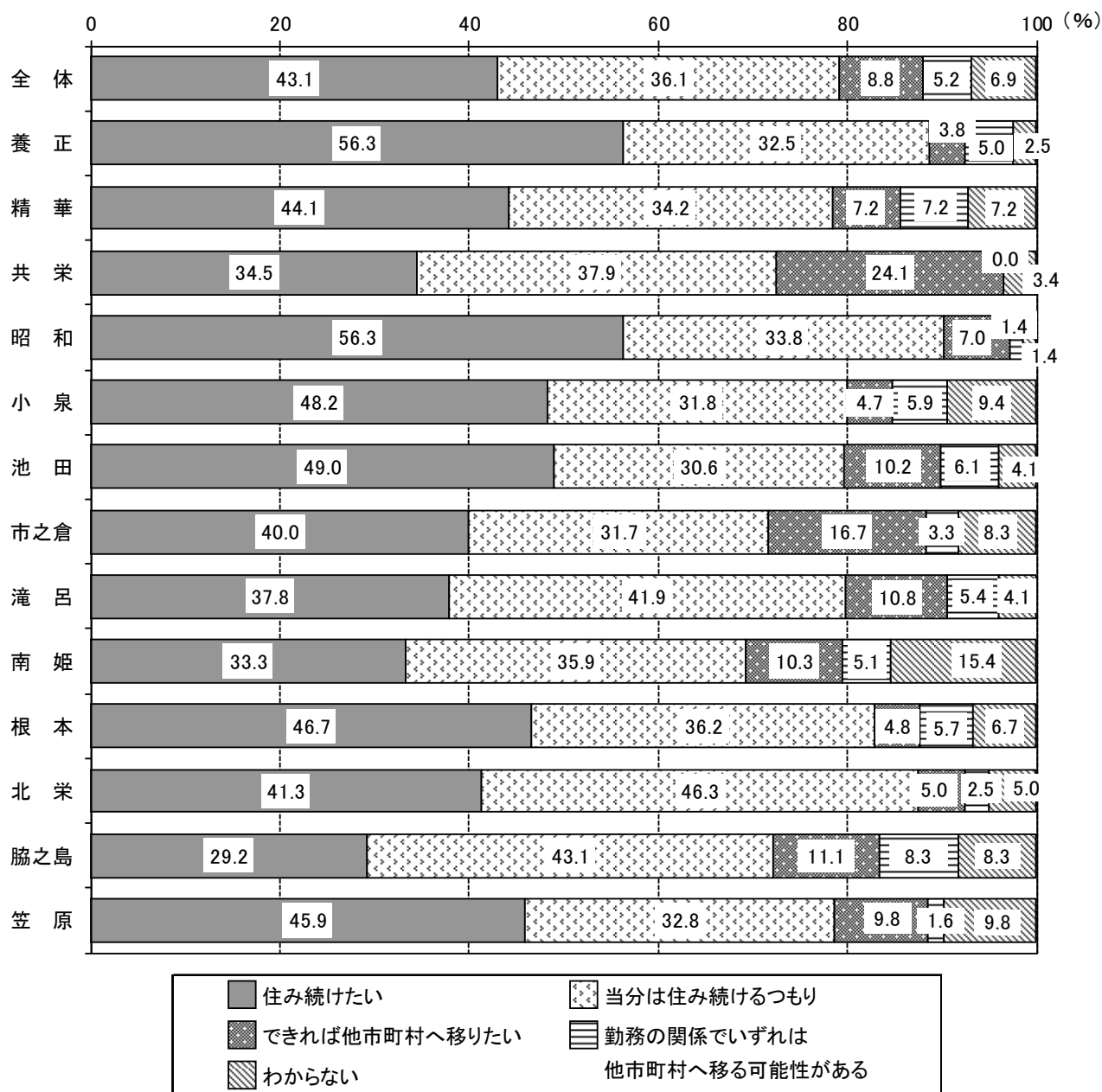
図 2－2－2 年代別「今後の居留意向」



「今後の居住意向」について小学校区別にみると、「住み続けたい」では「昭和」(56.3%)、「当分は住み続けるつもり」では「北栄」(46.3%)が最も高くなっている。

また「できれば他市町村へ移りたい」では「共栄」(24.1%)、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では「脇之島」(8.3%)が高くなっている。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居住意向」



第3章 市政全般について

3-1 市政への満足度

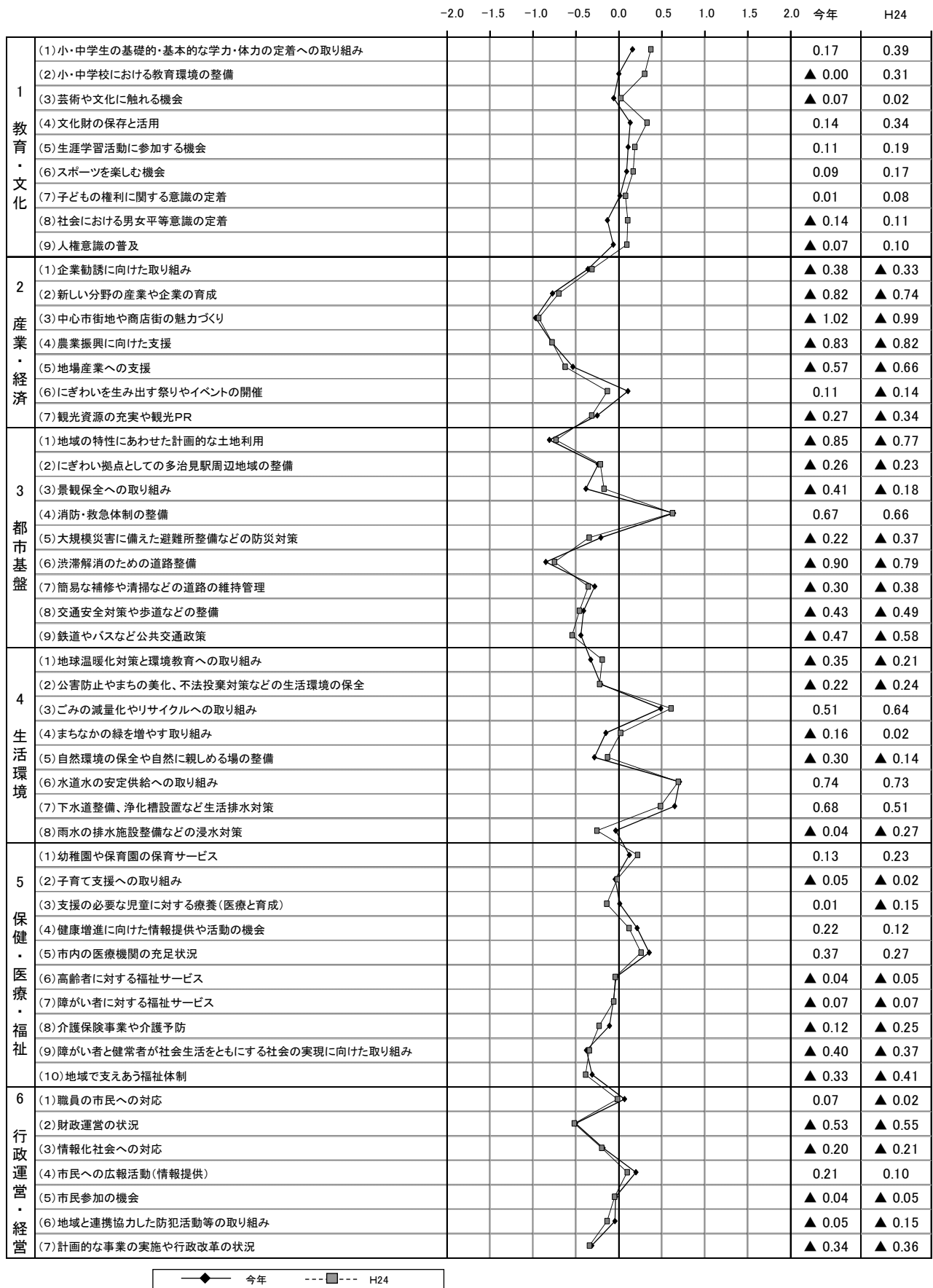
「市政への満足度」について尋ねたところ、プラスだった項目は、50 項目中以下の 16 項目となっている。

- ・「水道水の安定供給への取り組み」(0.74 ポイント)
- ・「下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策」(0.68 ポイント)
- ・「消防・救急体制の整備」(0.67 ポイント)
- ・「ごみの減量化やリサイクルへの取り組み」(0.51 ポイント)
- ・「市内の医療機関の充足状況」(0.37 ポイント)
- ・「健康増進に向けた情報提供や活動の機会」(0.22 ポイント)
- ・「市民への広報活動（情報提供）」(0.21 ポイント)
- ・「小・中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み」(0.17 ポイント)
- ・「文化財の保存と活用」(0.14 ポイント)
- ・「幼稚園や保育園の保育サービス」(0.13 ポイント)
- ・「生涯学習活動に参加する機会」(0.11 ポイント)
- ・「にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催」(0.11 ポイント)
- ・「スポーツを楽しむ機会」(0.09 ポイント)
- ・「職員の市民への対応」(0.07 ポイント)
- ・「子どもの権利に関する意識の定着」(0.01 ポイント)
- ・「支援の必要な児童に対する療養（医療と育成）」(0.01 ポイント)

一方、マイナス評価だった項目は、「中心市街地や商店街の魅力づくり」(-1.02 ポイント)、「渋滞解消のための道路整備」(-0.90 ポイント)、「地域の特性に合わせた計画的な土地利用」(-0.85 ポイント) など 50 項目中 34 項目となっている。

過去調査と比較すると、マイナス評価からプラス評価に転じた項目は 3 項目あり、中でも「にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催」では、平成 24 年度 (-0.14 ポイント) と今年 (0.11 ポイント) で 0.25 ポイント上昇、「支援の必要な児童に対する療養（医療と育成）」は、平成 24 年度 (-0.15 ポイント) と今年 (0.01 ポイント) で 0.16 ポイント上昇している。一方、プラス評価からマイナス評価に転じた項目は 5 項目あり、「小中学校における教育環境の整備」は、平成 24 年度 (0.31 ポイント) と今年 (-0.00 ポイント) で 0.31 ポイント下降している。

図 3 - 1 - 1 「市政への満足度」



※集計の際、「満足」 2 点、「やや満足」 1 点、「やや不満」 - 1 点、「不満」 - 2 点として計算した。

「市政への満足度」について年代別に全項目をみると、「16～19 歳」の満足度が高く、「評価がプラスの項目」は 50 項目中 43 項目、「最も評価の高い項目」の数が 33 項目、「最も評価の低い項目」の数は 0 項目となっている。一方「30～39 歳」、「60～69 歳」では満足度が低くなっている。50 項目中「評価がプラスの項目」は「30～39 歳」では 11 項目、「60～69 歳」では 12 項目となっている。「30～39 歳」では「最も評価の高い項目」の数が 0 項目、「最も評価の低い項目」の数は 16 項目となっている。

最も満足度が高い項目は「70 歳以上」の「水道水の安定供給への取り組み」(0.81 ポイント)で、次いで同年代の「下水道の整備、浄化槽設置など生活排水対策」(0.78 ポイント)となっている。一方、最も満足度が低い項目は「30～39 歳」の「渋滞解消のための道路整備」(-1.02 ポイント)で、「40～49 歳」の「中心市街地や商店街の魅力づくり」(-1.00 ポイント)となっている。

表 3－1－1 年代別「市政への満足度」

		全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 教育・文化	(1)小・中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	0.17	0.49	0.12	▲ 0.09	▲ 0.07	0.12	0.09	0.14
	(2)小・中学校における教育環境の整備	▲ 0.00	0.35	0.18	▲ 0.15	▲ 0.29	▲ 0.03	0.05	0.12
	(3)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.07	0.39	0.29	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.12	▲ 0.23	0.01
	(4)文化財の保存と活用	0.14	0.37	0.32	0.08	0.04	0.15	▲ 0.05	0.09
	(5)生涯学習活動に参加する機会	0.11	0.18	0.33	0.05	▲ 0.01	0.03	▲ 0.03	0.17
	(6)スポーツを楽しむ機会	0.09	0.49	0.25	▲ 0.06	0.04	0.08	▲ 0.06	0.11
	(7)子どもの権利に関する意識の定着	0.01	0.47	0.07	0.01	▲ 0.03	0.08	▲ 0.14	▲ 0.03
	(8)社会における男女平等意識の定着	▲ 0.14	0.25	0.00	▲ 0.10	▲ 0.19	▲ 0.11	▲ 0.21	0.01
	(9)人権意識の普及	▲ 0.07	0.35	0.14	0.00	▲ 0.13	0.00	▲ 0.21	0.02
2 産業・経済	(1)企業誘致に向けた取り組み	▲ 0.38	0.14	▲ 0.08	▲ 0.46	▲ 0.39	▲ 0.19	▲ 0.36	▲ 0.28
	(2)新しい分野の産業や企業の育成	▲ 0.82	▲ 0.04	▲ 0.11	▲ 0.66	▲ 0.72	▲ 0.63	▲ 0.63	▲ 0.56
	(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	▲ 1.02	▲ 0.20	▲ 0.48	▲ 0.96	▲ 1.00	▲ 0.99	▲ 0.98	▲ 0.83
	(4)農業振興に向けた支援	▲ 0.83	▲ 0.22	▲ 0.19	▲ 0.44	▲ 0.47	▲ 0.44	▲ 0.34	▲ 0.39
	(5)地場産業への支援	▲ 0.57	0.04	▲ 0.05	▲ 0.42	▲ 0.30	▲ 0.35	▲ 0.38	▲ 0.44
	(6)にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	0.11	0.61	0.47	0.02	0.07	▲ 0.01	▲ 0.09	0.16
	(7)観光資源の充実や観光PR	▲ 0.27	0.10	0.18	▲ 0.23	▲ 0.28	▲ 0.19	▲ 0.41	▲ 0.24
3 都市基盤	(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.85	▲ 0.06	▲ 0.32	▲ 0.79	▲ 0.84	▲ 0.66	▲ 0.64	▲ 0.41
	(2)にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	▲ 0.26	0.24	0.11	▲ 0.51	▲ 0.52	▲ 0.45	▲ 0.18	0.06
	(3)景観保全への取り組み	▲ 0.41	0.08	0.04	▲ 0.34	▲ 0.41	▲ 0.40	▲ 0.32	▲ 0.32
	(4)消防・救急体制の整備	0.67	0.53	0.59	0.20	0.30	0.56	0.57	0.72
	(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	▲ 0.22	0.20	0.05	▲ 0.29	▲ 0.17	▲ 0.11	▲ 0.16	▲ 0.25
	(6)渋滞解消のための道路整備	▲ 0.90	▲ 0.02	▲ 0.77	▲ 1.02	▲ 0.91	▲ 0.95	▲ 0.83	▲ 0.64
	(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.30	0.25	0.23	▲ 0.32	▲ 0.35	▲ 0.35	▲ 0.36	▲ 0.29
	(8)交通安全対策や歩道などの整備	▲ 0.43	0.25	0.03	▲ 0.56	▲ 0.61	▲ 0.51	▲ 0.39	▲ 0.35
	(9)鉄道やバスなど公共交通政策	▲ 0.47	0.10	▲ 0.12	▲ 0.46	▲ 0.73	▲ 0.39	▲ 0.53	▲ 0.28
4 生活環境	(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	▲ 0.35	0.29	0.01	▲ 0.30	▲ 0.24	▲ 0.22	▲ 0.27	▲ 0.28
	(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などの生活環境の保全	▲ 0.22	▲ 0.02	0.10	▲ 0.16	▲ 0.04	▲ 0.21	▲ 0.24	▲ 0.25
	(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	0.51	0.22	0.40	0.13	0.27	0.56	0.62	0.57
	(4)まちなかの緑を増やす取り組み	▲ 0.16	0.22	0.40	0.13	0.27	0.56	0.62	0.57
	(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	▲ 0.30	0.33	▲ 0.10	▲ 0.30	▲ 0.22	▲ 0.33	▲ 0.33	▲ 0.26
	(6)水道水の安定供給への取り組み	0.74	0.65	0.60	0.50	0.47	0.49	0.63	0.81
	(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	0.68	0.57	0.63	0.41	0.42	0.39	0.56	0.78
	(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	▲ 0.04	0.24	0.29	▲ 0.07	▲ 0.21	▲ 0.16	▲ 0.14	0.18
5 保健・医療・福祉	(1)幼稚園や保育園の保育サービス	0.13	0.18	0.29	▲ 0.24	▲ 0.04	0.12	0.13	0.12
	(2)子育て支援への取り組み	▲ 0.05	0.14	0.34	▲ 0.34	▲ 0.07	▲ 0.07	▲ 0.04	0.10
	(3)支援の必要な児童に対する療養(医療と育成)	0.01	0.14	0.25	▲ 0.08	0.03	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.04
	(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	0.22	0.14	0.25	▲ 0.08	0.03	▲ 0.02	▲ 0.01	▲ 0.04
	(5)市内の医療機関の充足状況	0.37	0.31	0.47	0.19	0.11	0.29	0.26	0.55
	(6)高齢者に対する福祉サービス	▲ 0.04	0.31	0.25	▲ 0.11	▲ 0.04	▲ 0.09	▲ 0.06	▲ 0.05
	(7)障がい者に対する福祉サービス	▲ 0.07	0.25	0.12	▲ 0.09	▲ 0.16	▲ 0.15	0.01	0.02
	(8)介護保険事業や介護予防	▲ 0.12	0.25	0.34	▲ 0.11	▲ 0.17	▲ 0.17	▲ 0.09	▲ 0.08
	(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会の実現に向けた取り組み	▲ 0.40	0.10	0.05	▲ 0.19	▲ 0.22	▲ 0.23	▲ 0.19	▲ 0.18
	(10)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.33	0.16	0.14	▲ 0.22	▲ 0.27	▲ 0.23	▲ 0.24	▲ 0.18
6 行政運営・経営	(1)職員の市民への対応	0.07	0.29	0.00	▲ 0.10	0.07	▲ 0.12	0.05	0.25
	(2)財政運営の状況	▲ 0.53	▲ 0.22	▲ 0.12	▲ 0.45	▲ 0.41	▲ 0.35	▲ 0.36	▲ 0.09
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.20	0.24	0.01	▲ 0.29	▲ 0.36	▲ 0.22	▲ 0.09	0.07
	(4)市民への広報活動(情報提供)	0.21	0.65	0.11	0.02	0.15	0.08	0.12	0.30
	(5)市民参加の機会	▲ 0.04	0.47	0.07	▲ 0.11	0.04	▲ 0.12	▲ 0.11	0.03
	(6)地域と連携協力した防犯活動等の取り組み	▲ 0.05	0.31	0.15	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.09	▲ 0.09	▲ 0.03
	(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	▲ 0.34	0.24	▲ 0.04	▲ 0.36	▲ 0.18	▲ 0.25	▲ 0.23	▲ 0.12
評価がプラスの項目(全50項目中)		16	43	39	12	14	14	12	24
全体よりも評価が低い項目(全50項目中)			6	7	17	22	23	15	8
最も評価の高い項目数(全50項目中)			33	10	0	0	0	2	5
最も評価の低い項目数(全50項目中)			0	0	16	15	6	11	2

▲ : マイナス
下線 : 全体よりも評価の低いもの
下線 : 各項目で最も評価の高いもの
下線 : 各項目で最も評価の低いもの

「市政への満足度」について小学校区別に全項目をみると、「池田」の満足度が高く、「評価がプラスの項目」は50項目中37項目、「最も評価の高い項目」の数は27項目、「最も評価の低い項目」の数は0項目となっている。一方、満足度が低いのは、「共栄」で、「評価がプラスの項目」は50項目中12項目、「最も評価の低い項目」の数が28項目、「最も評価の高い項目」の数は2項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「昭和」の「下水道整備、浄化槽設置などの生活排水対策」(0.90ポイント)となっている。一方、最も満足度が低い項目は、「共栄」の「鉄道やバスなどの公共交通政策」(-1.34ポイント)、次いで同校区の「中心市街地や商店街の魅力づくり」(-1.17ポイント)となっている。

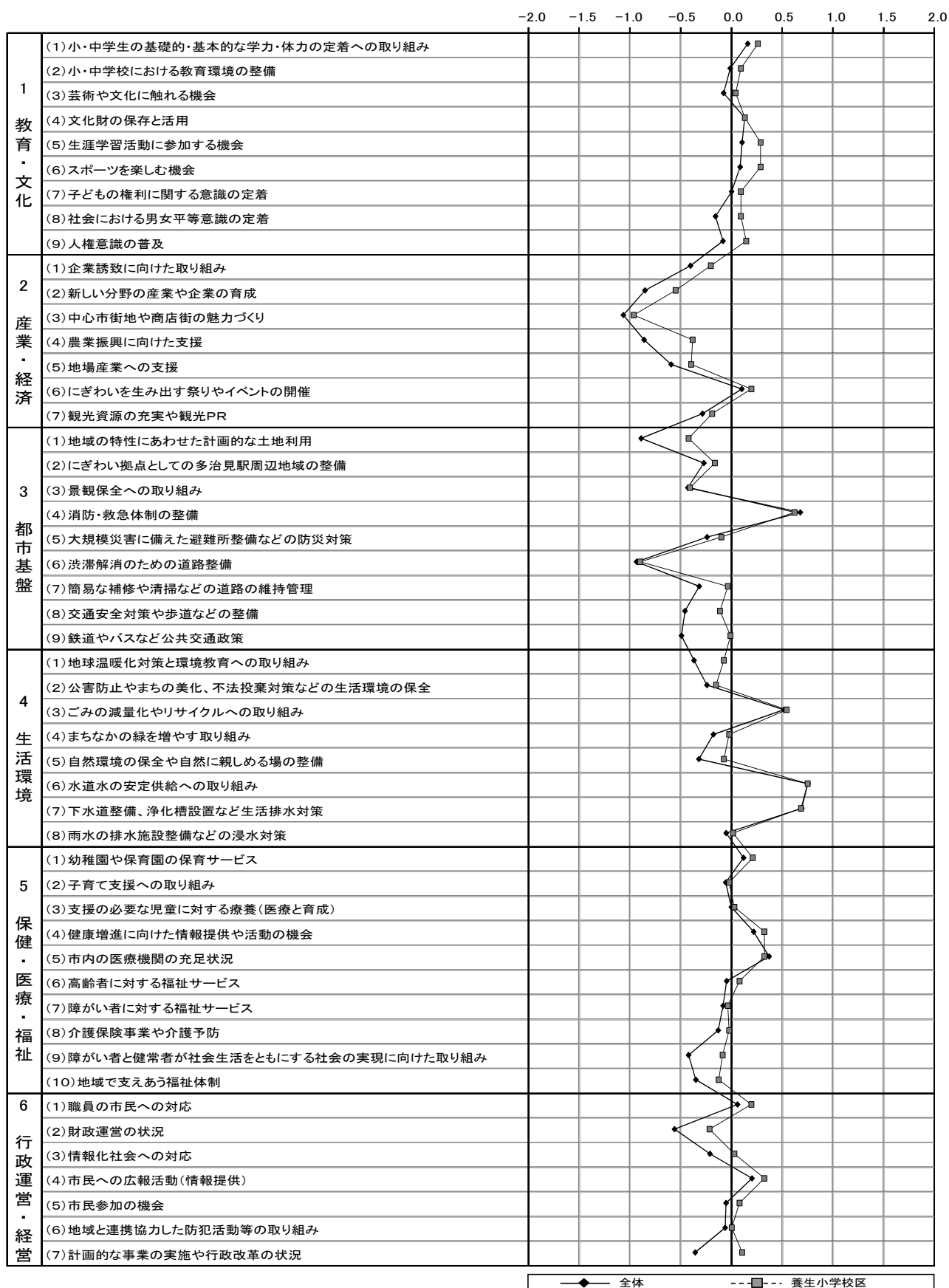
次頁からは、各小学校区別の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

表3-1-2 小学校区別「市政への満足度」

		全体	養 正	精 華	共 栄	昭 和	小 泉	池 田	市之倉	滝 呂	南 郷	根 本	北 栄	脇之島	笠 原
教育・文化	(1)小・中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	0.17	0.26	0.04	0.03	0.26	▲0.06	0.02	0.15	0.17	▲0.08	0.06	0.10	0.01	0.03
	(2)小・中学校における教育環境の整備	▲0.00	0.10	▲0.19	▲0.34	0.07	▲0.14	0.02	0.15	0.14	0.08	0.12	▲0.05	0.00	▲0.02
	(3)芸術や文化に触れる機会	▲0.07	0.05	▲0.20	▲0.21	▲0.11	▲0.14	0.35	▲0.20	0.04	▲0.21	▲0.19	0.11	0.01	0.16
	(4)文化財の保存と活用	0.14	0.14	0.12	0.14	0.16	0.14	0.45	▲0.02	0.10	▲0.13	0.04	0.10	0.00	▲0.02
	(5)生涯学習活動に参加する機会	0.11	0.29	0.14	0.10	0.04	▲0.05	0.04	0.10	0.00	0.03	0.11	0.07	0.09	0.03
	(6)スポーツを楽しむ機会	0.09	0.29	▲0.04	0.03	0.11	▲0.26	0.49	0.00	0.13	0.05	0.07	▲0.09	0.26	0.08
	(7)子どもの権利に関する意識の定着	0.01	0.10	▲0.04	0.14	0.08	0.06	▲0.22	0.09	0.00	▲0.02	0.05	▲0.18	0.00	
	(8)社会における男女平等意識の定着	▲0.14	0.10	▲0.04	▲0.28	▲0.03	▲0.06	0.10	▲0.28	0.05	0.03	▲0.26	▲0.07	▲0.24	▲0.25
	(9)人権意識の普及	▲0.07	0.15	▲0.05	▲0.10	0.05	▲0.01	0.20	▲0.22	0.01	▲0.13	▲0.12	0.06	▲0.15	▲0.13
産業・経済	(1)企業誘致に向けた取り組み	▲0.38	▲0.19	▲0.18	▲0.69	▲0.25	▲0.38	0.27	▲0.42	▲0.27	▲0.44	▲0.37	▲0.10	▲0.42	▲0.49
	(2)新しい分野の産業や企業の育成	▲0.82	▲0.53	▲0.53	▲0.86	▲0.49	▲0.62	▲0.08	▲0.65	▲0.60	▲0.62	▲0.61	▲0.57	▲0.72	▲0.64
	(3)中心市街地や商店街の魅力づくり	▲1.02	▲0.93	▲0.85	▲1.17	▲0.95	▲0.92	▲0.51	▲0.68	▲0.92	▲0.82	▲0.97	▲0.80	▲0.89	▲0.93
	(4)農業振興に向けた支援	▲0.83	▲0.36	▲0.39	▲0.59	▲0.25	▲0.34	▲0.31	▲0.37	▲0.42	▲0.38	▲0.49	▲0.49	▲0.38	▲0.28
	(5)地場産業への支援	▲0.57	▲0.38	▲0.32	▲0.86	▲0.15	▲0.33	▲0.14	▲0.25	▲0.38	▲0.28	▲0.26	▲0.23	▲0.46	▲0.61
	(6)にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	0.11	0.20	0.23	▲0.69	0.00	▲0.03	0.43	0.10	0.24	0.13	0.19	0.09	▲0.01	▲0.05
	(7)観光資源の充実や観光PR	▲0.27	▲0.18	▲0.08	▲0.79	▲0.04	▲0.38	0.14	▲0.27	▲0.08	▲0.33	▲0.37	▲0.18	▲0.16	▲0.52
都市基盤	(1)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲0.85	▲0.40	▲0.88	▲1.03	▲0.53	▲0.56	▲0.24	▲0.48	▲0.49	▲0.69	▲0.60	▲0.50	▲0.57	▲0.69
	(2)にぎわい拠点としての多活用駅周辺地域の整備	▲0.26	▲0.15	▲0.39	▲0.79	▲0.29	▲0.25	▲0.06	▲0.08	▲0.22	▲0.28	▲0.23	0.13	▲0.20	▲0.18
	(3)景観保全への取り組み	▲0.41	▲0.39	▲0.50	▲0.97	▲0.08	▲0.08	0.00	▲0.22	▲0.10	▲0.36	▲0.38	▲0.23	▲0.46	▲0.13
	(4)消防・救急体制の整備	0.67	0.61	0.39	0.41	0.66	0.52	0.80	0.57	0.67	0.44	0.36	0.72	0.32	0.56
	(5)大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	▲0.22	▲0.09	▲0.16	▲0.52	▲0.15	▲0.14	0.02	▲0.18	0.17	▲0.03	▲0.37	▲0.06	▲0.20	▲0.20
	(6)洪水解消のための道路整備	▲0.90	▲0.86	▲0.89	▲0.90	▲1.01	▲0.86	▲0.69	1.07	▲0.60	▲0.54	▲0.62	▲0.40	▲0.89	▲1.02
	(7)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲0.30	▲0.03	▲0.21	▲0.90	▲0.25	▲0.33	▲0.06	▲0.30	▲0.09	▲0.28	▲0.37	▲0.04	▲0.20	▲0.66
	(8)交通安全対策や歩道などの整備	▲0.43	▲0.10	▲0.36	▲1.00	▲0.38	▲0.54	▲0.24	▲0.32	▲0.49	▲0.08	▲0.46	▲0.18	▲0.39	▲0.59
生活環境	(9)鉄道やバスなど公共交通政策	▲0.47	0.00	▲0.20	▲1.34	0.00	▲0.28	▲0.27	▲0.82	▲0.67	▲0.46	▲0.65	▲0.40	▲0.24	▲0.59
	(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	▲0.35	▲0.06	▲0.31	▲0.41	▲0.05	▲0.21	0.06	▲0.22	▲0.15	▲0.33	▲0.38	▲0.12	▲0.26	▲0.43
	(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などの生活環境の保全	▲0.22	▲0.14	▲0.11	▲0.34	0.01	▲0.15	0.06	▲0.03	▲0.22	▲0.38	▲0.31	▲0.06	▲0.22	▲0.41
	(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	0.51	0.54	0.37	▲0.07	0.73	0.56	0.69	0.47	0.36	0.26	0.33	0.54	0.62	0.31
	(4)まちなかの緑を増やす取り組み	▲0.16	▲0.01	▲0.36	▲0.62	▲0.18	▲0.08	0.16	0.20	0.10	0.00	▲0.11	▲0.35	0.01	▲0.23
	(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	▲0.30	▲0.06	▲0.49	▲0.52	▲0.19	▲0.30	0.33	0.02	▲0.23	▲0.31	▲0.34	▲0.39	▲0.09	▲0.26
	(6)水道水の安定供給への取り組み	0.74	0.74	0.61	0.48	0.88	0.54	0.84	0.33	0.62	0.33	0.61	0.71	0.53	0.57
	(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	0.68	0.68	0.54	0.62	0.90	0.59	0.88	0.55	0.84	▲0.13	0.53	0.61	0.38	0.33
保健・医療・福祉	(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	▲0.04	0.03	▲0.18	0.07	0.15	0.00	0.06	▲0.02	0.19	▲0.41	▲0.22	0.18	▲0.07	▲0.10
	(1)幼稚園や保育園の保育サービス	0.13	0.21	0.01	0.10	0.01	0.20	0.16	0.23	0.06	▲0.05	▲0.17	0.04	0.03	0.16
	(2)子育て支援への取り組み	▲0.05	▲0.01	0.01	▲0.21	0.04	0.06	0.16	▲0.03	0.05	▲0.21	▲0.13	▲0.04	▲0.16	0.03
	(3)支援の必要な児童に対する療養(医療と育成)	0.01	0.04	0.05	0.03	0.22	0.18	0.18	▲0.17	0.08	▲0.10	▲0.19	▲0.05	▲0.12	▲0.02
	(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	0.22	0.33	0.18	▲0.17	0.18	0.23	0.43	0.23	0.31	▲0.08	0.03	0.21	0.23	▲0.13
	(5)市内の医療機関の充足状況	0.37	0.33	0.26	0.03	0.45	0.51	0.57	0.17	0.38	0.26	0.14	0.30	0.41	0.26
	(6)高齢者に対する福祉サービス	▲0.04	0.09	0.06	▲0.38	0.03	▲0.07	0.16	0.08	0.04	0.18	▲0.22	▲0.10	▲0.07	0.07
	(7)障がい者に対する福祉サービス	▲0.07	▲0.03	▲0.07	▲0.31	0.11	0.00	0.20	0.03	0.04	0.23	▲0.29	▲0.02	▲0.15	0.20
	(8)介護保険事業や介護予防	▲0.12	▲0.01	▲0.15	▲0.52	▲0.16	0.03	0.24	0.02	▲0.04	0.10	▲0.07	▲0.04	▲0.16	▲0.02
	(9)障がい者と健康者が社会生活をともにする社会の実現に向けた取り組み	▲0.40	▲0.08	▲0.22	▲0.45	▲0.15	▲0.16	0.14	▲0.30	▲0.12	0.18	▲0.19	▲0.21	▲0.30	▲0.10
	(10)地域で支えあう福祉体制	▲0.33	▲0.11	▲0.14	▲0.55	▲0.29	▲0.16	0.16	▲0.17	▲0.19	▲0.03	▲0.23	▲0.18	▲0.20	▲0.20
行政運営・経営	(1)職員の市民への対応	0.07	0.20	0.11	▲0.45	0.00	0.03	0.43	0.05	▲0.01	0.10	0.08	0.15	0.03	▲0.20
	(2)財政運営の状況	▲0.53	▲0.20	▲0.32	▲0.38	▲0.33	▲0.31	▲0.10	▲0.32	▲0.28	▲0.28	▲0.31	▲0.21	▲0.42	▲0.30
	(3)情報化社会への対応	▲0.20	0.04	▲0.18	▲0.31	▲0.19	▲0.11	▲0.10	▲0.20	0.01	▲0.10	▲0.08	0.11	▲0.24	▲0.18
	(4)市民への広報活動(情報提供)	0.21	0.33	0.16	▲0.24	0.05	0.25	0.35	0.08	0.26	0.00	0.25	0.30	0.30	▲0.05
	(5)市民参加の機会	▲0.04	0.09	0.01	▲0.38	0.18	▲0.01	0.20	▲0.22	▲0.06	▲0.15	0.01	0.10	0.01	▲0.18
	(6)地域と連携協力した防犯活動等の取り組み	▲0.05	0.01	▲0.19	▲0.38	▲0.01	0.24	0.39	0.08	0.04	0.31	▲0.09	▲0.01	▲0.16	▲0.33
	(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	▲0.34	0.11	▲0.20	▲0.59	▲0.36	▲0.20	▲0.06	▲0.20	▲0.14	0.00	▲0.15	0.00	▲0.28	▲0.43
評価がプラスの項目(全50項目中)		16	27	17	12	25	17	37	20	27	19	15	21	17	14
全体よりも評価が低い項目(全50項目中)			4	23	11	13	13	2	18	11	19	27	15	21	30
最も評価の高い項目数(全50項目中)			5	0	2	6	0	27	5	2	4	3	3	1	0
最も評価の低い項目数(全50項目中)			0	0	28	0	2	0	4	0	4	2	0	2	2

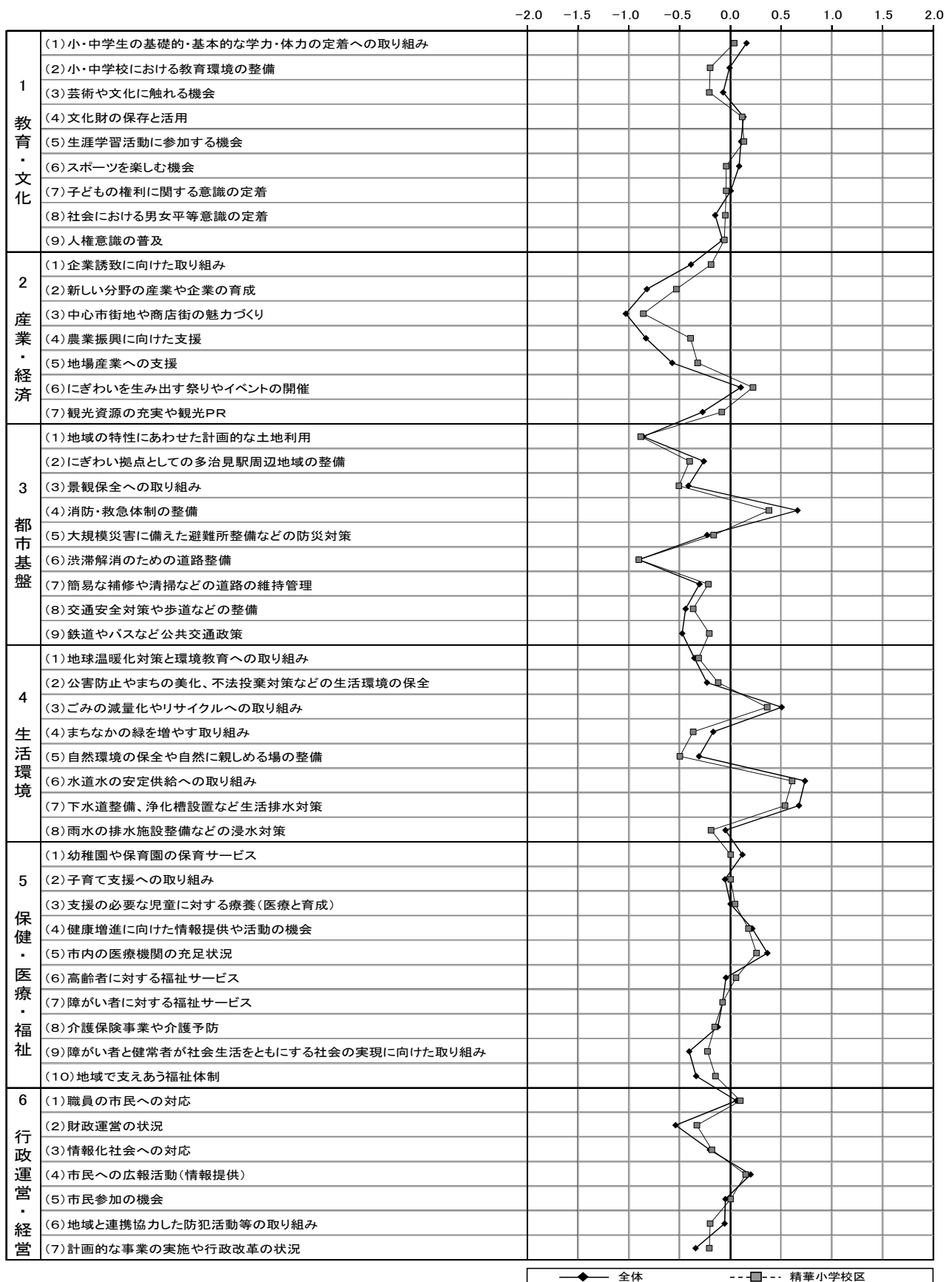
▲ : マイナス
 ■ : 全体よりも評価の低いもの
 下線 : 各項目で最も評価の高いもの
 斜線 : 各項目で最も評価の低いもの

図 3 - 1 - 2 「市政への満足度」(養正小学校区)



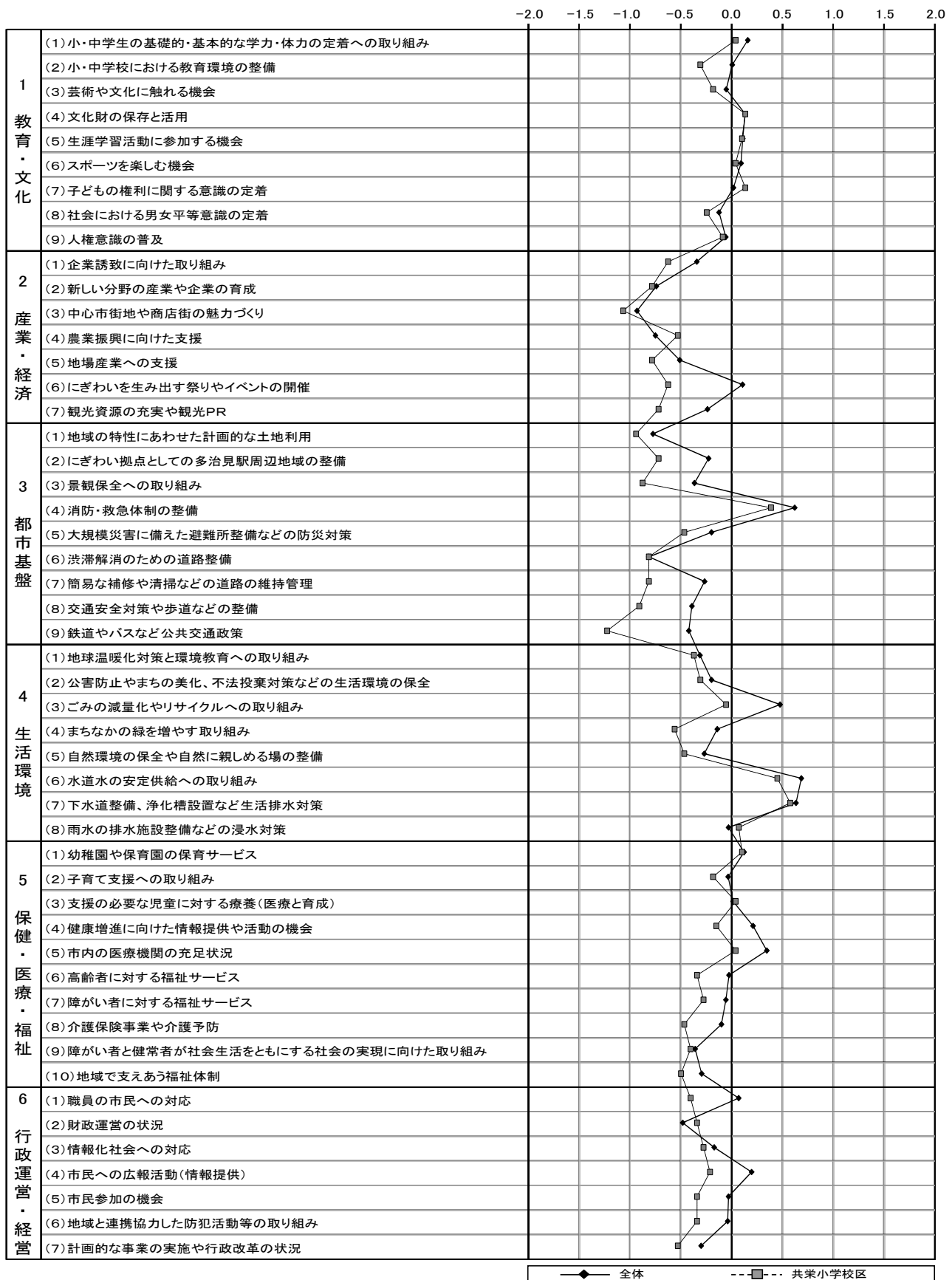
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 3 「市政への満足度」(精華小学校区)



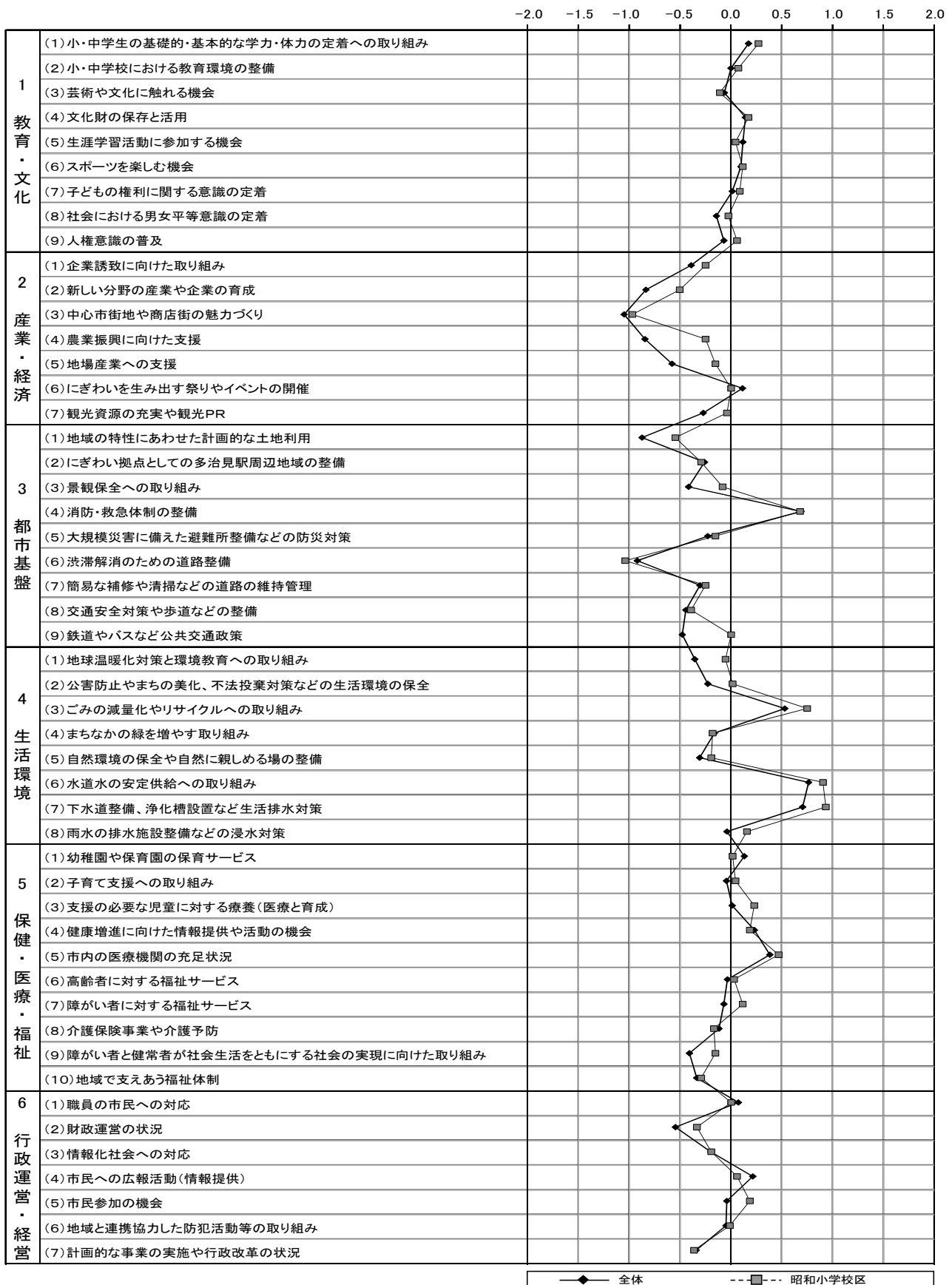
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 4 「市政への満足度」(共栄小学校区)



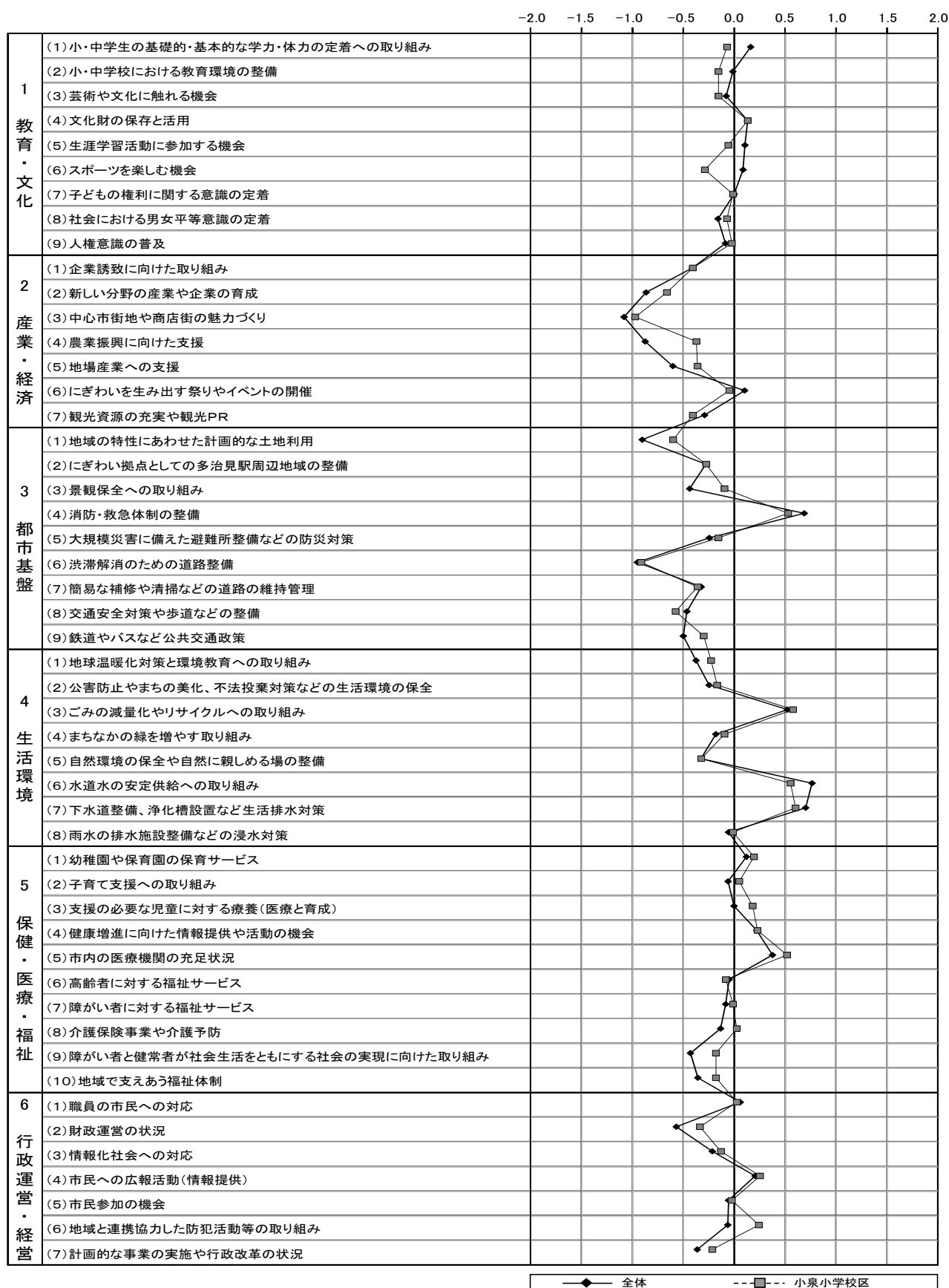
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 5 「市政への満足度」(昭和小学校区)



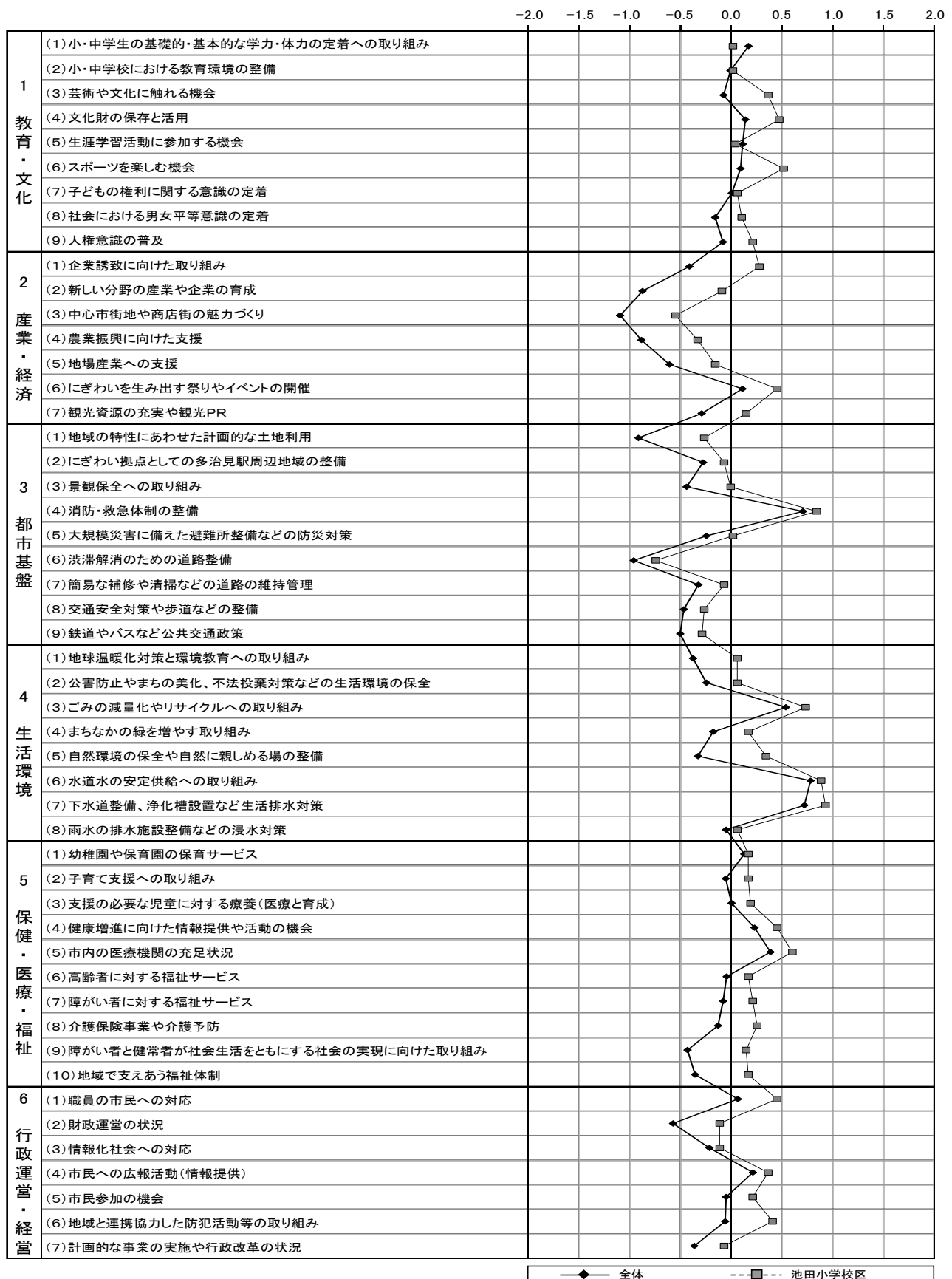
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 6 「市政への満足度」(小泉小学校区)



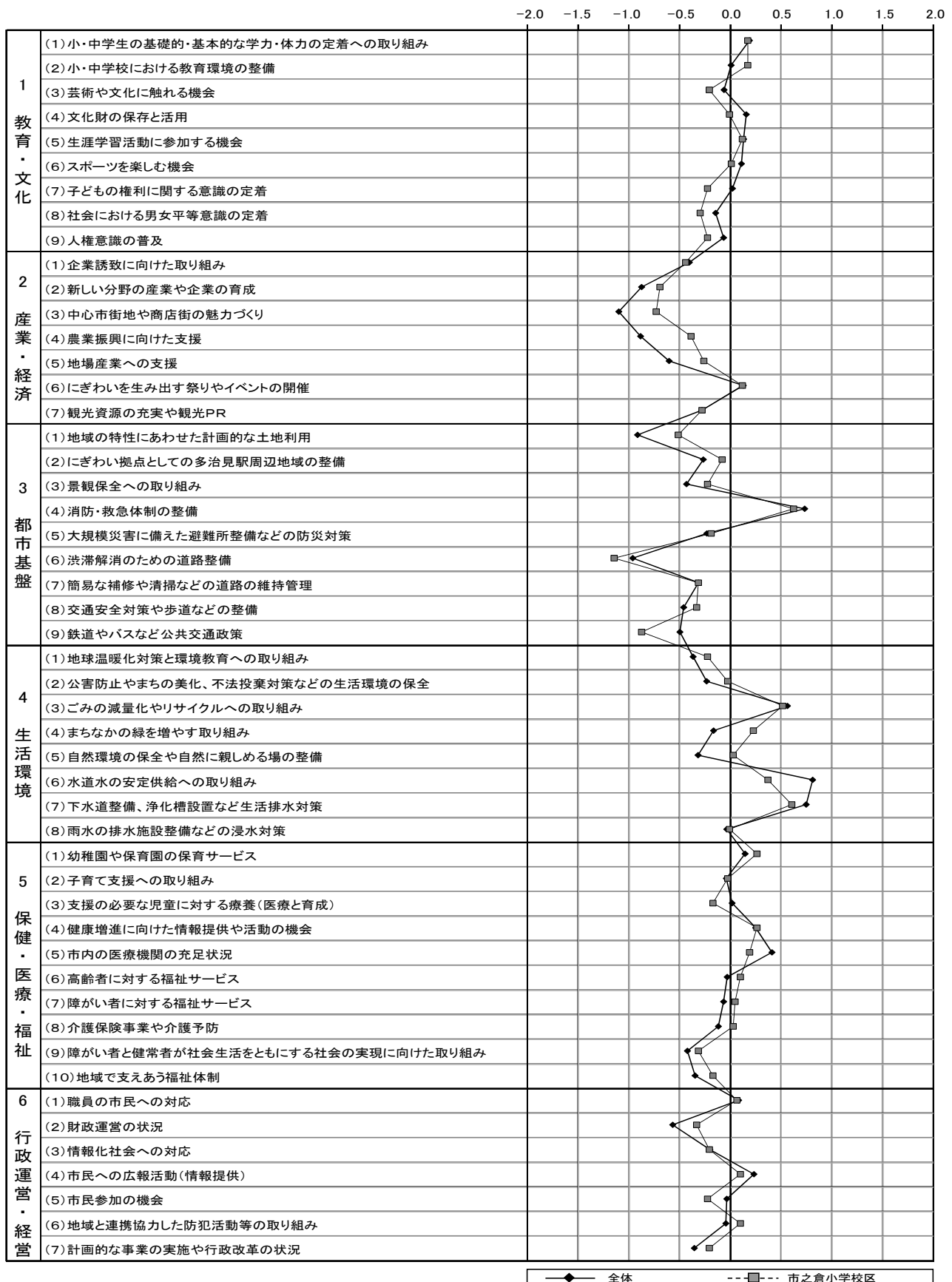
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 7 「市政への満足度」(池田小学校区)



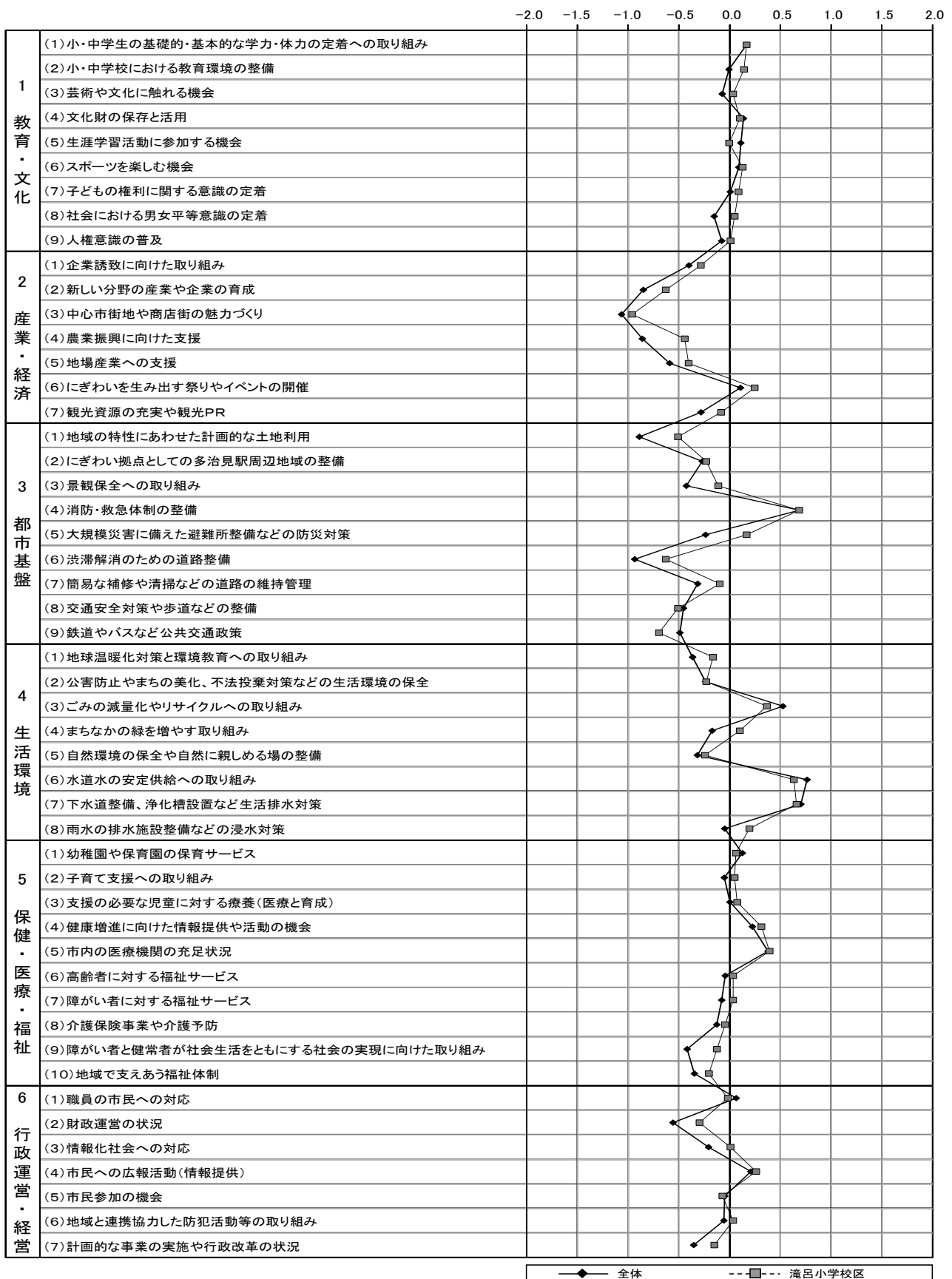
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 8 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



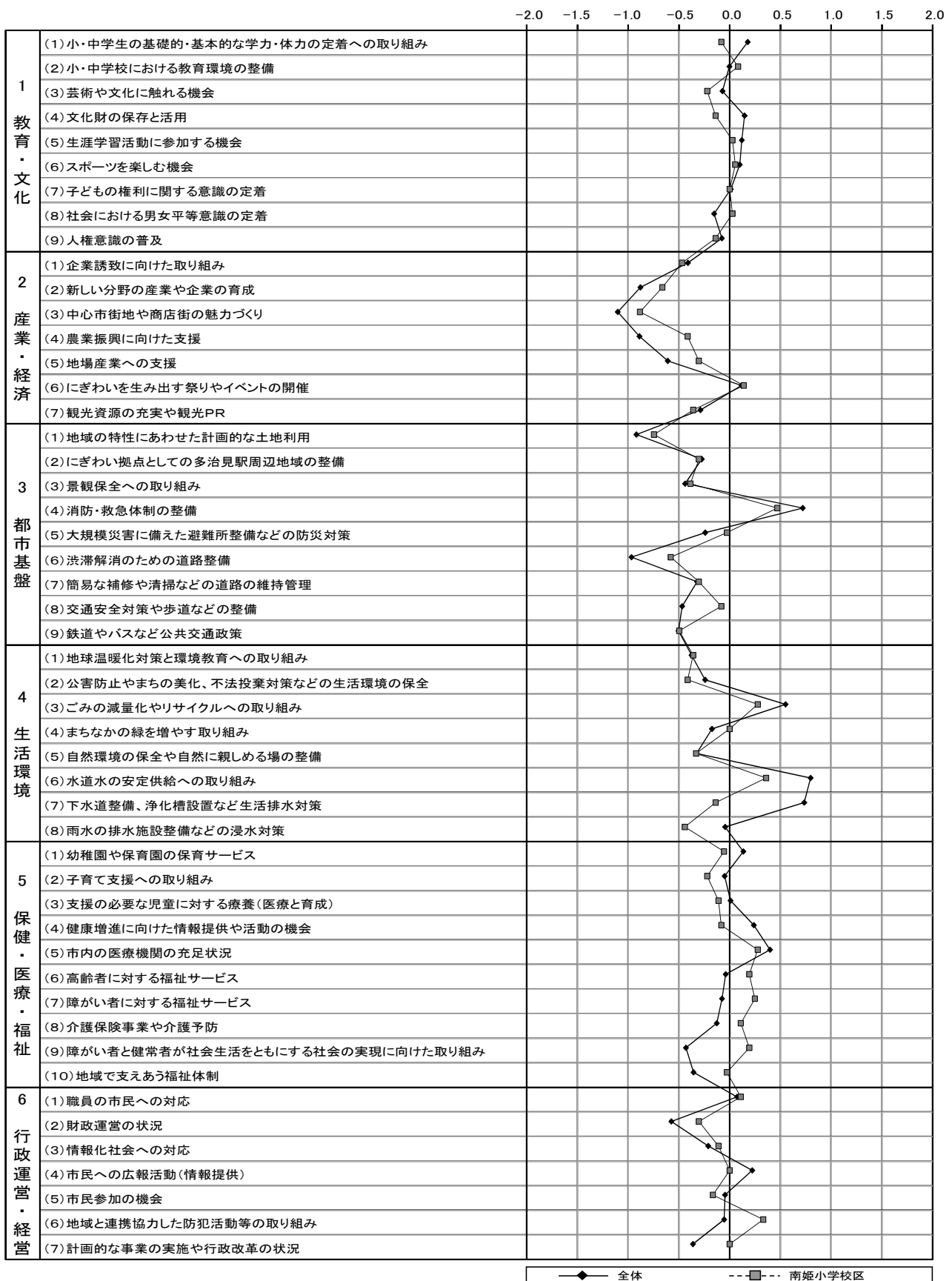
※集計の際、「満足」 2 点、「やや満足」 1 点、「やや不満」 - 1 点、「不満」 - 2 点として計算した。

図 3-1-9 「市政への満足度」(滝呂小学校区)



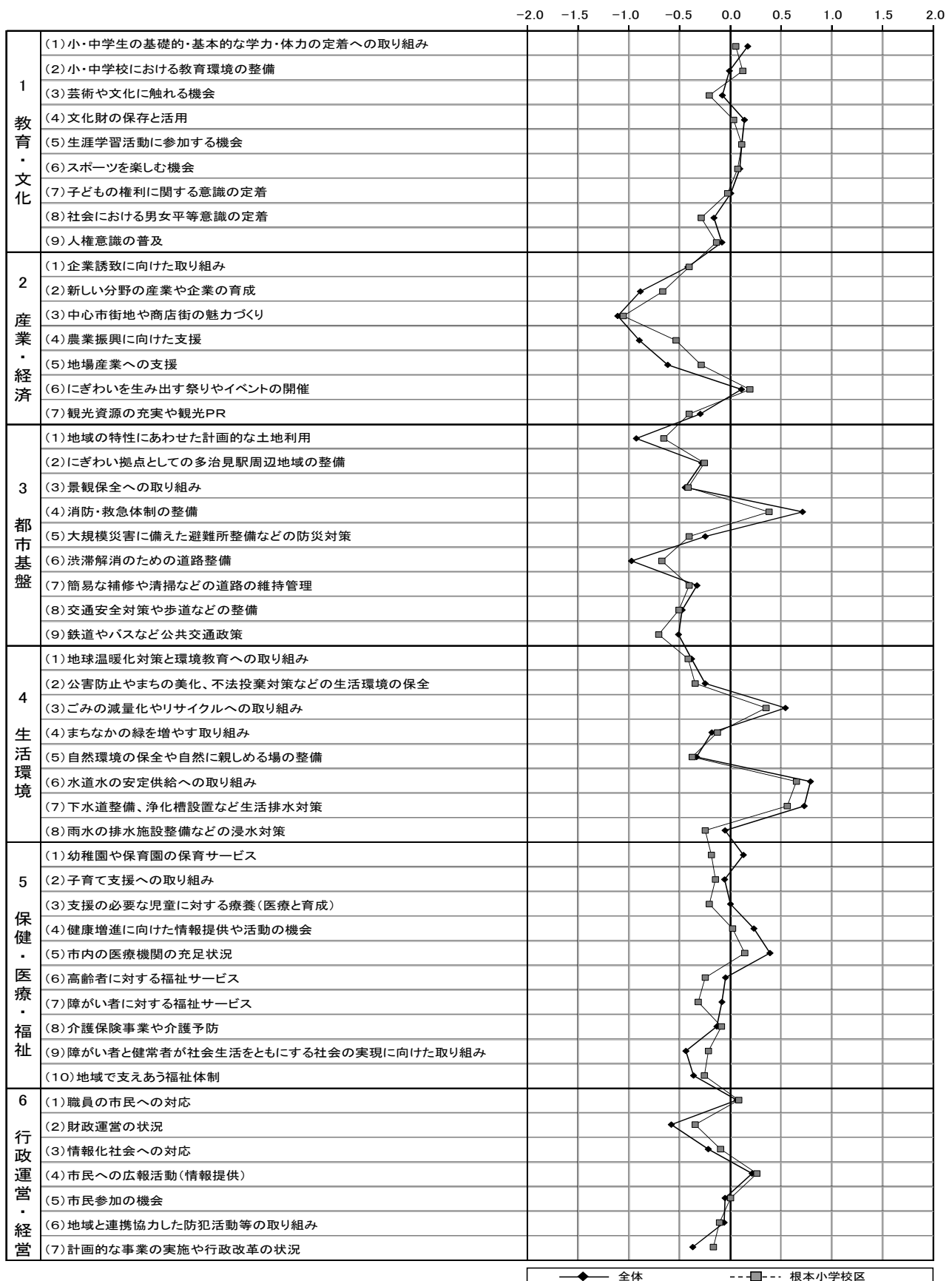
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 1 0 「市政への満足度」(南姫小学校区)



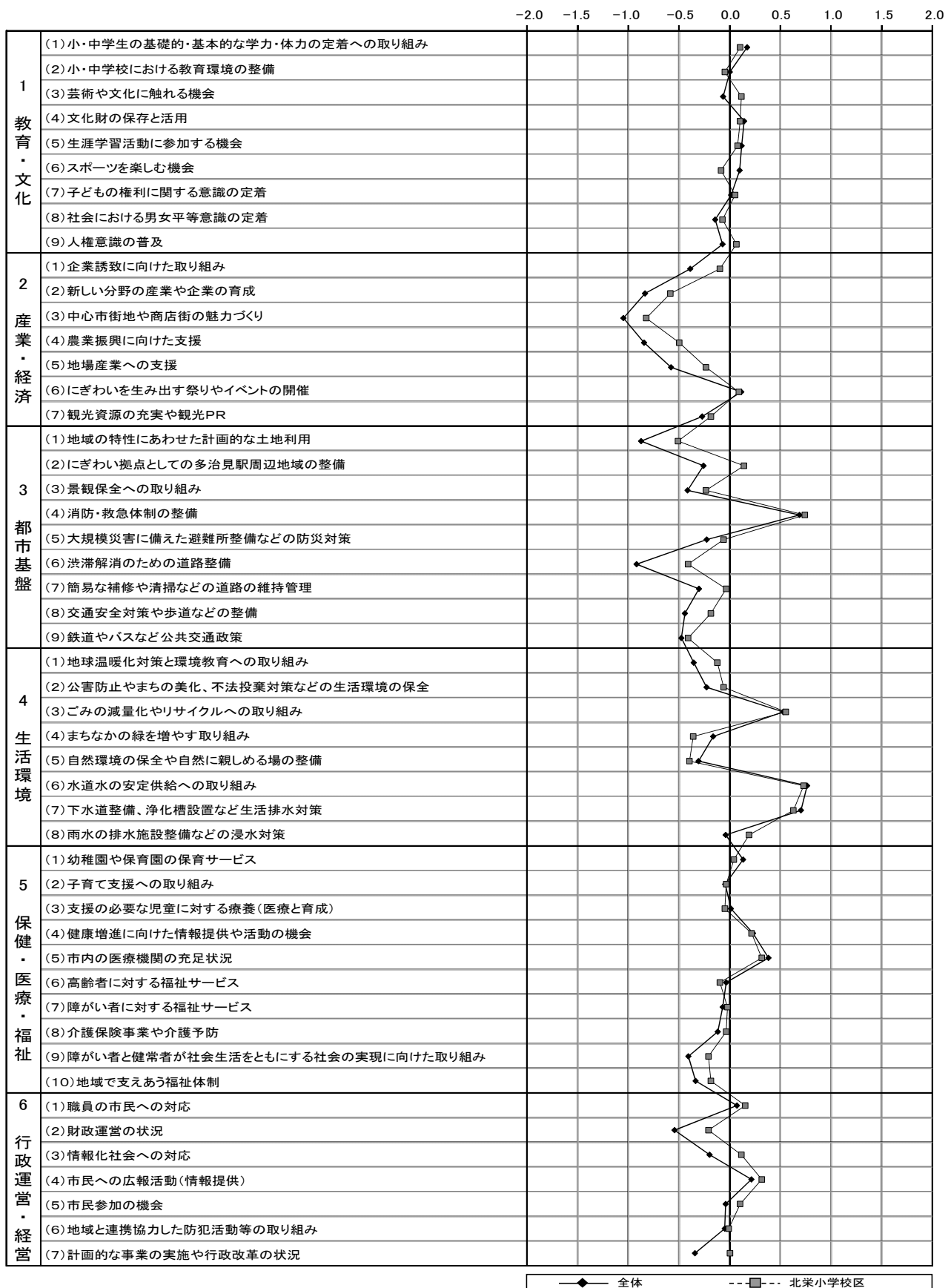
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 1 1 「市政への満足度」(根本小学校区)



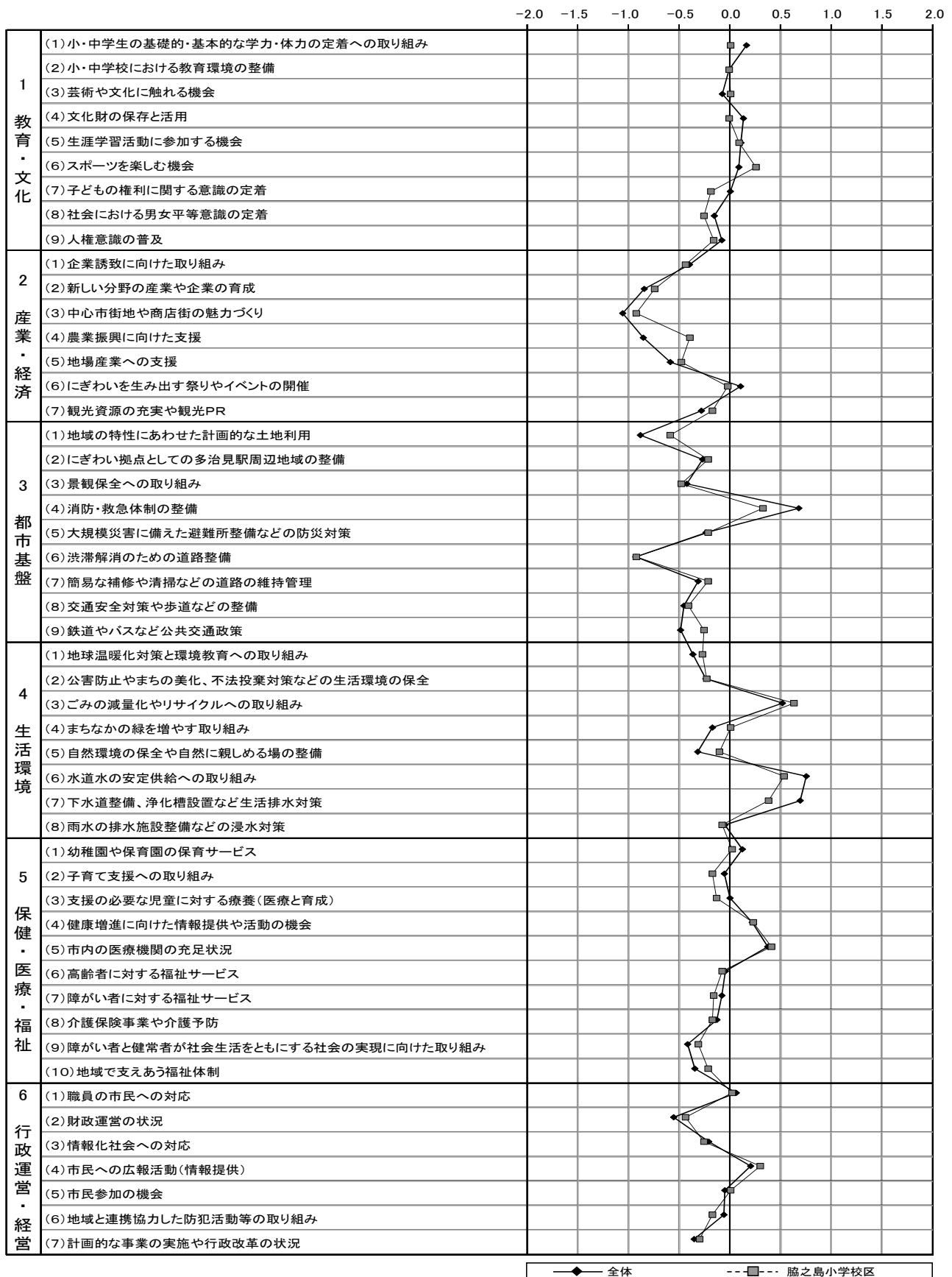
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 1 2 「市政への満足度」(北栄小学校区)



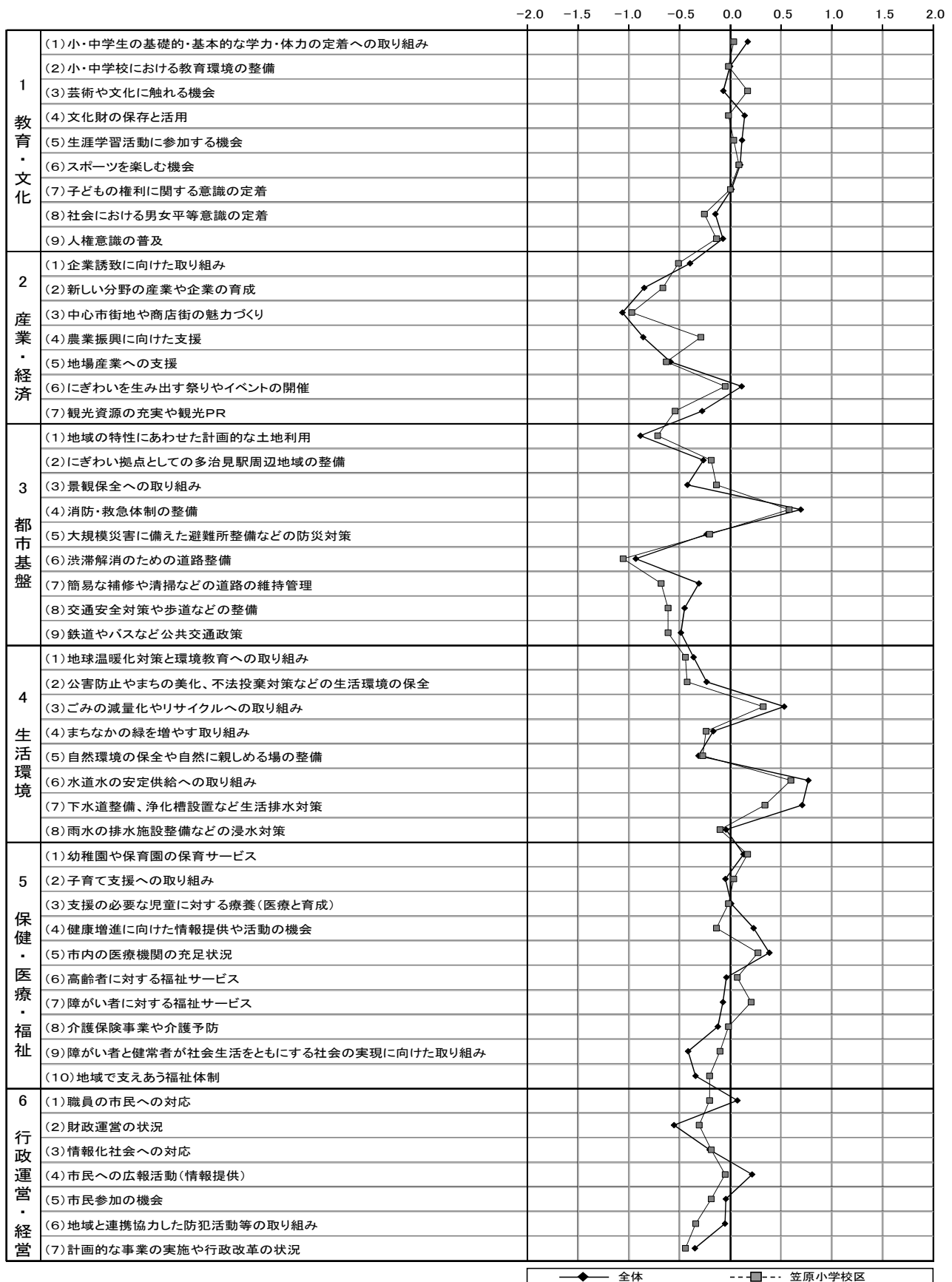
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 1 3 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 3 - 1 - 1 4 「市政への満足度」(笠原小学校区)



※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

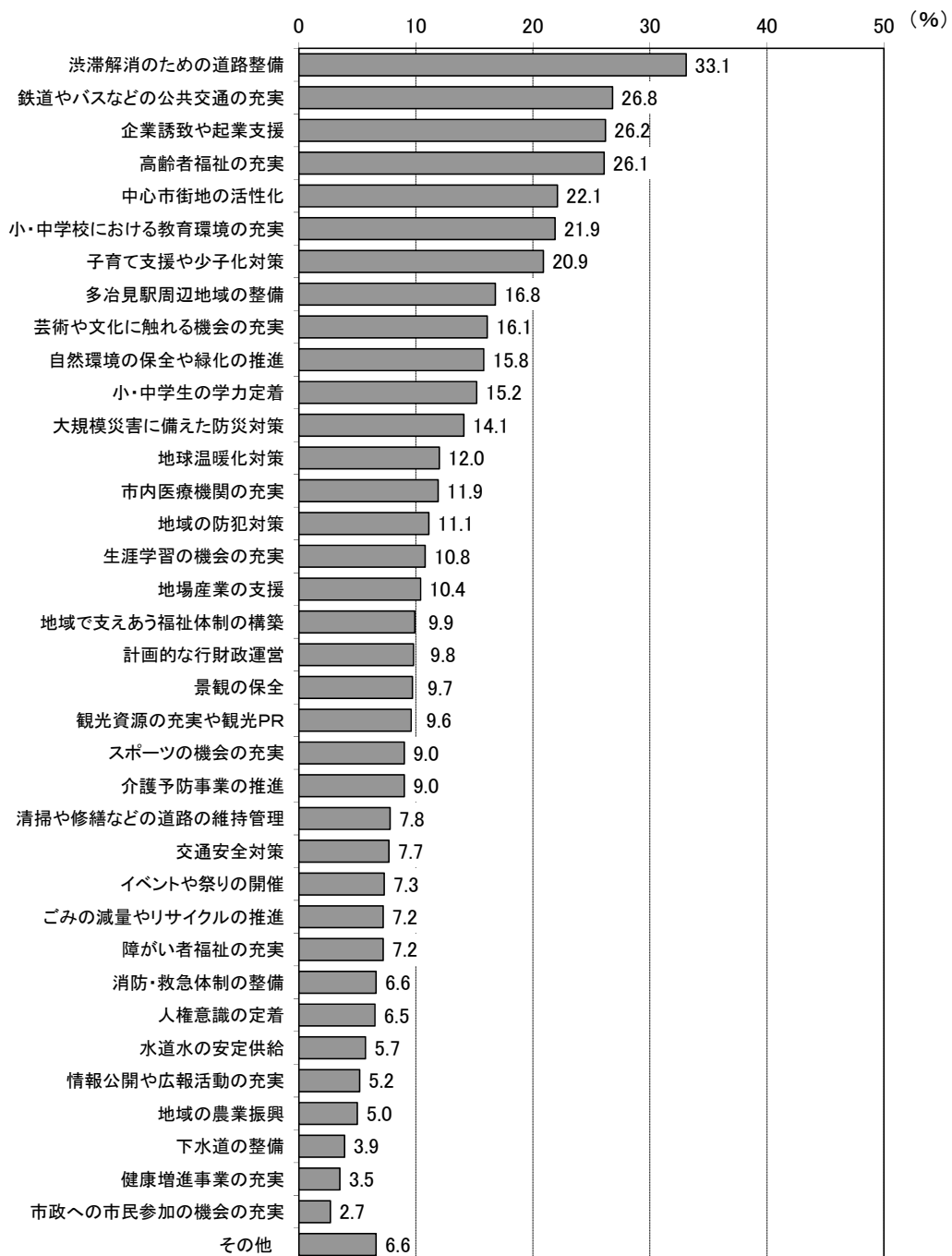
3-2 市の重点施策

「今後力を入れてほしい施策」は、37 項目中「渋滞解消のための道路整備」(33.1%) が最も高く、次いで「鉄道やバスなど公共交通の充実」(26.8%)、「企業誘致や起業支援」(26.2%)、「高齢者福祉の充実」(26.1%)、「中心市街地の活性化」(22.1%) となっている。

一方、5%に満たない項目は「下水道の整備」(3.9%)、「健康増進事業の充実」(3.5%)、「市政への市民参加の機会の充実」(2.7%) の3項目である。

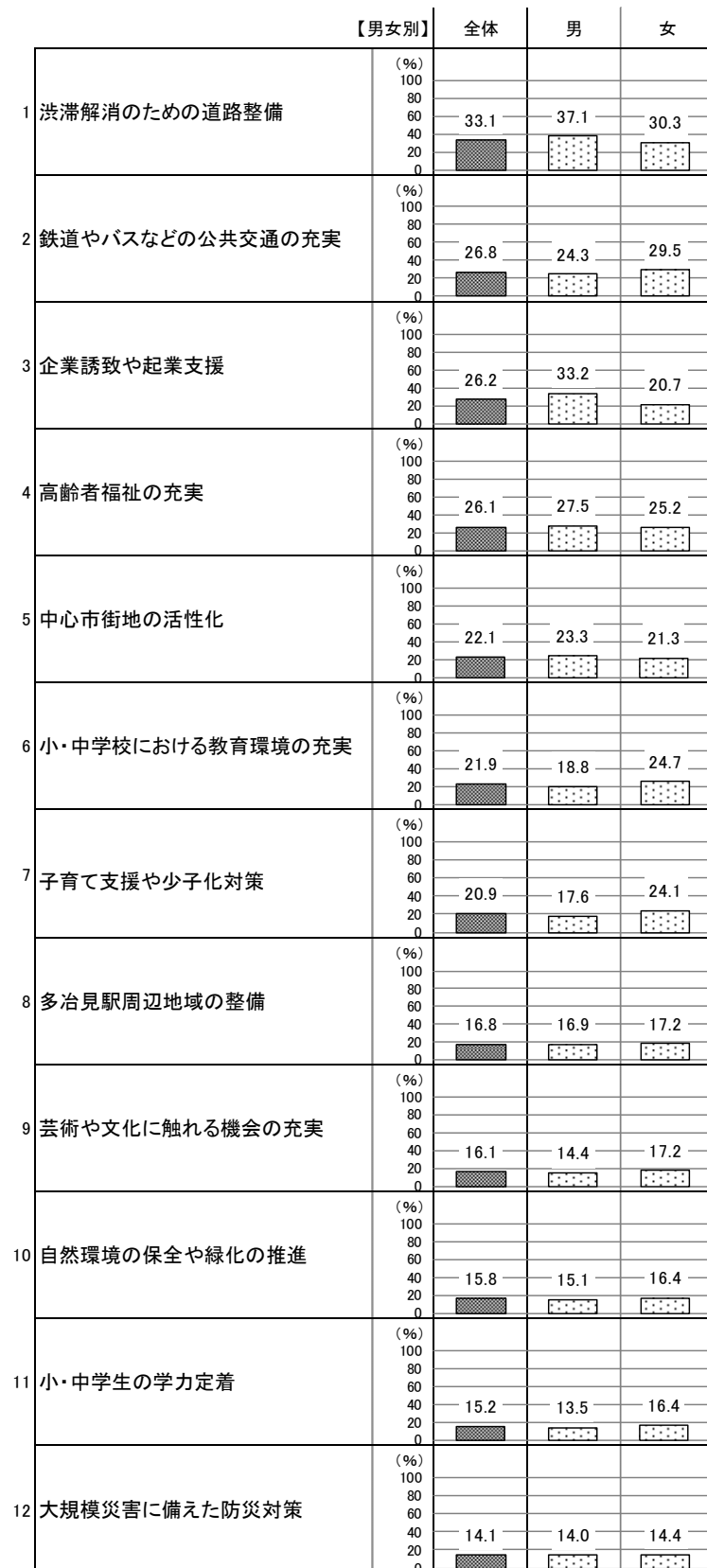
その他として、「大型商業施設（モール）や映画館の誘致」、「害虫駆除対策」、「水道料金の値下げ」、「街のイベントが行える大きな公園の整備」などがあつた。

図3-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



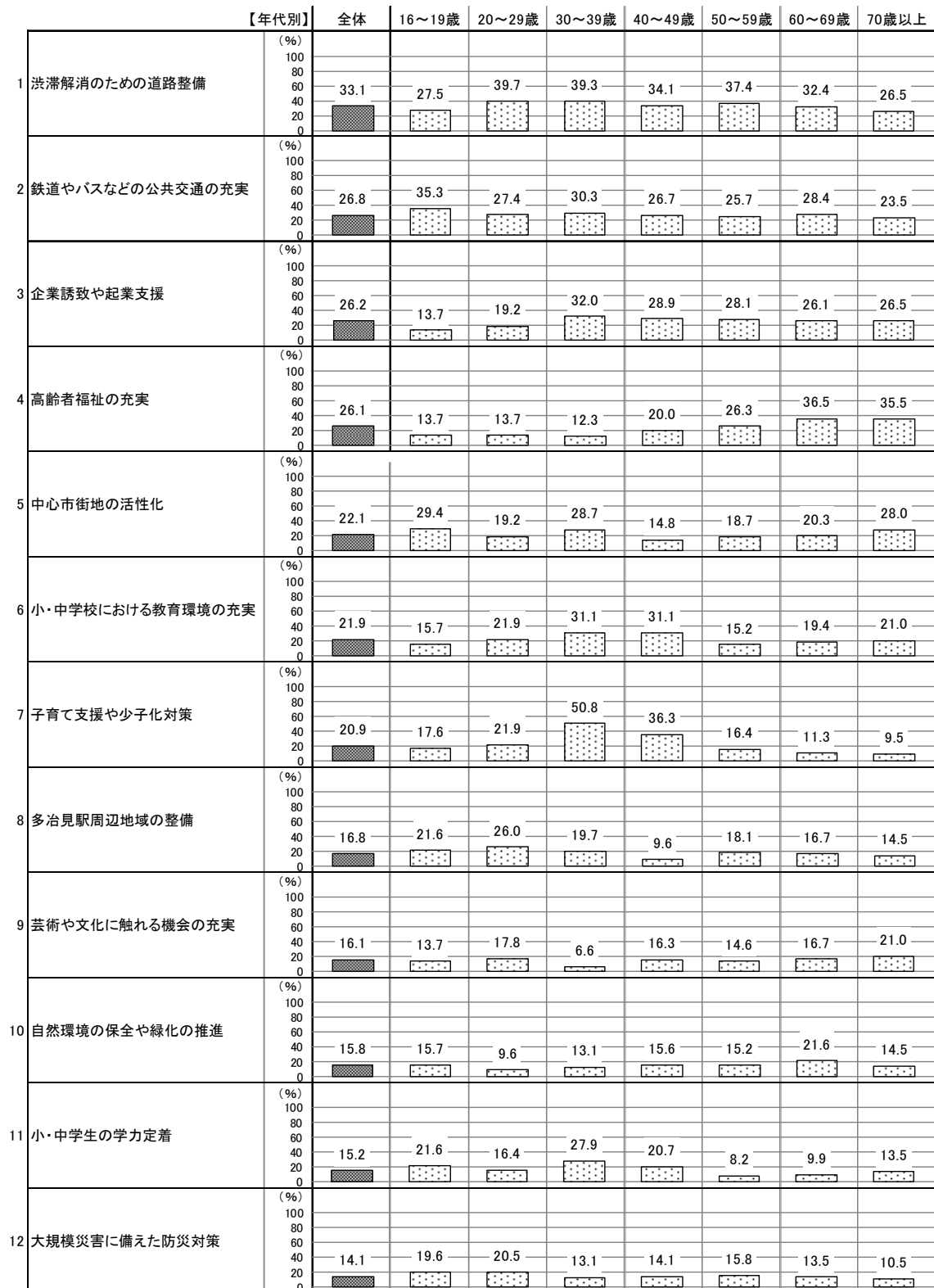
「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目のうち男女別の差が大きいものは「企業誘致や起業支援」で、男性が 33.2%、女性が 20.7%と男性の方が高くなっている。

図 3-2-2 男女別「今後力を入れてほしい施策」（上位 12 項目）



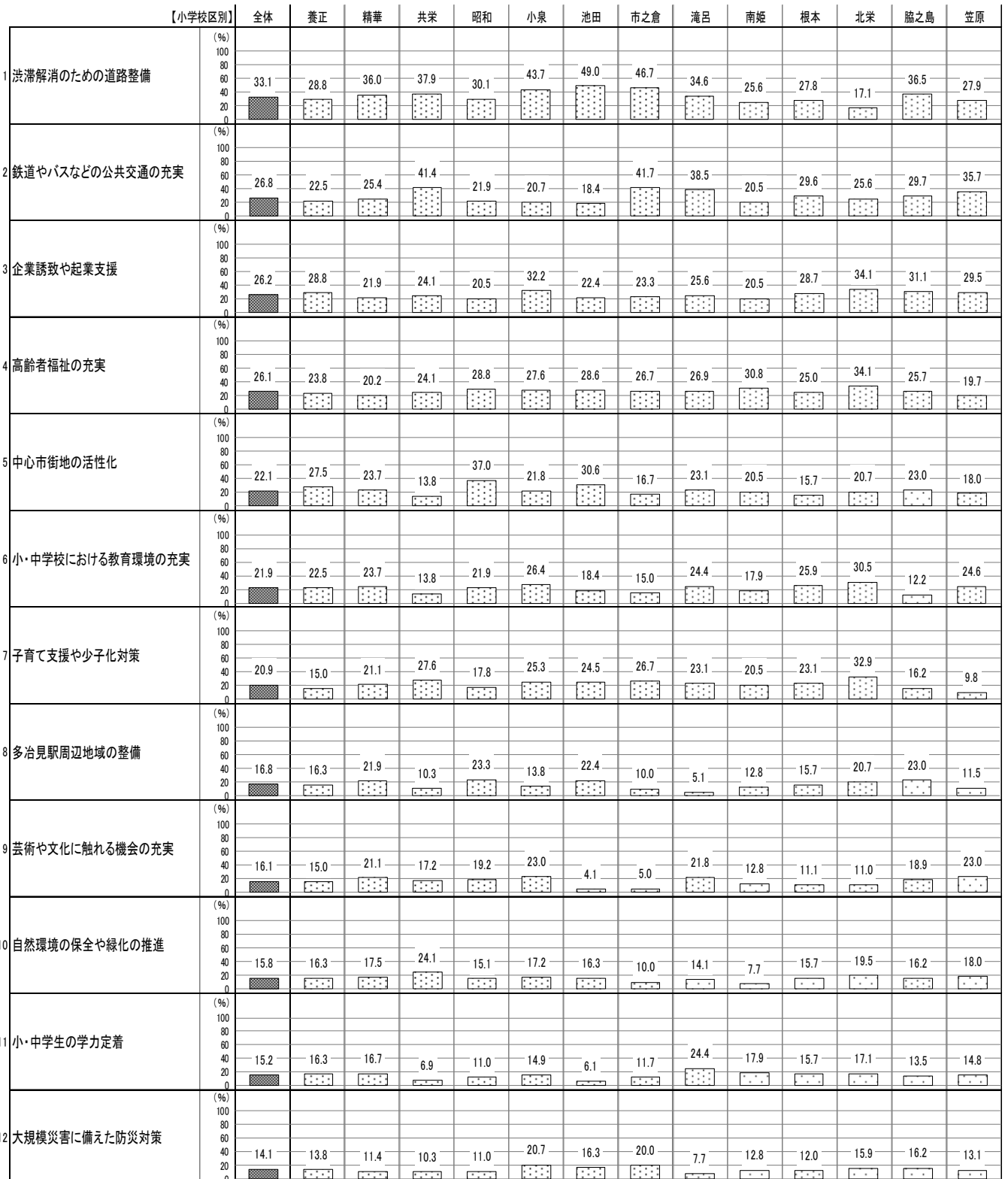
「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を年代別にみると、「16～19 歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(35.3%)、「20～29 歳」「50～59 歳」では「渋滞解消のための道路整備」(39.7%、37.4%)、「30～39 歳」「40～49 歳」では「子育て支援や少子化対策」(50.8%、36.3%)、「60～69 歳」「70 歳以上」では「高齢者福祉の充実」(36.5%、35.5%) がそれぞれ最も高くなっている。

図 3－2－3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を小学校区別にみると、「養正」「精華」「小泉」「池田」「市之倉」「脇之島」では「渋滞解消のための道路整備」(28.8%、36.0%、43.7%、49.0%、46.7%、36.5%)、「共栄」「滝呂」「根本」「笠原」では「鉄道やバスなど公共交通の充実」(41.4%、38.5%、29.6%、35.7%)、「南姫」「北栄」では「高齢者福祉の充実」(30.8%、34.1%)、「昭和」では「中心市街地の活性化」(37.0%) がそれぞれ最も高くなっている。

図 3-2-4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



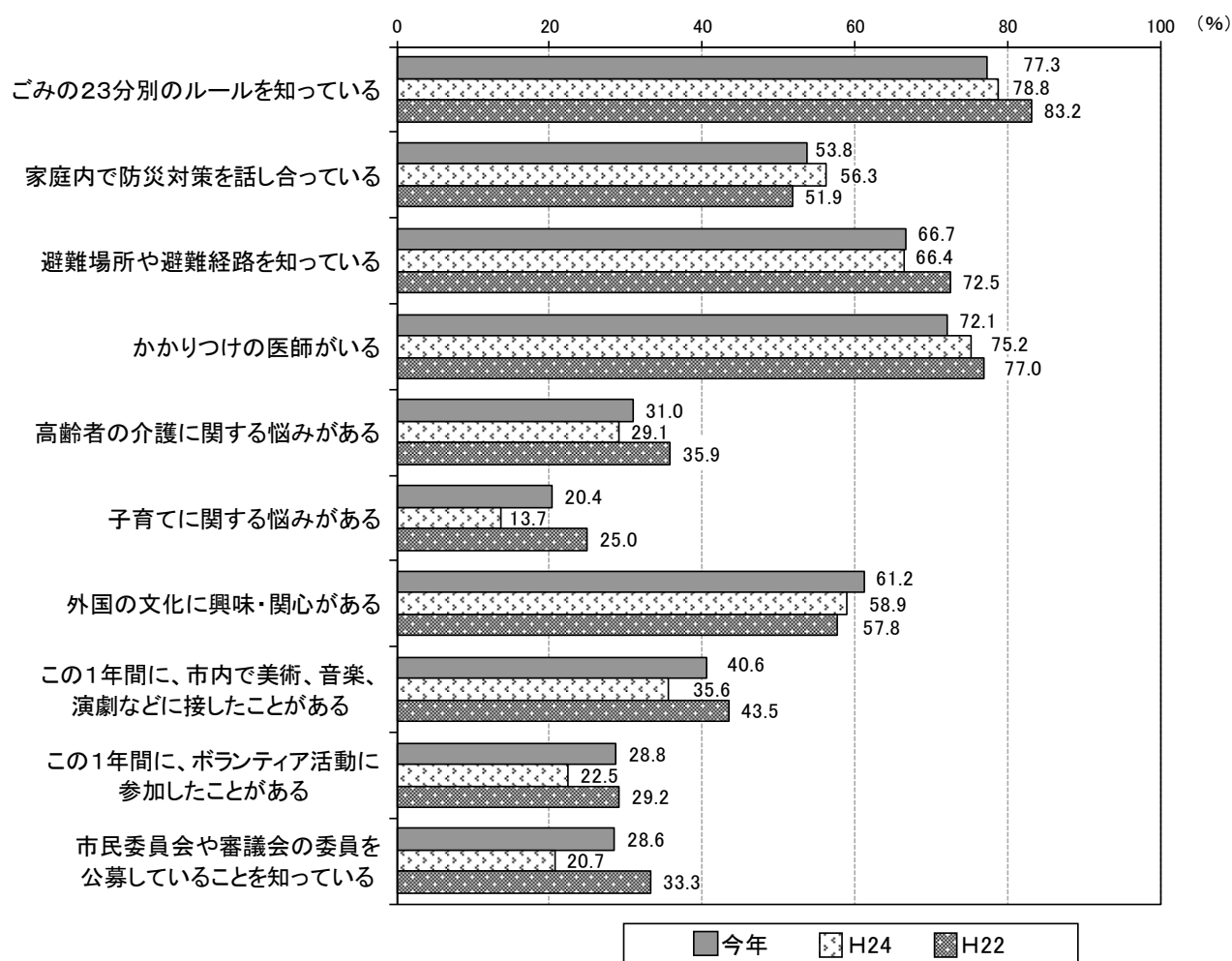
第4章 生活実態及び市民意識

4 生活実態及び市民意識

「生活実態及び市民意識」については、「ごみの23分別のルールを知っている」(77.3%)が最も高く、次いで「かかりつけの医師がいる」(72.1%)、「避難場所や避難経路を知っている」(66.7%)となっている。

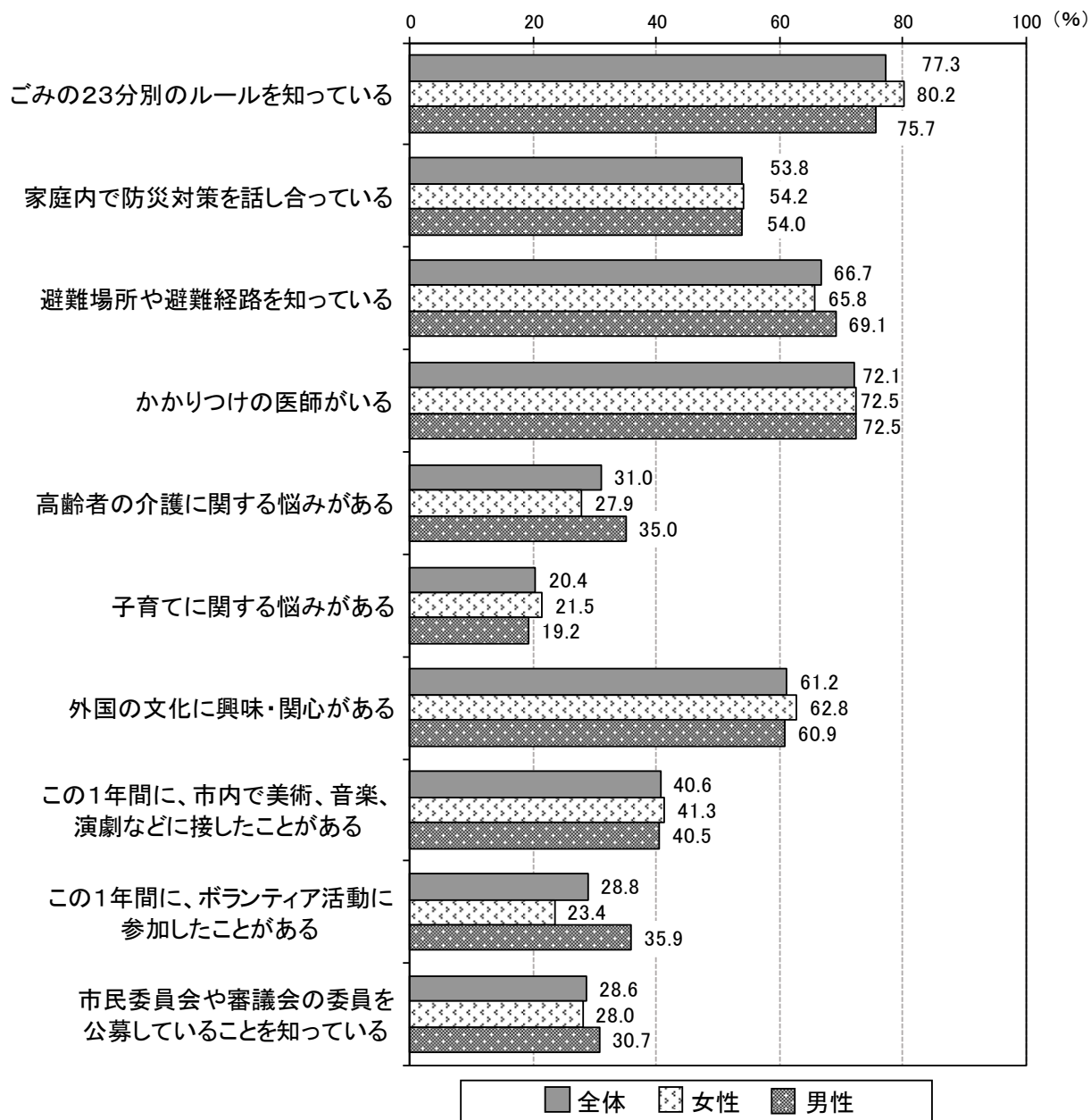
過去調査と比較すると、前回(H24)より増加している項目は7項目あり、中でも「子育てに関する悩みがある」(6.7%)、「市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている」(7.9%)は高くなっている。

図4-1 「生活実態及び市民意識」(過去調査比較)



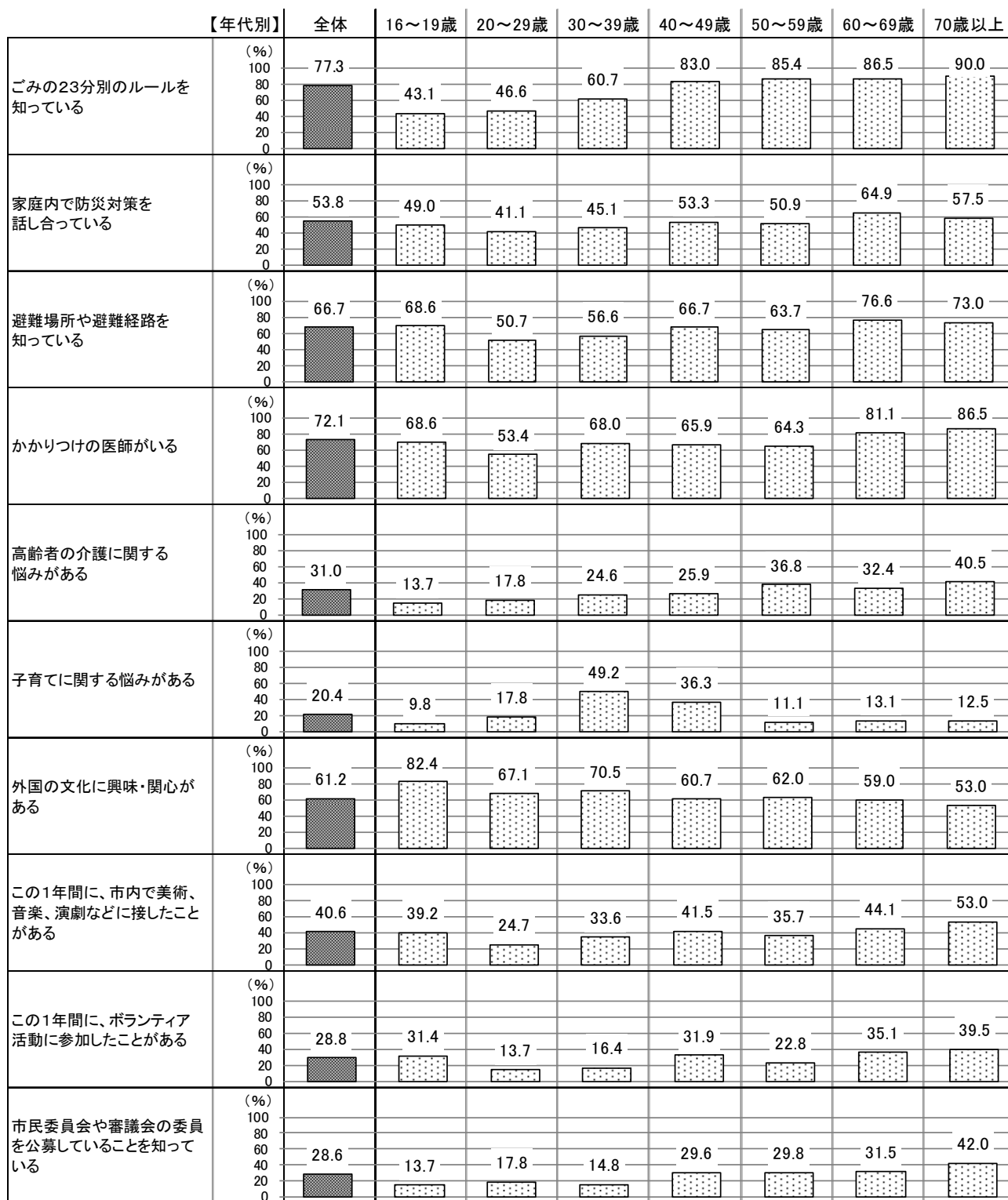
「生活実態及び市民意識」について男女別にみると、「ごみの23分別のルールを知っている」では女性が80.2%、男性が75.7%とともに最も高くなっている。中でも「ここ1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」では女性よりも男性の方が12.5%、「高齢者の介護に関する悩みがある」では7.1%と高くなっている。

図4-2 男女別「生活実態及び市民意識」



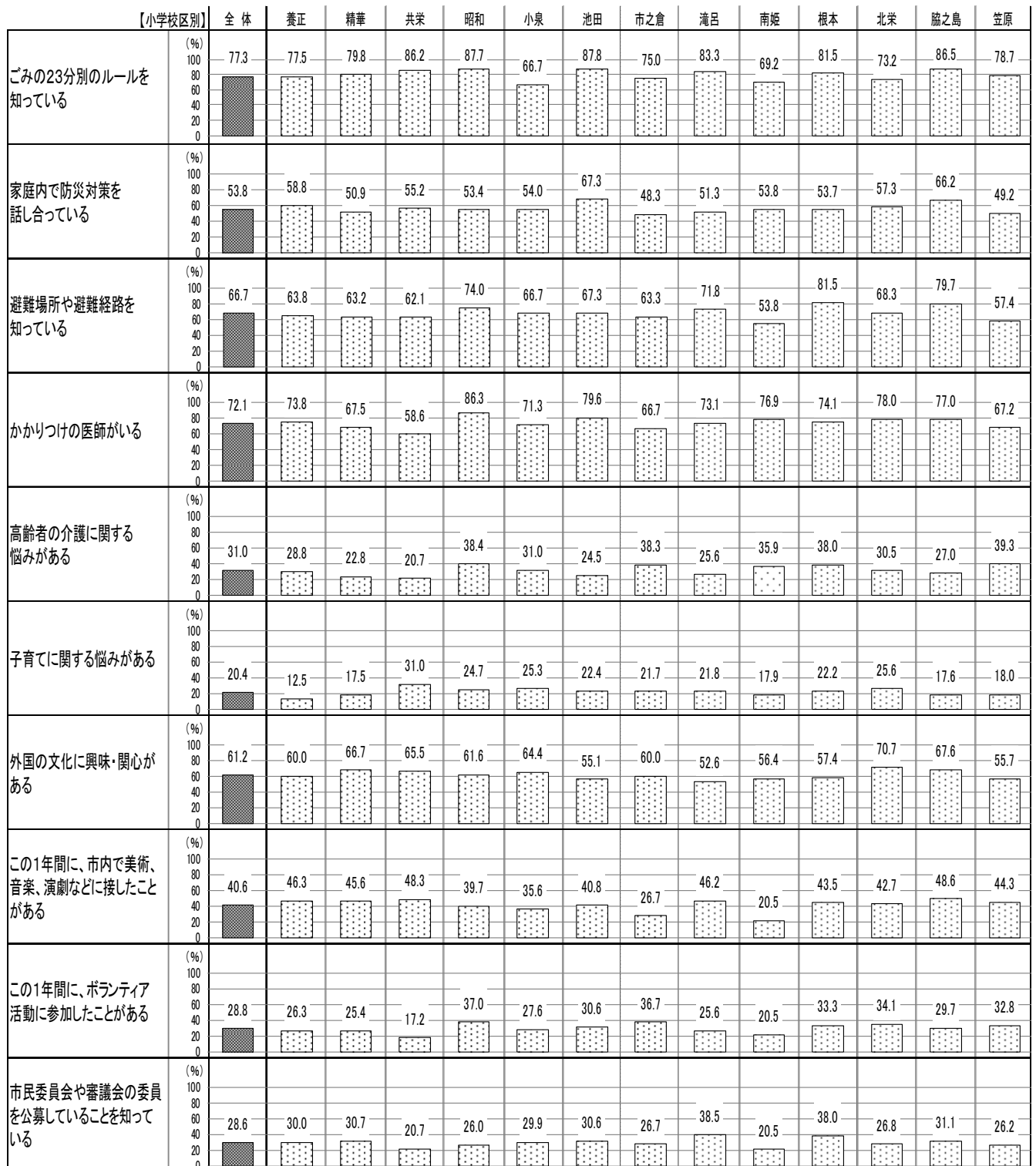
「生活実態及び市民意識」について年代別にみると、「16～19 歳」「20～29 歳」「30～39 歳」では「外国の文化に興味・関心がある」（82.4%、67.1%、70.5%）、「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」では「ごみの 23 分別のルールを知っている」（83.0%、85.4%、86.5%、90.0%）、がそれぞれ最も高くなっている。

図 4－3 年代別「生活実態及び市民意識」



「生活実態及び市民意識」について小学校区別にみると、「養正」「精華」「共栄」「昭和」「池田」「市之倉」「滝呂」「根本」「脇之島」「笠原」では「ごみの23分別のルールを知っている」(77.5%、79.8%、86.2%、87.7%、87.8%、75.0%、83.3%、81.5%、86.5%、78.7%)、「根本」では「避難場所や避難経路を知っている」(81.5%)、「小泉」「南姫」「北栄」では「かかりつけの医師がいる」(71.3%、76.9%、78.0%) がそれぞれ最も高くなっている。

図4-4 小学校区別「生活実態及び市民意識」



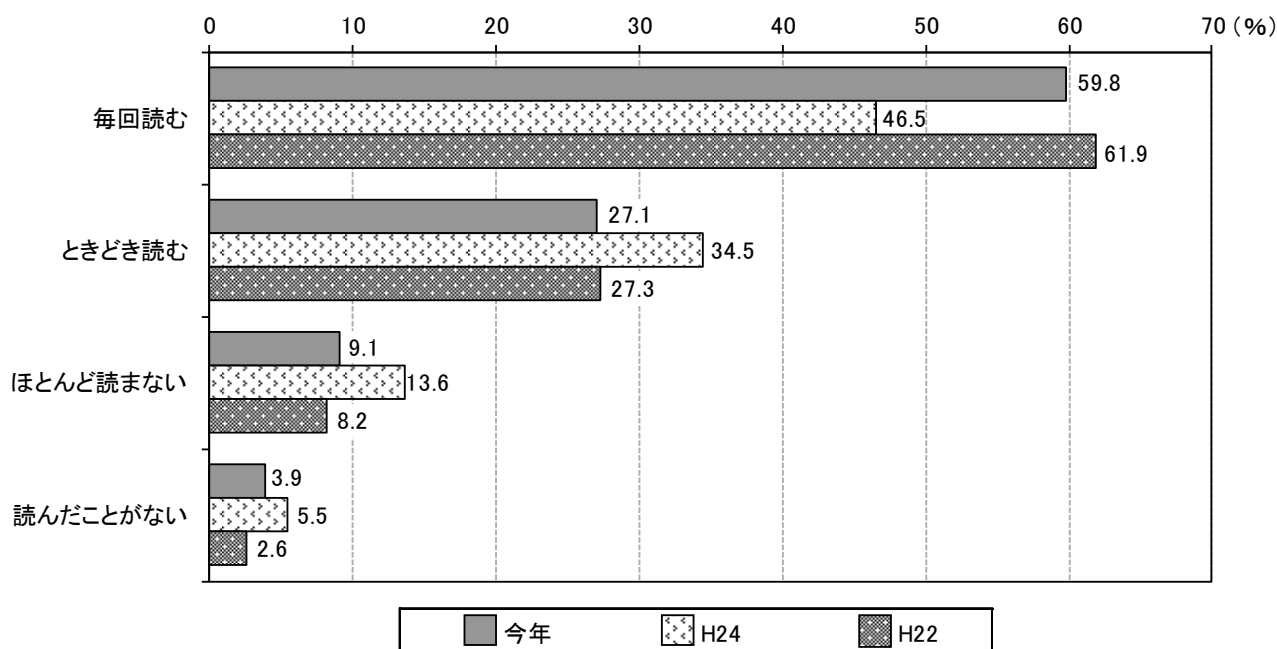
第5章 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」については、「毎回読む」（59.8%）が最も高く、次いで「ときどき読む」（27.1%）、「ほとんど読まない」（9.1%）、「読んだことがない」（3.9%）となっている。

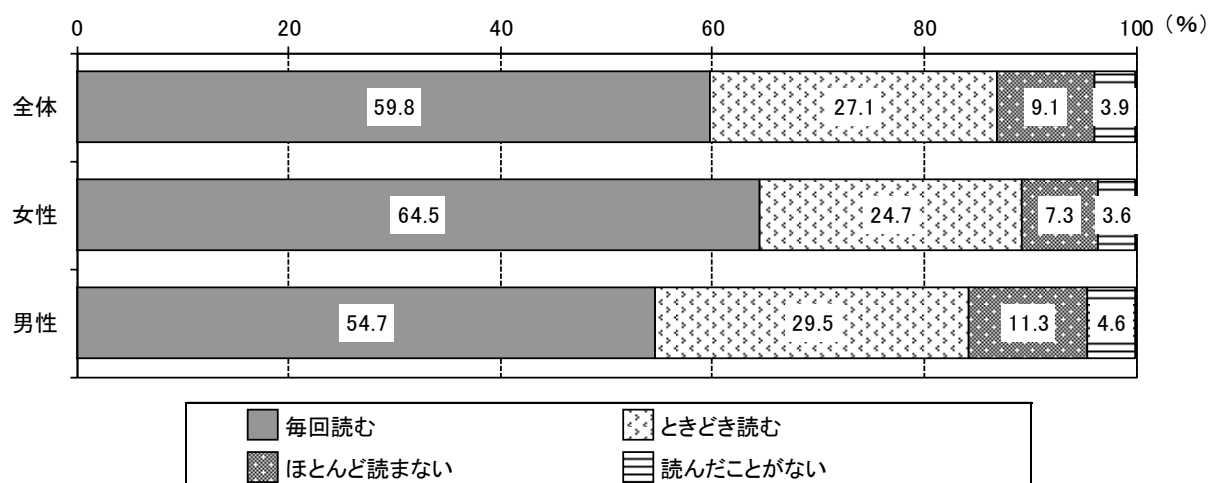
過去調査と比較すると、「毎回読む」と回答した割合は前回（H24）より13.3%増加し、「ときどき読む」では前回（H24）より7.4%減少している。「ほとんど読まない」では前回（H24）より4.5%、「読んだことがない」では前回（H24）より1.6%それぞれ減少している。

図5-1-1 「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」（過去調査比較）



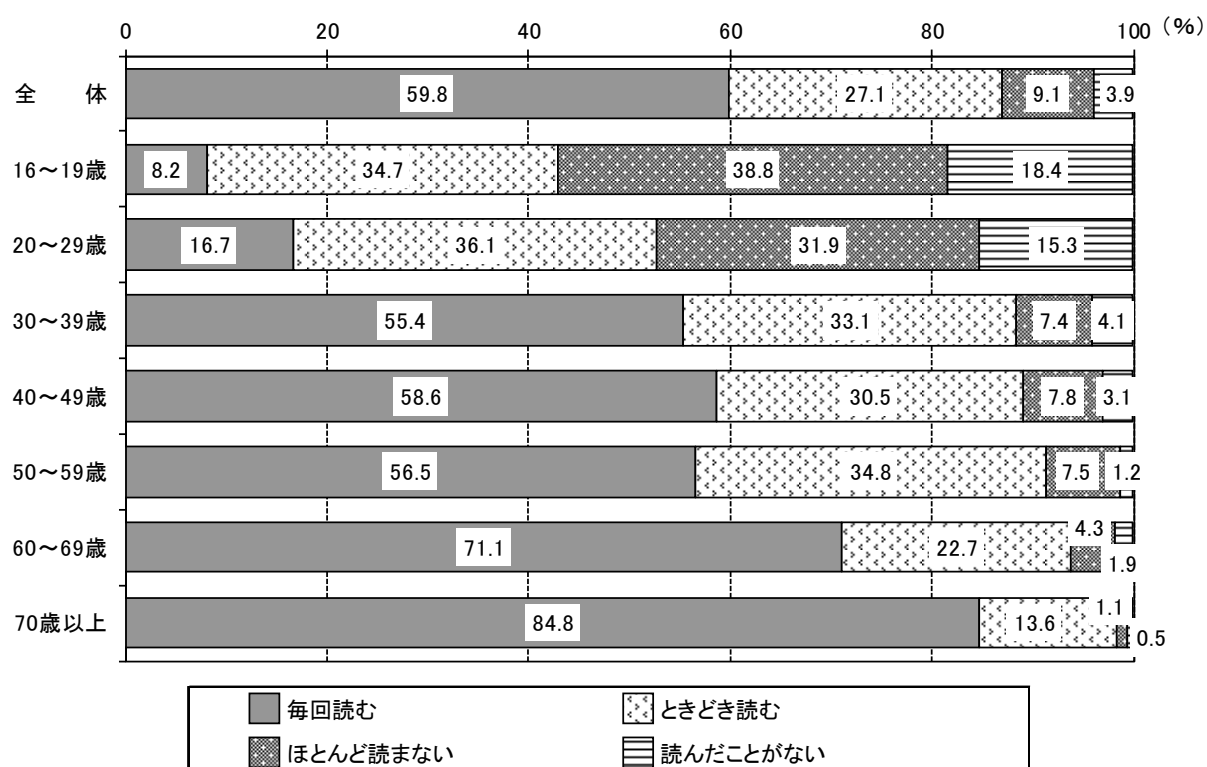
男女別でみると、「毎回読む」では女性が64.5%と高くなっているが、男性は54.7%と低くなっている。「ときどき読む」では女性が24.7%、男性が29.5%となっている。「ほとんど読まない」では女性が7.3%、男性が11.3%、「読んだことがない」では女性が3.6%、男性が4.6%となっている。

図5-1-2 男女別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか」



「広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】を読んでいますか」について年代別にみると、「毎回読む」では「70歳以上」(84.8%)が最も高く、「ときどき読む」では「20～29歳」(36.1%)、「ほとんど読まない」「読んだことがない」では「16～19歳」(38.8%、18.4%)がそれぞれ高くなっている。おおむね年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合が高くなっている。

図5-1-3 年代別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか」

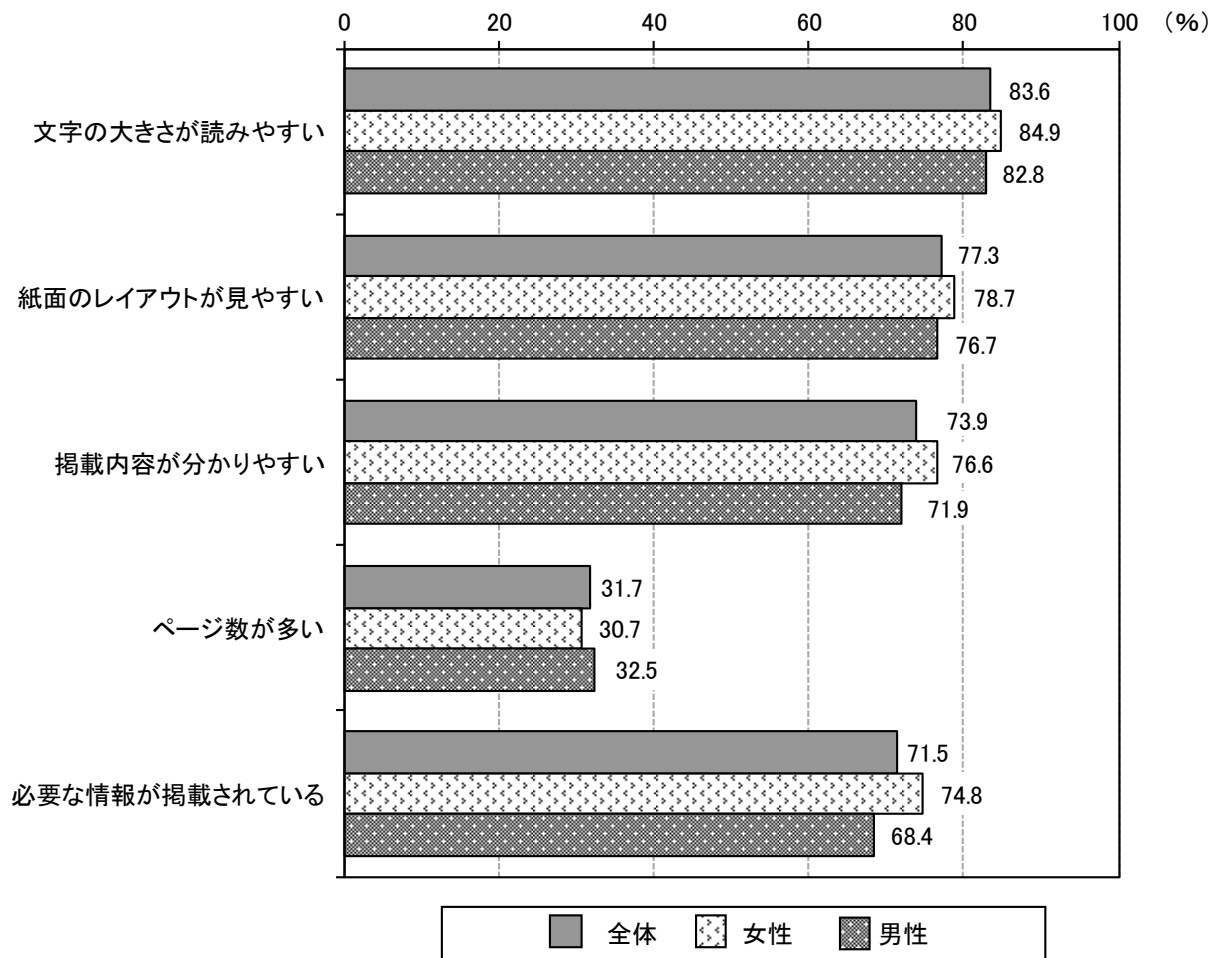


5-2 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」については、「文字の大きさが読みやすい」（83.6%）が最も高く、次いで「紙面のレイアウトが見やすい」（77.3%）、「掲載内容が分かりやすい」（73.9%）となっている。

男女別にみると、「必要な情報が掲載されている」では男女の差が6.4%、「掲載内容が分かりやすい」では4.7%と大きくなっている。

図5-2-1 男女別「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」

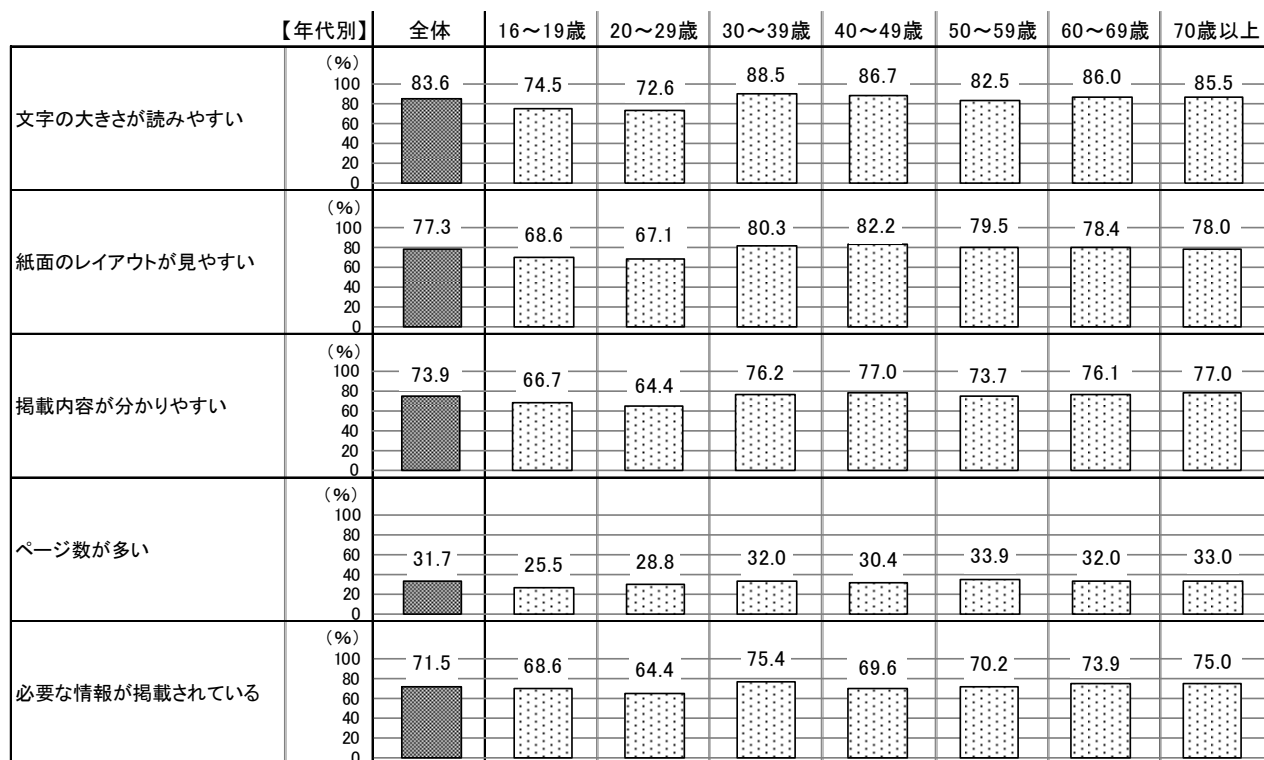


「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」について年代別にみると、全ての年代で「文字の大きさが読みやすい」が最も高く、中でも「30～39 歳以上」(88.5%) が最も高くなっている。

次いで「紙面のレイアウトが見やすい」では「40～49 歳以上」(82.2%) が最も高くなっている。

その他の項目について、多少の差はあるが、それほど大きな差は見られない。

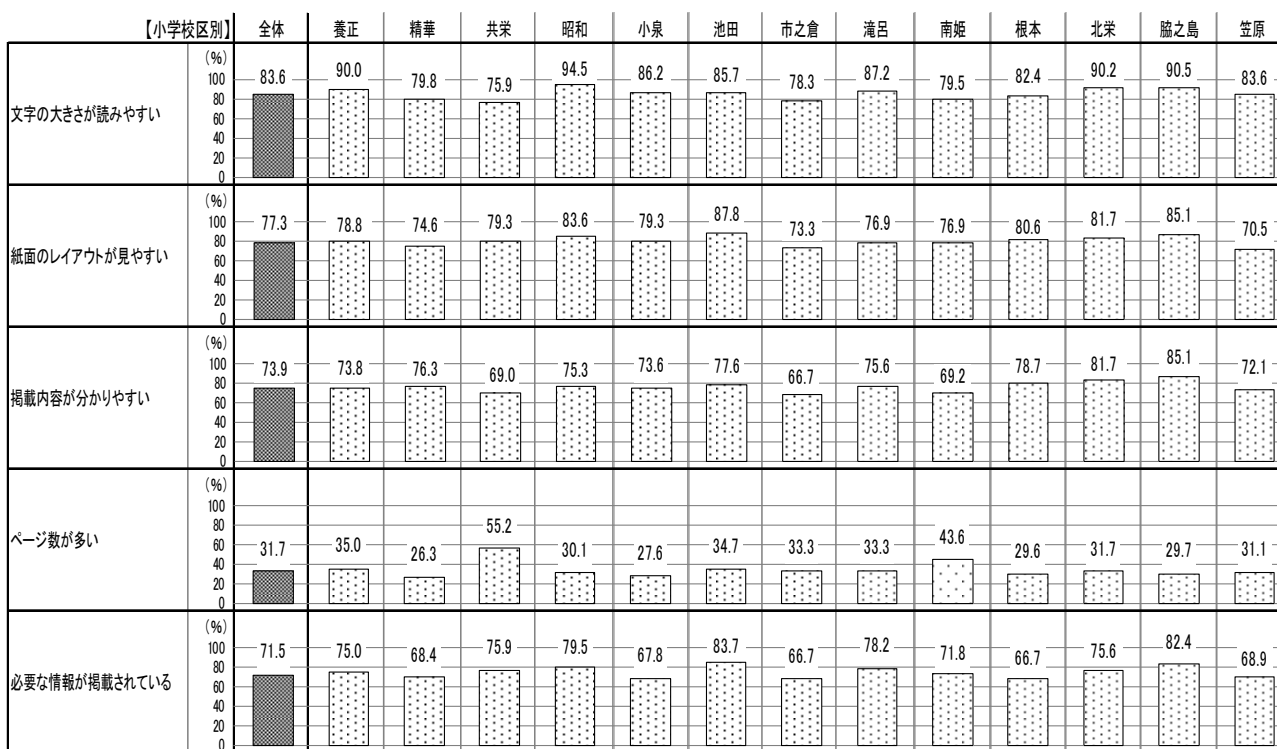
図 5－2－2 年代別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」



「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」について小学校区別にみると、「昭和」では「字の大きさが読みやすい」(94.5%)が最も高くなっている。

全ての小学校区について大きな差は見られないが、「精華」「小泉」「市之倉」「根本」「笠原」では「必要な情報が掲載されている」(68.4%、67.8%、66.7%、66.7%、68.9%)が70%に満たず、他の小学校区に比べると低くなっている。

図5-2-3 小学校区別「広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容」

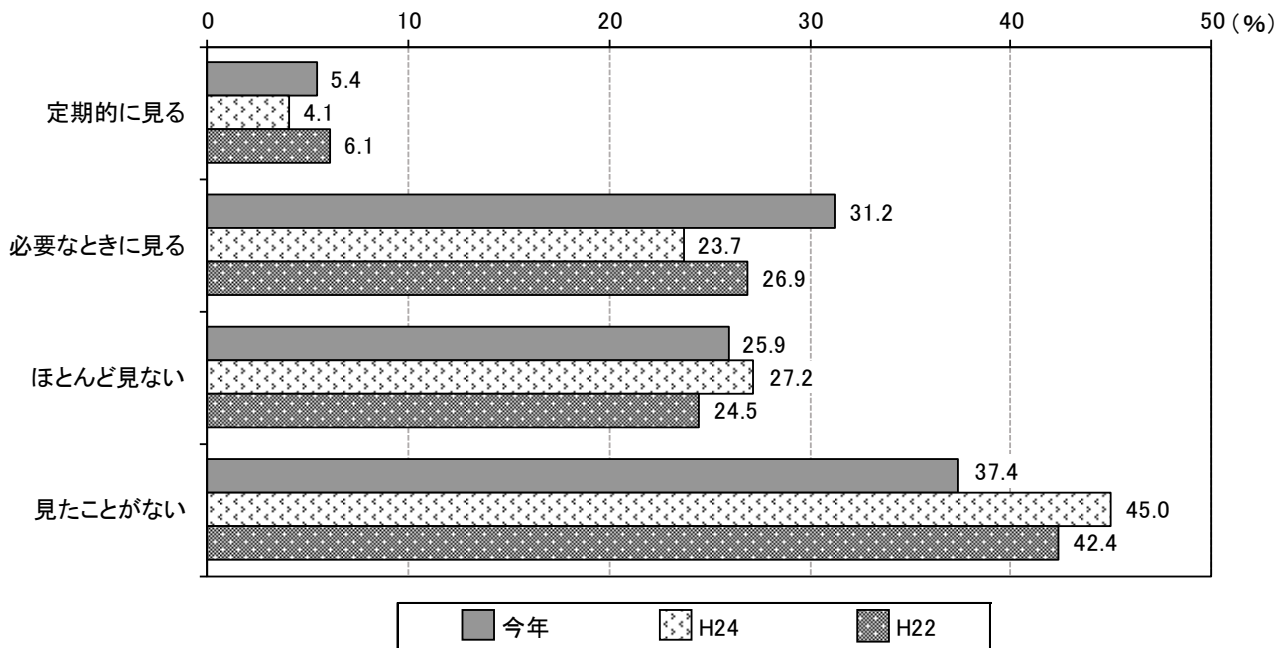


5-3 市のホームページ

「多治見市のホームページを見ますか」については、「見たことがない」(37.4%)が最も高く、次いで「必要なときに見る」(31.2%)、「ほとんど見ない」(25.9%)、「定期的に見る」(5.4%)となっている。

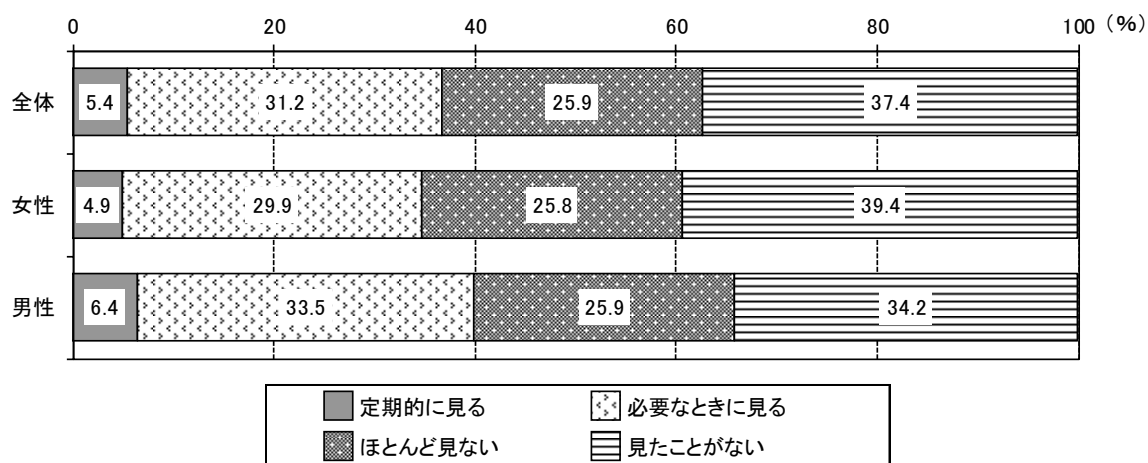
過去調査と比較すると、「定期的に見る」と回答した割合は前回(H24)より1.3%、「必要なときに見る」では前回(H24)より7.5%それぞれ増加している。「ほとんど見ない」では前回(H24)より1.3%、「読んだことがない」では前回(H24)より7.6%それぞれ減少している。

図5-3-1 「多治見市のホームページを見ますか」(過去調査比較)



男女別にみると、「見たことがない」では女性が 39.4%、男性が 34.2%と 5.2%の差がある。「必要なときに見る」では女性が 29.9%、男性が 33.5%、「定期的に見る」では女性が 4.9%、男性が 6.4%と低くなっている。

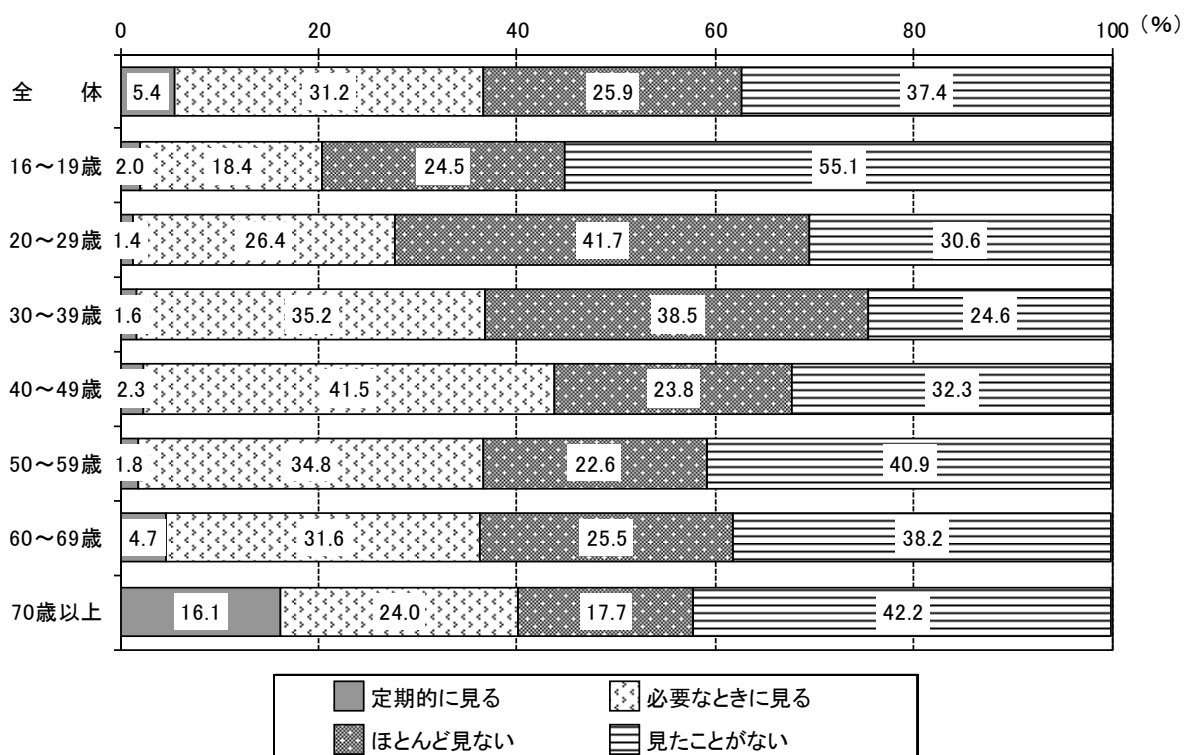
図 5－3－2 男女別「多治見市のホームページを見ますか」



「多治見市のホームページを見ますか」について年代別にみると、「見たことがない」「ほとんど見ない」が全ての年代において高く、中でも「16～19 歳」で「見たことがない」(55.1%)が最も高くなっている。

「定期的に見る」では「70 歳以上」(16.1%)、「必要なときに見る」では「40～49 歳」(41.5%)がそれぞれ最も高くなっている。

図 5－3－3 年代別「多治見市のホームページを見ますか」

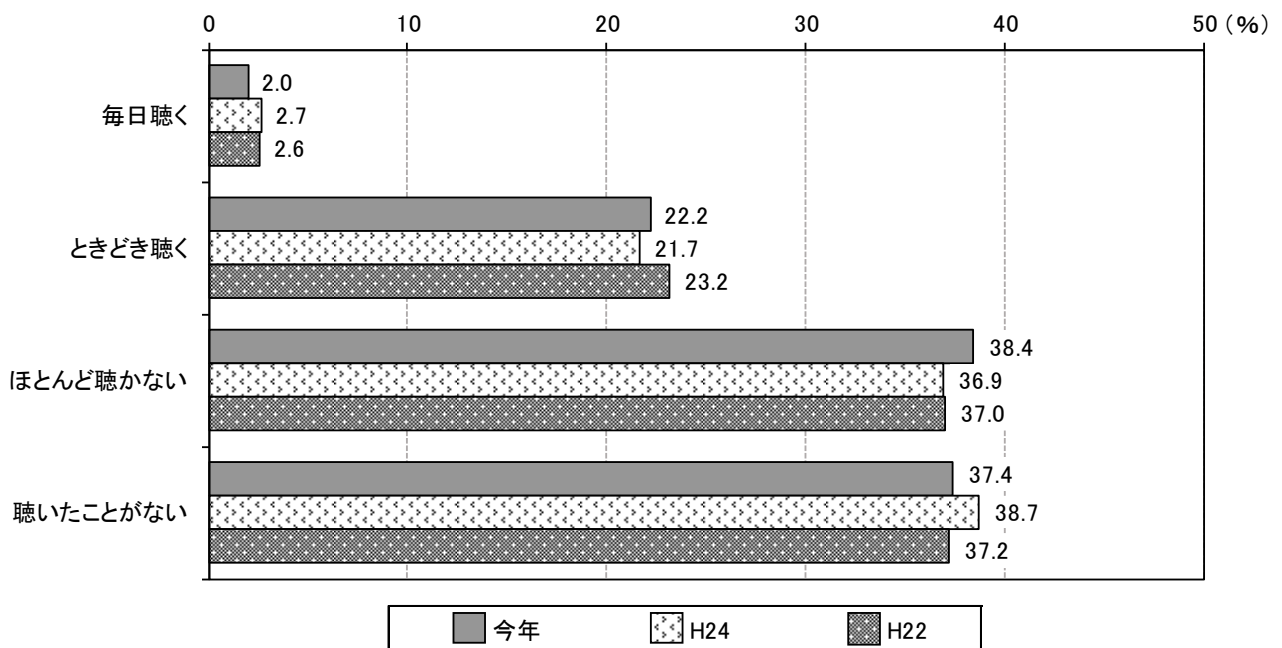


5-4 FMたじみ（エフエムピピ）

「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」については、「ほとんど聴かない」（38.4%）が最も高く、次いで「聴いたことがない」（37.4%）、「ときどき聴く」（22.2%）、「毎日聴く」（2.0%）となっている。

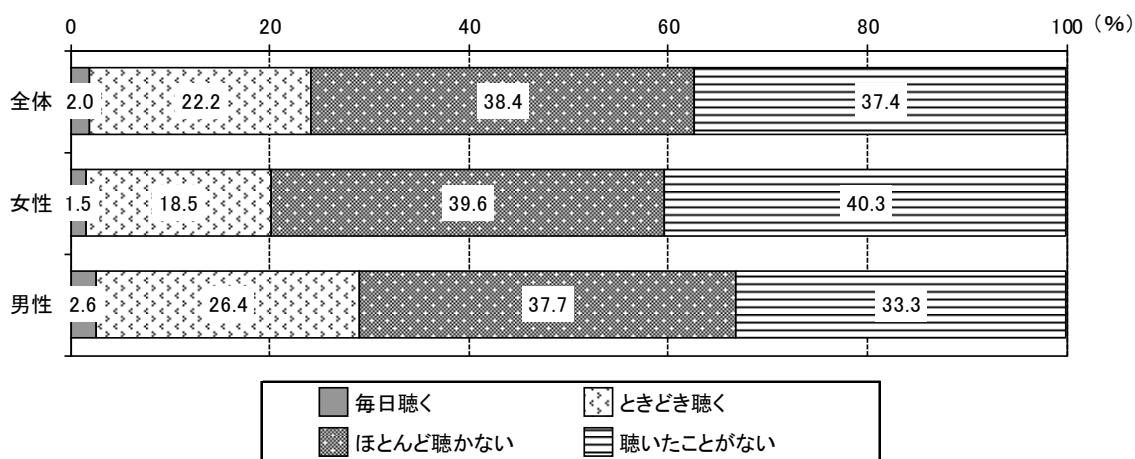
過去調査と比較すると、「毎日聴く」と回答した割合は前回（H24）より0.7%減少し、「ときどき聴く」では前回（H24）より0.5%増加している。「ほとんど聴かない」では前回（H24）より1.5%増加し、「聴いたことがない」では前回（H24）より1.3%減少している。

図5-4-1 「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」（過去調査比較）



男女別にみると、「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合で、女性が79.9%、男性が71.0%、「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合では、女性が20.0%、男性が29.0%となっている。

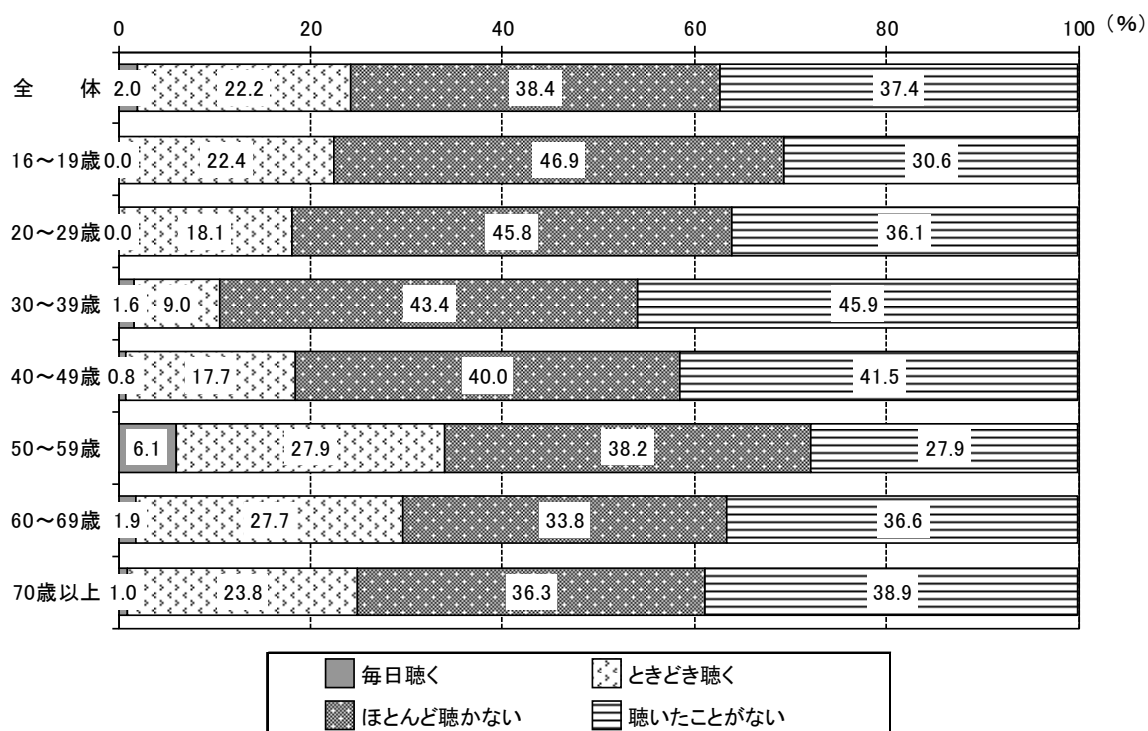
図5-4-2 男女別「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」について年代別にみると、全ての年代において「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合が高く、中でも「30～39歳」（89.3%）が最も高くなっている。

「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合は、「50～59歳」（34.0%）が最も高く、「毎日聴く」は6.1%となっている。

図5-4-3 年代別「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



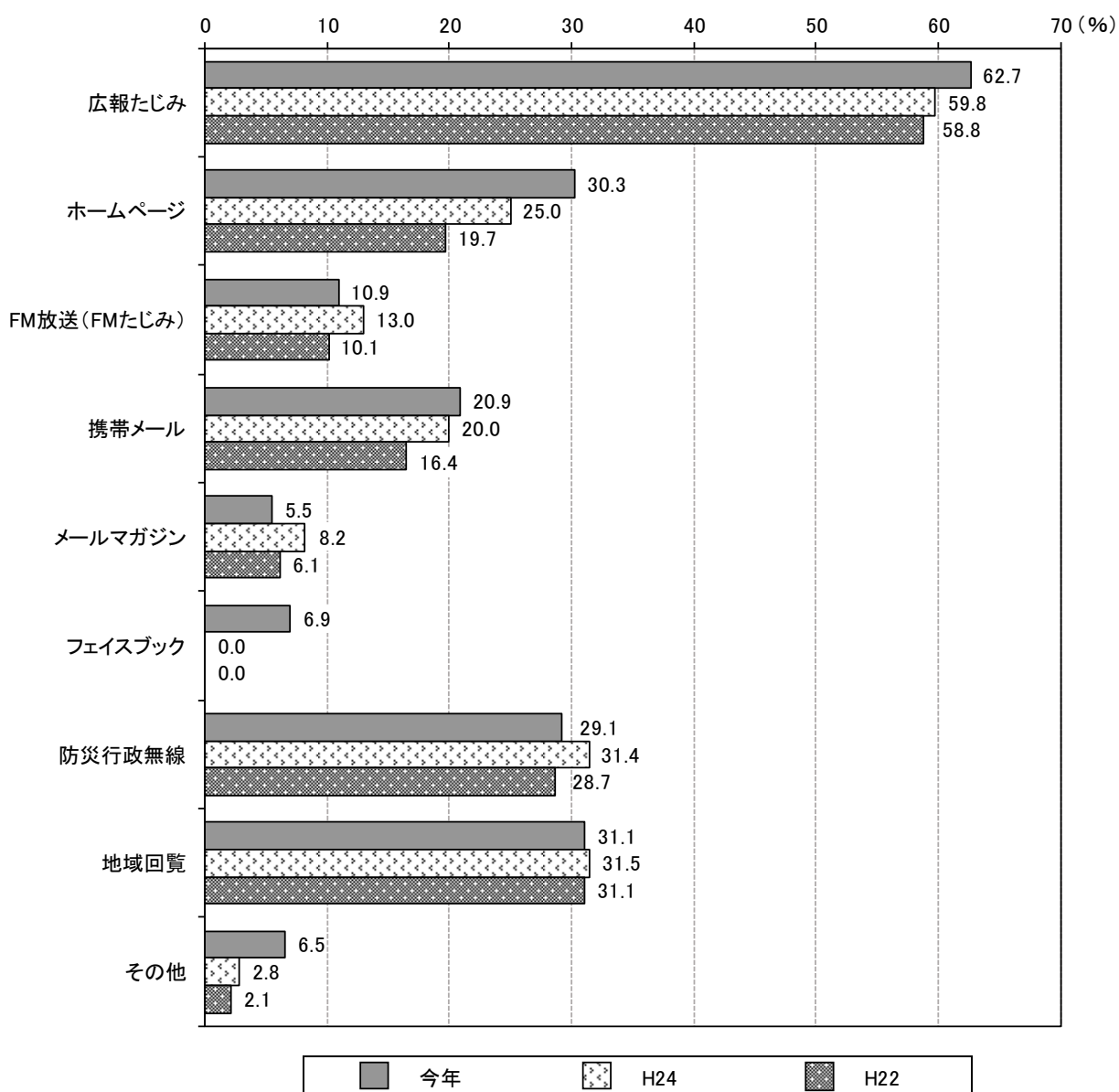
5-5 市の広報手段

「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」については、「広報たじみ」(62.7%)が最も高く、次いで「地域回覧」(31.1%)、「ホームページ」(30.3%)となっている。

その他として、「SNS(ツイッター、LINE)」、「おりべチャンネル(ケーブルテレビ)」、「掲示板の設置」、「防災行政無線が聞き取りづらい」などがあった。

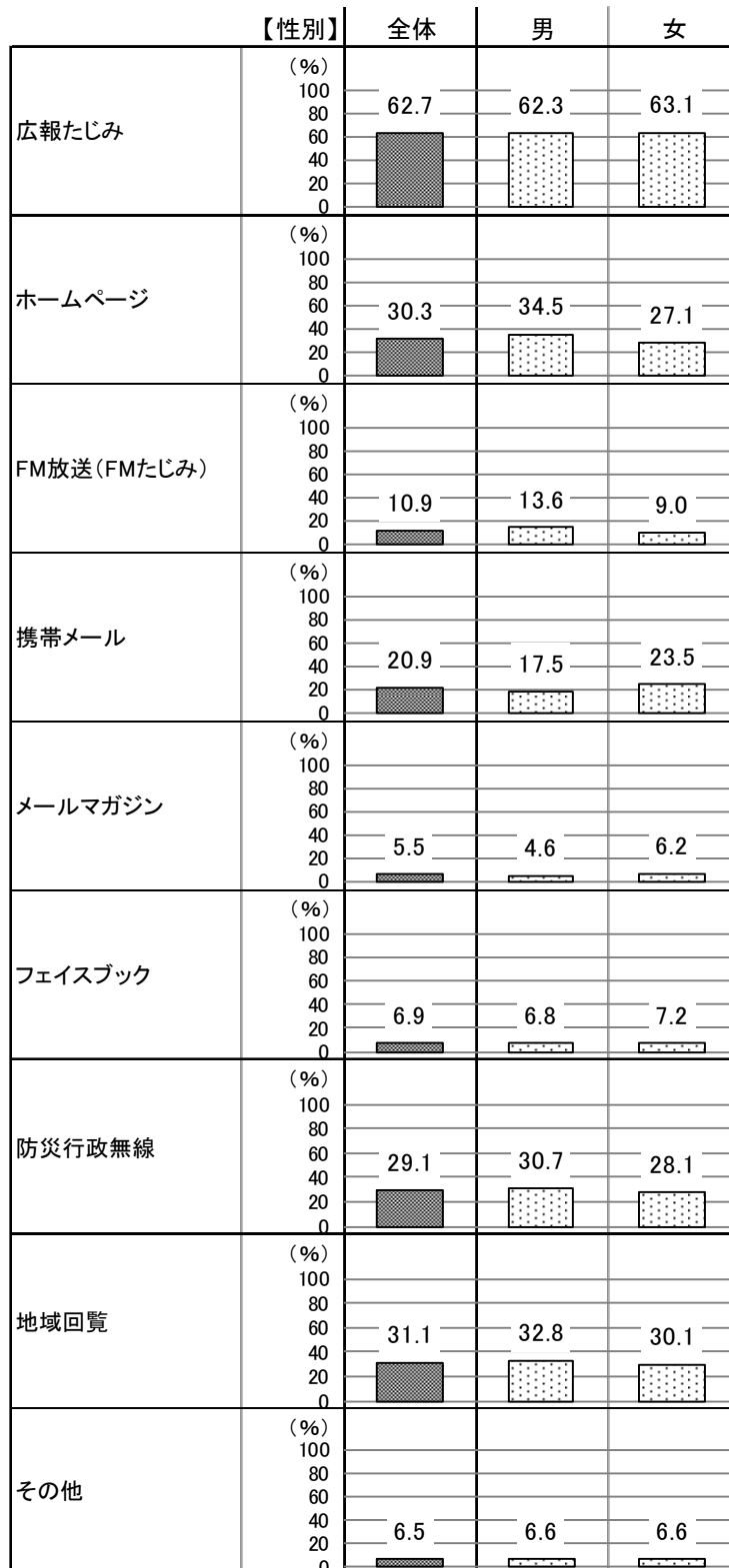
過去調査と比較すると、「ホームページ」と回答した割合は前回(H24)より5.3%、「広報たじみ」では前回(H24)より2.9%それぞれ増加している。「メールマガジン」では前回(H24)より2.7%、「防災行政無線」では前回(H24)より2.3%、「FM放送(FMたじみ)」では前回(H24)より2.1%それぞれ減少している。

図5-5-1 「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」(過去調査比較)



男女別にみると、「広報たじみ」では女性が63.1%、男性が62.3%と最も高くなっており、次いで「地域回覧」では女性が30.1%、男性が32.8%、「ホームページ」では女性が27.1%、男性が34.5%となっている。

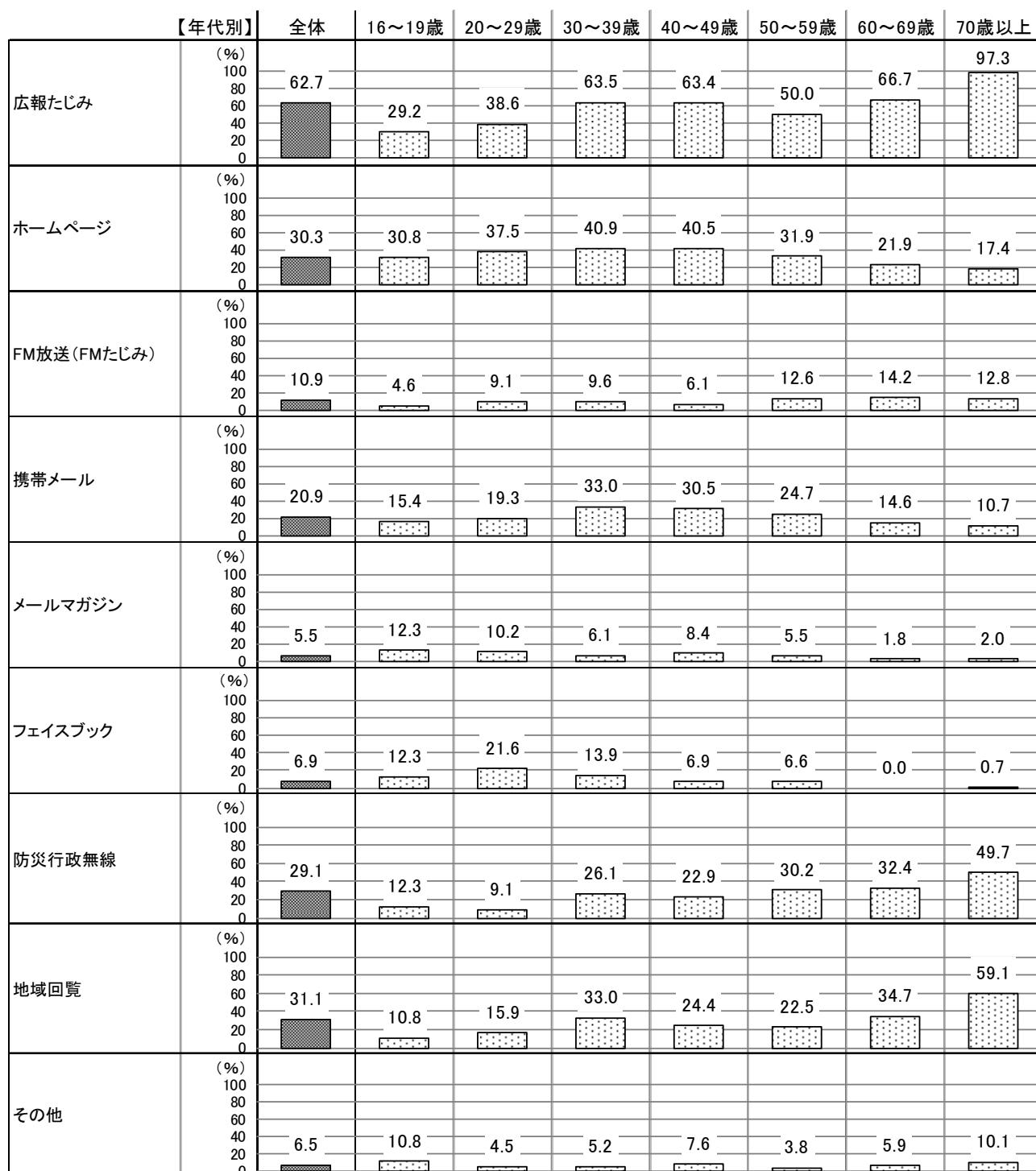
図5-5-2 男女別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」について年代別にみると、「16～19歳」以外の年代では「広報たじみ」が最も高く、中でも「70歳以上」（97.3%）が最も高くなっている。「16～19歳」では「ホームページ」（30.8%）が最も高くなっている。

「70歳以上」では「防災行政無線」（49.7%）、「地域回覧」（59.1%）がそれぞれ高くなっている。

図5-5-3 年代別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



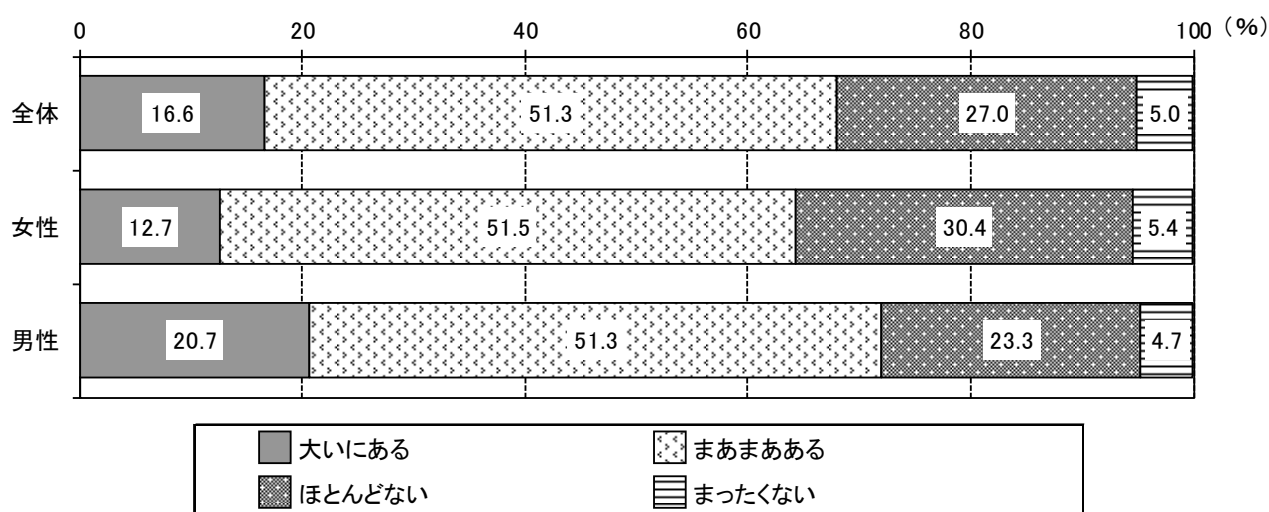
第6章 市政への参加について

6-1 市政（市の政治のこと）の関心

「市政（市の政治のこと）に関心がありますか」については、「まあまあある」（51.3％）が最も高く、次いで「ほとんどない」（27.0％）、「大いにある」（16.6％）、「まったくない」（5.0％）となっている。

男女別にみると、「大いにある」「まあまあある」を合わせた割合で、女性が64.2％、男性が72.0％となっている。「まったくない」「ほとんどない」を合わせた割合では、女性が35.8％、男性が28.0％となっている。

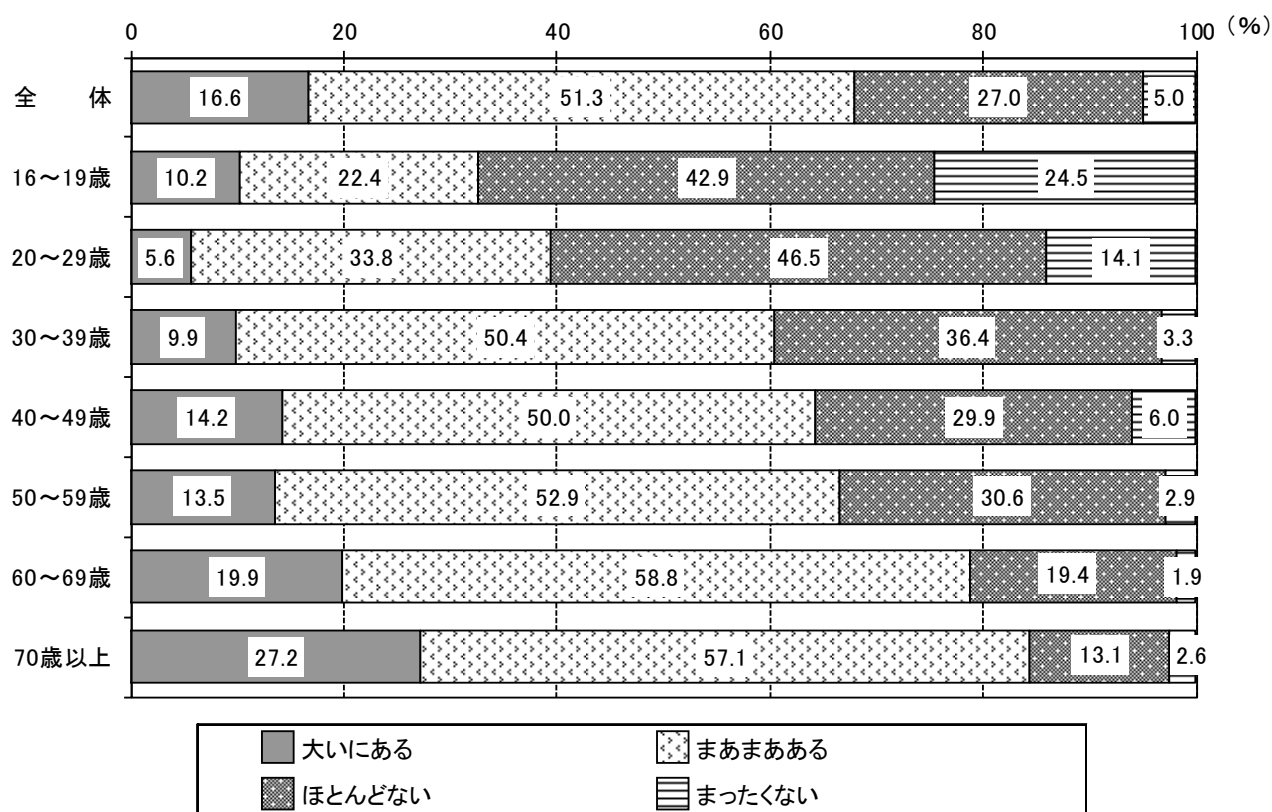
図6-1-1 男女別「市政（市の政治のこと）に関心がありますか」



「市政（市の政治のこと）に関心がありますか」について年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」では「まあある」（50.4%、50.0%、52.9%、58.8%、57.1%）、「16～19 歳」「20～29 歳」では「ほとんどない」（42.9%、46.5%）がそれぞれ最も高くなっている。

「大いにある」「まあまあある」を合わせた割合では「70 歳以上」（84.3%）と、「16～19 歳」（32.6%）で 51.7%の開きがあり、年代が上がるにつれて“関心がある”の割合が高くなっている。

図 6－1－2 年代別「市政（市の政治のこと）に関心がありますか」

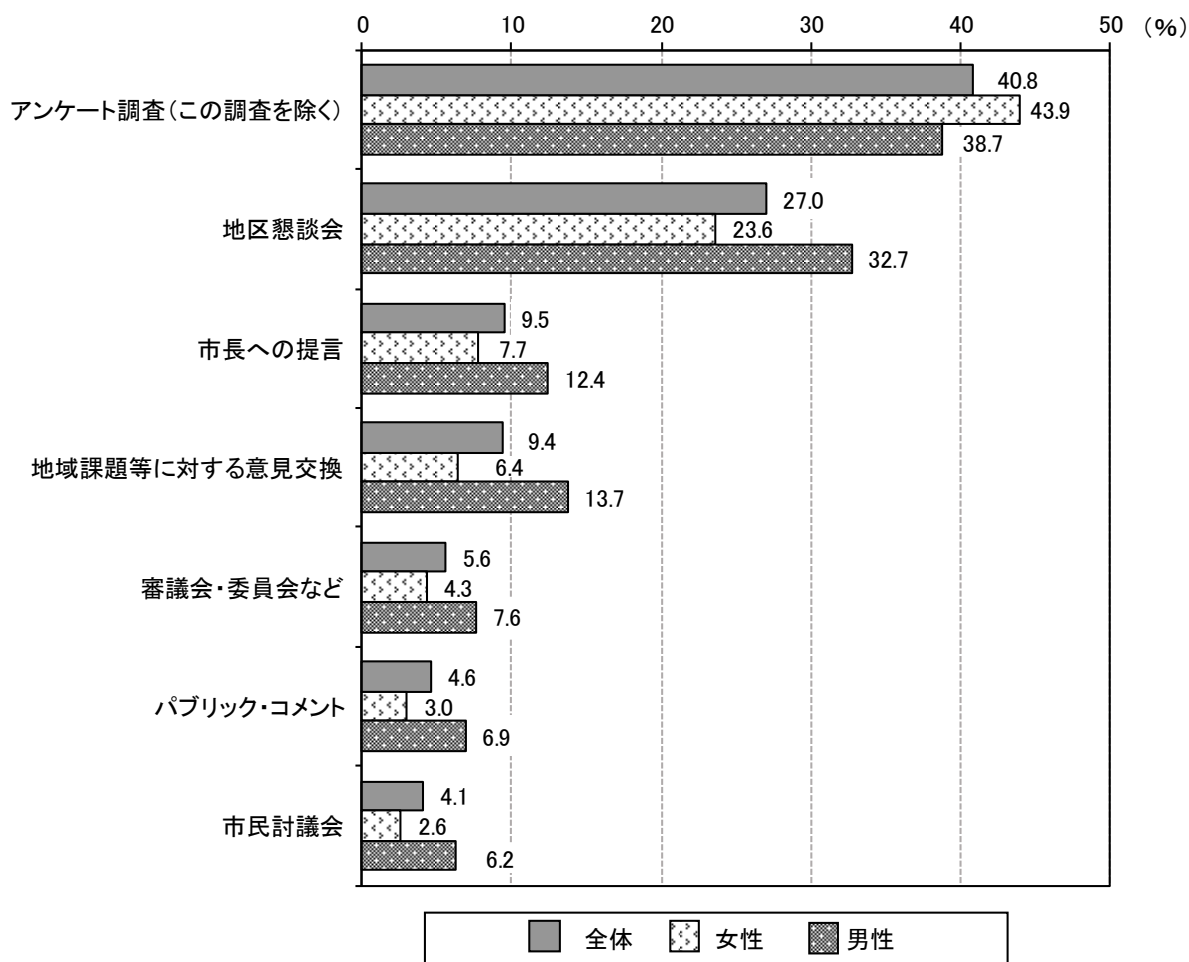


6-2 市政参加の内容

「市政参加の内容」については、「アンケート調査（この調査を除く）」（40.8%）が最も高く、次いで「地区懇談会」（27.0%）「市長への提言」（9.5%）となっている。

男女別にみると、「アンケート調査（この調査を除く）」の1項目以外全てにおいて、男性の方が女性よりも“市政参加”の割合が高くなっている。「地区懇談会」では男女の差が9.1%、「地域課題等に対する意見交換」では7.3%となっている。

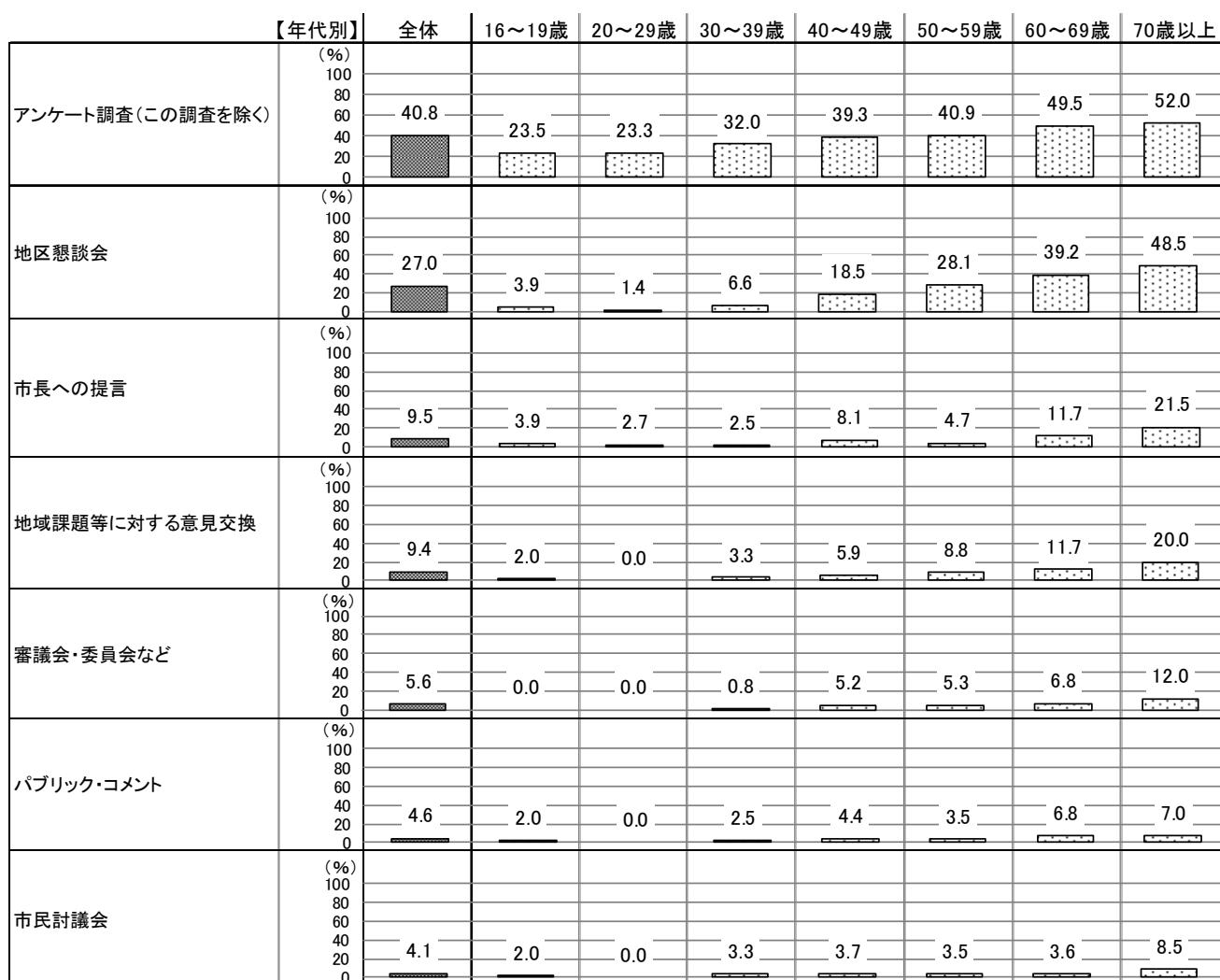
図6-2-1 男女別「市政参加の内容」



「市政参加の内容」について年代別にみると、「アンケート調査（この調査を除く）」が全ての年代において高く、おおむね年代が上がるにつれて高くなっている。

全ての項目において「70 歳以上」の割合が高く、年代が下がるのにつれて、“市政参加”の割合が低くなっている。

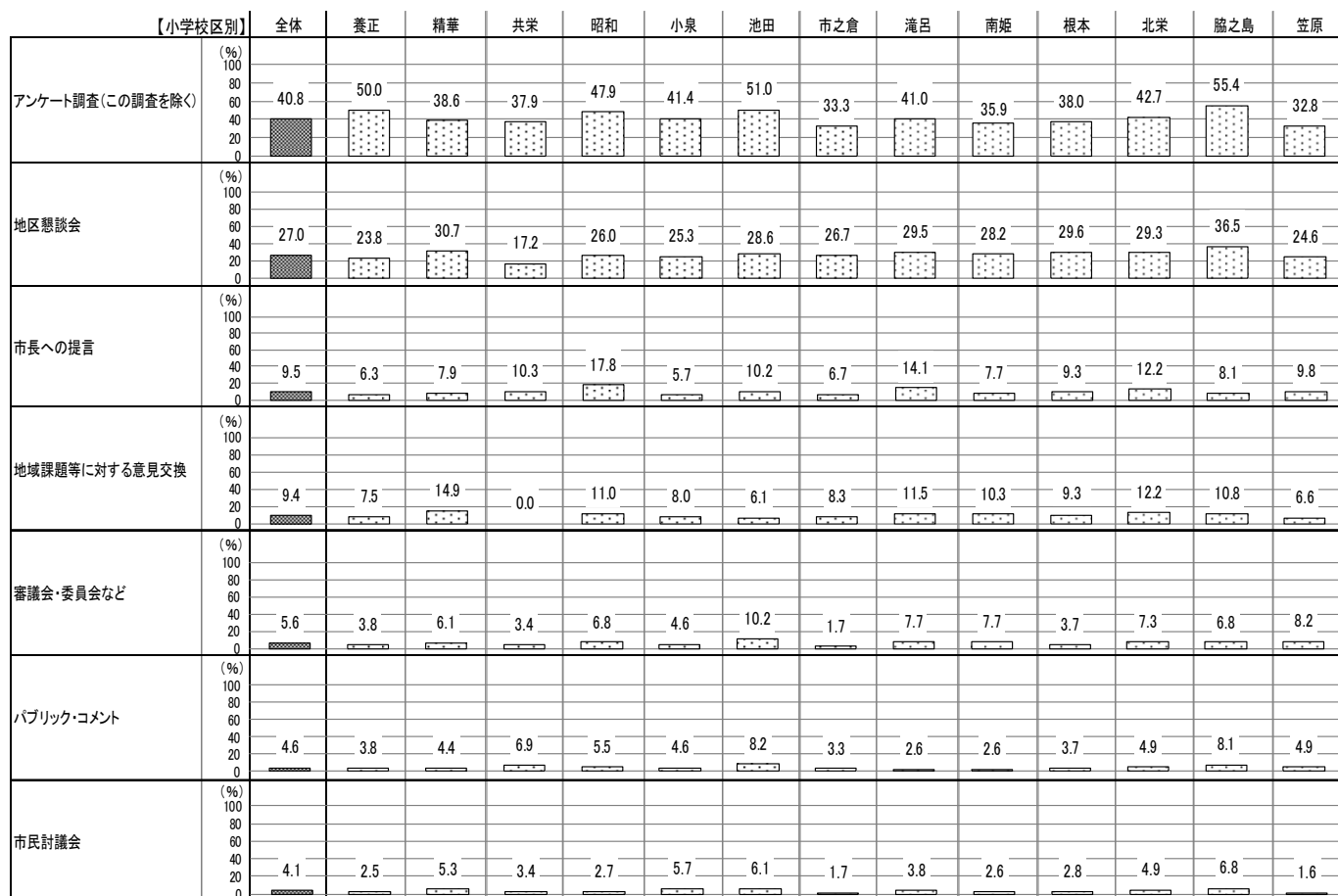
図 6－2－2 年代別「市政参加の内容」



「市政参加の内容」について小学校区別にみると、大きな差は見られないが、「共栄」では、「地区懇談会」（17.2%、）が他の小学校区に比べると低くなっている。

「市長への提言」では、「昭和」（17.8%）が最も高く、「地域課題等に対する意見交換会」では「精華」（14.9%）、「北栄」（12.2%）が高くなっている。

図 6－2－3 小学校区別「市政参加の内容」



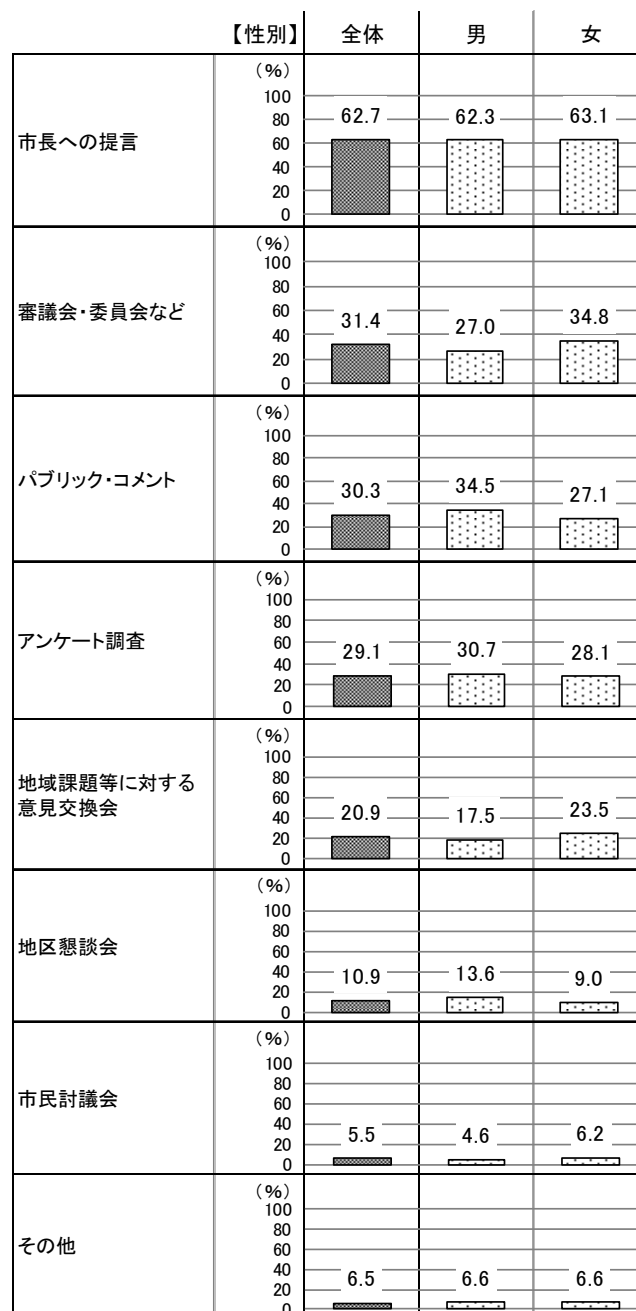
6-3 今後の市政参加手段

「これからの市政への参加手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」については、「市長への提言」(62.7%)が最も高く、次いで「審議会・委員会など」(31.4%)、「パブリック・コメント」(30.3%)となっている。

男女別にみると「市長への提言」では女性が63.1%、男性が62.3%と最も高くなっており、次いで「審議会・委員会など」では女性が34.8%、男性が27.0%、「パブリック・コメント」では女性が27.1%、男性が34.5%となっている。

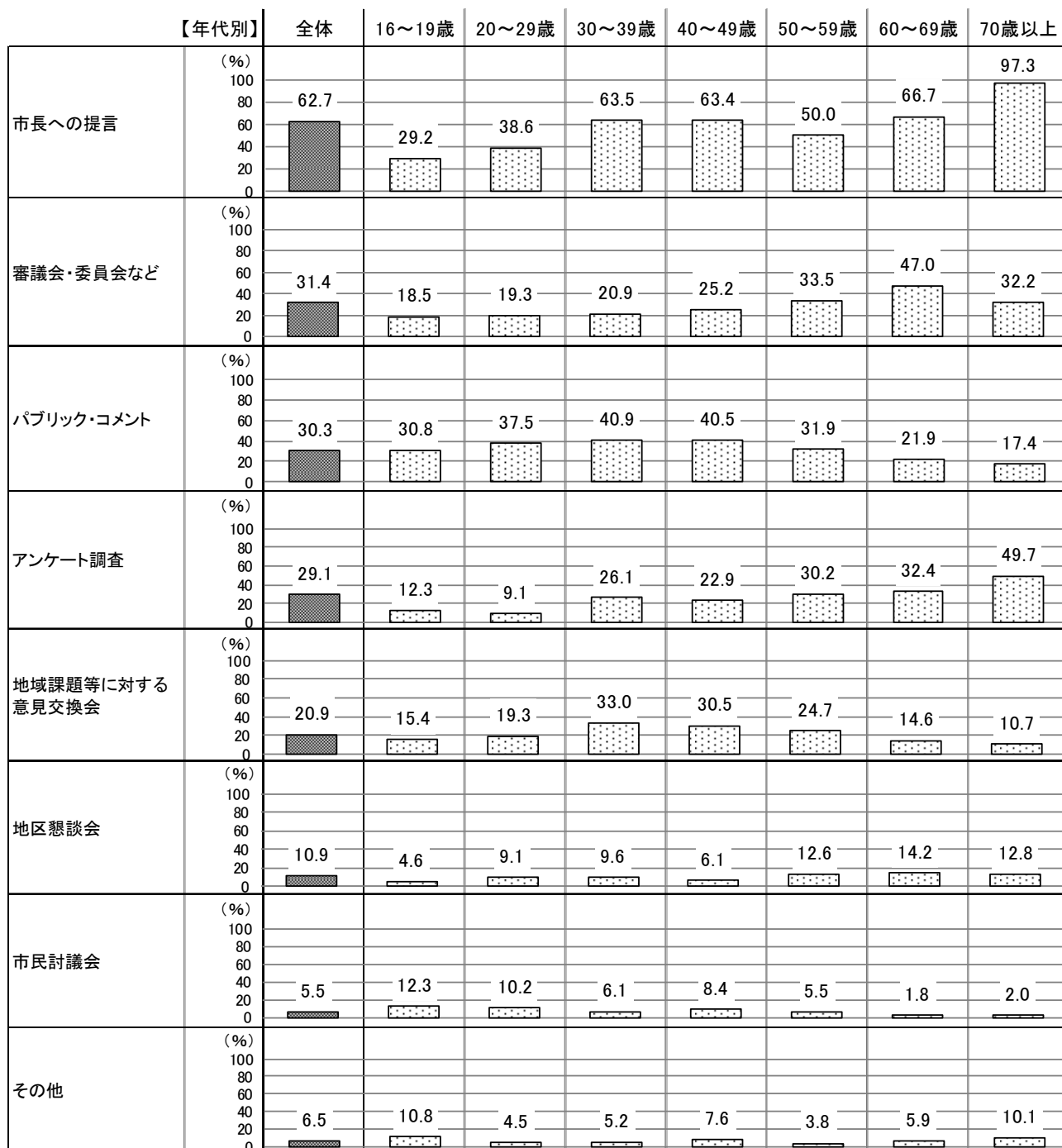
その他として、「市役所や市の運営する施設に目安箱の設置」「ネットでの意見交換（若者が参加しやすく・外出できない人のために）」「町内会で市への意見をまとめ直接伝える」などがあつた。

図6-3-1 男女別「これからの市政への参加手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



「これからの市政への参加手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」について年代別にみると、「16～19歳」以外の全ての年代では「市長への提言」が最も高く、中でも「70歳以上」(97.3%)が最も高くなっている。「16～19歳」では「パブリック・コメント」(30.8%)が最も高くなっている。

図6-3-2 年代別「これからの市政への参加手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



参 考 資 料

依頼文書及び調査票

多治見市「市民意識調査」 ご協力をお願い

日頃は、多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート）」を実施することになりました。このアンケートは、市民の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの１６歳以上の方から、２，０００人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成２６年８月１日
多治見市長 古川雅典

【ご記入にあたってのお願い】

- １．質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答えください。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご記入ください。その場合は記入された方の立場でお答えください。
- ２．住所や氏名をご記入いただく必要はありません。
- ３．ご回答にあたっては、指示のある数だけ、答えの番号に○印をつけてください。
- ４．お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的に記入してください。

※このアンケートをご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で
８月２０日（水）までにご返送ください。切手は不要です。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市企画部秘書広報課

電話 ２２－１１１１ 内線１４７２

Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

市民意識調査 調査表

【問１】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを１つ選び、○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 4. 住みにくい |

【問２】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを１つ選び、○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 住み続けたい | 4. 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 2. 当分は住み続けるつもり | 5. わからない |
| 3. できれば他市町村へ移りたい | |

【問３】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ１つずつ選び、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉○○○○の整備	1	2	3	4	5

1. 教育・文化

(1) 小・中学生の基礎的・基本的な学力・体力の定着への取り組み	1	2	3	4	5
(2) 小・中学校における教育環境の整備	1	2	3	4	5
(3) 芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5
(4) 文化財の保存と活用	1	2	3	4	5
(5) 生涯学習活動に参加する機会	1	2	3	4	5
(6) スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
(7) 子どもの権利に関する意識の定着	1	2	3	4	5
(8) 社会における男女平等意識の定着	1	2	3	4	5
(9) 人権意識の普及	1	2	3	4	5

2. 産業・経済

(1) 企業誘致に向けた取り組み	1	2	3	4	5
(2) 新しい分野の産業や企業の育成	1	2	3	4	5
(3) 中心市街地や商店街の魅力づくり	1	2	3	4	5
(4) 農業振興に向けた支援	1	2	3	4	5
(5) 地場産業への支援	1	2	3	4	5
(6) にぎわいを生み出す祭りやイベントの開催	1	2	3	4	5
(7) 観光資源の充実や観光PR	1	2	3	4	5

3. 都市基盤

(1) 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
(2) にぎわい拠点としての多治見駅周辺地域の整備	1	2	3	4	5
(3) 景観保全への取り組み	1	2	3	4	5
(4) 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
(5) 大規模災害に備えた避難所整備などの防災対策	1	2	3	4	5
(6) 洪水解消のための道路整備	1	2	3	4	5
(7) 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
(8) 交通安全対策や歩道などの整備	1	2	3	4	5
(9) 鉄道やバスなど公共交通政策	1	2	3	4	5

4. 生活環境

(1)地球温暖化対策と環境教育への取り組み	1	2	3	4	5
(2)公害防止やまちの美化、不法投棄対策などの生活環境の保全	1	2	3	4	5
(3)ごみの減量化やリサイクルへの取り組み	1	2	3	4	5
(4)まちなかの緑を増やす取り組み	1	2	3	4	5
(5)自然環境の保全や自然に親しめる場の整備	1	2	3	4	5
(6)水道水の安定供給への取り組み	1	2	3	4	5
(7)下水道整備、浄化槽設置など生活排水対策	1	2	3	4	5
(8)雨水の排水施設整備などの浸水対策	1	2	3	4	5

5. 保健・医療・福祉

(1)幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
(2)子育て支援への取り組み	1	2	3	4	5
(3)支援の必要な児童に対する療育（医療と育成）	1	2	3	4	5
(4)健康増進に向けた情報提供や活動の機会	1	2	3	4	5
(5)市内の医療機関の充足状況	1	2	3	4	5
(6)高齢者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(7)障がい者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(8)介護保険事業や介護予防	1	2	3	4	5
(9)障がい者と健常者が社会生活をともにする社会（ノーマライゼーション）の実現に向けた取り組み	1	2	3	4	5
(10)地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5

6. 行政運営・経営

(1)職員の市民への対応	1	2	3	4	5
(2)財政運営の状況	1	2	3	4	5
(3)情報化社会への対応	1	2	3	4	5
(4)市民への広報活動（情報提供）	1	2	3	4	5
(5)市民参加の機会	1	2	3	4	5
(6)地域と連携協力した防犯活動等の取り組み	1	2	3	4	5
(7)計画的な事業の実施や行政改革の状況	1	2	3	4	5

【問4】 次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. ごみの23分別のルールは知っていますか	1	2
2. 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
3. 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
4. かかりつけの医師はいますか	1	2
5. 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
6. 子育てに関する悩みはありますか	1	2
7. 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
8. この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
9. この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
10. 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後力をいれてほしいものについておたずねします。次の項目の中から、重要度の高いものを5つまで選び、○印をつけてください。

<教育・文化> 1. 小・中学生の学力定着 2. 小・中学校における教育環境の充実 3. 芸術や文化に触れる機会の充実 4. 生涯学習の機会の充実 5. スポーツの機会の充実 6. 人権意識の定着 <産業・経済> 7. 企業誘致や起業支援 8. 中心市街地の活性化 9. 地域の農業振興 10. 地場産業の支援 11. イベントや祭りの開催 12. 観光資源の充実や観光PR <都市基盤> 13. 多治見駅周辺地域の整備 14. 景観の保全 15. 消防・救急体制の整備 16. 大規模災害に備えた防災対策 17. 渋滞解消のための道路整備 18. 清掃や修繕などの道路の維持管理 19. 交通安全対策 20. 鉄道やバスなどの公共交通の充実	<生活環境> 21. 地球温暖化対策 22. ごみの減量やリサイクルの推進 23. 自然環境の保全や緑化の推進 24. 水道水の安定供給 25. 下水道の整備 <保健・医療・福祉> 26. 子育て支援や少子化対策 27. 健康増進事業の充実 28. 市内医療機関の充実 29. 高齢者福祉の充実 30. 障がい者福祉の充実 31. 介護予防事業の推進 32. 地域で支えあう福祉体制の構築 <行政運営・経営> 33. 情報公開や広報活動の充実 34. 市政への市民参加の機会の充実 35. 地域の防犯対策 36. 計画的な行財政運営 37. その他(具体的に) []
--	---

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。次の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選び（6-5は複数）、○印をつけてください。

6-1 あなたは、広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）を読んでいますか。
 1. 毎回読む 2. ときどき読む 3. ほとんど読まない 4. 読んだことがない

6-2 広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）に関する次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
2. 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
3. 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
4. ページ数は多いですか	1	2
5. 必要な情報は掲載されていますか	1	2

6-3 あなたは、多治見市のホームページを見ますか。
 1. 定期的に見る 2. 必要なときに見る 3. ほとんど見ない 4. 見たことがない

6-4 あなたは、FMたじみ（エフエムビビ（76.3MHz））の放送を聴きますか。
 1. 毎日聴く 2. ときどき聴く 3. ほとんど聴かない 4. 聴いたことがない

1

1. 大いにある 2. まあまあある 3. ほとんどない 4. まったくない

項 目	はい	いいえ
１．市長への提言	１	２
２．パブリック・コメント	１	２
３．地区懇談会	１	２
４．地域課題等に対する意見交換会	１	２
５．市民討議会	１	２
６．審議会・委員会など	１	２
７．アンケート調査（この調査を除く）	１	２

1

1. 女性 2. 男性

1. 16~19歳 3. 30~39歳 5. 50~59歳 7. 70歳以上
2. 20~29歳 4. 40~49歳 6. 60~69歳

1. 養正 5. 小泉 9. 南姫 11. 北栄 13. 笠原
 2. 精華 6. 池田 10. 根本 12. 脇之島
 3. 共栄
 4. 昭和

7. 市之倉
 8. 滝呂

※小学校区が分からない場合は町名をご記入ください
 多治見市()町

1

- 60 -

平成26年度 市民意識調査報告書

平成27年1月発行

発行 : 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 多治見市日ノ出町2丁目15番地
TEL0572-22-1111 (内線 1472)

デザイン協力 : 多治見市デザインバンク登録者 内田明美さん

調査機関 : (株) 中部タイム・エージェント
〒500-8384 岐阜市藪田南3丁目13番地10
YSトラスト2D
TEL058-278-7015
